

Web Datalogger Unit ユーザーズマニュアル

Web Datalogger Unit ARCT1F400-3 '06•02月



安全に関するご注意

ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

据付、運転、保守、点検の前に、必ずこのマニュアルをお読みいただき、正しくご使用下さい。 機器の知識、安全の情報、その他注意事項のすべてを習熟してからご使用下さい。

このマニュアルでは、安全注意事項のレベルを「警告」と「注意」に区分しています。

① 警告 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険の状態を生じる ことが想定される場合

本製品の故障や外部要因による異常が発生しても、システム全体が安全側に働くように本製品の外部で 安全対策を行ってください。

燃焼性ガスの雰囲気では使用しないでください。

爆発の原因となります。

本製品を火中に投棄しないでください。

電池や電子部品などが破裂する原因となります。

取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負うかまたは物的損害のみが発生する る危険の状態が生じることが想定される場合

異常発熱や発煙を防止するため、本製品の保証特性・性能の数値に対し余裕をもたせて使用してください。 分解、改造はしないでください。 異常発熱や発煙の原因となります。 通電中は端子に触れないでください。 感電のおそれがあります。 非常停止、インターロック回路は外部で構成してください。 電線やコネクタは確実に接続してください。 接続不十分な場合は、異常発熱や発煙の原因となります。 製品内部に液体、可燃物、金属などの異物を入れないでください。 異常発熱や発煙の原因となります。 電源を入れた状態では施工(接続、取り外しなど)しないでください。 感電のおそれがあります。

著作権および商品登録に関する記述

このマニュアルの著作権は、松下電工株式会社が所有しています。

本書からの無断複製は、かたくお断りします。

Windows、WindowsNT および Microsoft Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国および

その他の国における登録商標です。

Java は米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

コンパクトフラッシュ、CFは SanDisk Corporation の登録商標です。

Ethernet は米国 Xerox 社の登録商標です。

その他の会社および製品名は、各社の商標または登録商標です。

商品改良のため、仕様、外観およびマニュアルの内容を予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

はじめに

このたびは、Web Datalogger Unitをお買い上げいただき 誠にありがとうございました。 このマニュアルでは、ハード構成と設置、配線の方法、I/Oの 割り付け、メンテナンスについて解説しています。 十分に内容をご理解いただいたうえ正しくご利用くださいます ようお願い申し上げます。



このマニュアルの内容に関しては万全を期しておりますが、ご不審な点 や誤りなどお気付きの点がございましたらお手数ですが弊社までご連絡 ください。

目次

ご使用になる前にご注意いただきたいこと

1章 ユニットの機能と制限1-1
1.1 ユニットの特長と機能
1.1.1 データ収集・蓄積機能1-2
1.1.2 アクショントリガ機能1-2
1.1.3 監視機能
1.2 システム構成1-4
1.3 ユニットの種類1-5
1.3.1 Web Datalogger Unit
1.3.2 FPO増設ユニット1-5
1.3.3 コミュニケーションカセット
1.3.4 関連ソフトウェア(フリーウェア)1-6
1.3.5 関連部品
1.4 ユニットの組み合わせの制限1-7
1.4.1 FPO増設ユニットの場合の制限1-7
1.5 動作設定について1-8
1.5.1 動作設定に必要なツール
2章 Web Datalogger Unitの仕様と機能2-1
2.1 各部の名称と機能
2.1.1 各部の名称と機能
2.2 入出力仕様
2.2.1 入力仕様
2.2.2 出力仕様
2.3 入出力端子配列図
3章 増設ユニットとコミュニケーションカセットについて3-1
3.1 増設ユニットの種類
3.1.1 FPO増設ユニットの増設方法3-3
3.2 コミュニケーションカセットの種類3-4
3.2.1 コミュニケーションカセット通信仕様3-6
3.2.2 設置と配線
3.2.3 1:1通信での接続例
4章 I/Oの割り付け4-1
4.1 I/Oの割り付け
4.2 Web Datalogger Unitの割り付け4-3
4.2.1 Web Datalogger UnitのI/O番号4-3
4.3 FPO増設ユニットの割り付け4-3
4.3.1 FPO増設ユニットのI/O番号4-3

4.4 外部機器の割り付け	
4.4.1 外部機器のI/O番号	4-4
5章 設置と配線	5-1
5.1 設置	
5.1.1 設置環境と取り付けスペース	5-2
5.1.2 取り付け方法	5-3
5.1.3 オプションの取り付けプレートを使った取付	5-4
5.2 電源の配線	
5.2.1 電源の配線	
5.2.2 接地について	
5.3 入出力の配線	
5.3.1 入力側の配線について	
5.3.2 出力側の配線について	5-9
5.3.3 入出力配線共通の注意事項	5-9
5.4 端子台タイプの配線	5-10
5.5 CFカードの設置について	5-12
5.6 安全対策について	5-13
5.6.1 安全対策について	5-13
5.6.2 瞬時停電について	5-13
5.6.3 電源および出力部の保護について	5-13
5.7 バックアップ電池の取り付けと設定	5-14
5.7.1 取り付け方法	5-14
5.7.2 バックアップ電池の交換時期について	5-15
5.7.3 バックアップ電池の寿命	5-15
6章 ユニットの設定	6-1
6.1 ユニットの基本設定をおこなう	6-2
6.1.1 パソコンとユニットを接続する	6-3
6.1.2 パソコンのIPアドレスを設定する	6-3
6.1.3 Webブラウザを開いて設定画面を表示する	6-5
6.1.4 IPアドレスを設定する	6-8
6.1.5 時計を設定する	6-11
6.2 ユーザ/グループを登録する	6-13
6.2.1 ユニットヘアクセスするユーザを登録する	6-13
6.2.2 登録されたユーザをグループ化する	6-15
6.3 ユニットの構成と蓄積ファイルの設定をおこなう	6-17
6.3.1 ユニットの構成を設定する	6-17
6.3.2 蓄積ファイルの設定をおこなう	6-21
6.3.3 集計ファイルについて	6-26
6.3.4 蓄積ファイルのフォーマット	6-26
6.3.4 蓄積ファイルのフォーマット 6.3.5 蓄積ファイルの構成について	6-26 6-28

6.4 I/Oの詳細設定をおこなう	
6.4.1 本体の設定をおこなう	6-35
6.4.2 増設ユニットの設定をおこなう	6-39
6.5 外部機器の詳細設定をおこなう	6-42
6.5.1 松下電工製PLC-外部割付(接点)の設定をおこなう	6-44
6.5.2 松下電工製PLC-外部割付(データ)の設定をおこなう	6-49
6.5.3 三菱電機製PLC-外部割付の設定をおこなう	6-59
6.5.4 オムロン製PLC-外部割付の設定をおこなう	6-61
6.6 メール送信に関する設定をおこなう	6-63
6.6.1 メール送信の基本設定をおこなう	6-64
6.6.2 ダイヤルアップの設定をおこなう	6-67
6.6.3 モデムの設定をおこなう	6-70
6.7 アクショントリガの設定をおこなう	6-72
6.7.1 アクショントリガの条件について	
6.7.2 アクショントリガの設定をする	
6.7.3 設定内容を一覧表示する	6-84
6.7.4 UPSを使用するときの設定について	6-84
6.8 その他の設定	6-86
6.8.1 エラー発生時のメール送信に関する設定をおこなう	
6.8.2 書き込みコマンドを禁止する	6-87
6.8.3 ユニットの状態を確認する	6-89
6.8.4 ネットワークを確認する	6-91
6.9 設定内容の保存	6-95
6.9.1 設定内容をファイルに保存する	6-95
6.9.2 設定ファイルをユニットへ転送する	6-97
6.9.3 設定内容を初期化する	6-100
7章 ユニットの運転とモニタ	7-1
7.1 ユニットを運転モードにする	7-2
7.1.1 ユニットを連続運転させる	7-2
7.1.2 期間を指定して運転させる	7-3
7.2 蓄積ファイルの確認	7-5
7.2.1 蓄積ファイルが生成されるタイミングについて	7-5
7.2.2 蓄積ファイルを確認する	7-6
7.2.3 蓄積ファイルをダウンロードする	7-8
7.2.4 蓄積ファイルを削除する	7-8
7.2.5 システム履歴ファイルについて	7-10
7.2.6 アクショントリガ履歴ファイルについて	7-11
7.3 モニタ画面について	7-12
7.3.1 各ユニットの現在値をモニタする	7-12

8章 その他の使い方	
8.1 PPPで接続する	
8.1.1 PPPサーバの設定をおこなう	
8.1.2 PCWAYと接続する	
8.1.3 Web Datalogger Unitを経由してPLCにアクセスする	
9章 モニタ部品を使用して DLUモニタ画面を作成する	9-1
9.1 特長	
9.2 モニタ部品の種類	
9.3 モニタ部品を使用したWebページの作成方法	
9.3.1 Javaプラグインをインストールする。	
9.3.2 HTMLでのJavaアプレット記述方法	
9.3.3 通信部品を記述する	
9.3.4 サンプル画面のhtml	
9.3.5 DLUのデバイス指定について	
9.4 作成したモニタ画面をDLUに格納する	
9.5 Webブラウザでモニタを実行する	
10章 自己診断と異常時の対処方法	
10.1 自己診断機能	
10.1.1 LEDによる状態表示	10-2
10.2 異常時の対処方法	10-3
11章 仕様一覧	
11章 仕様一覧 11.1 仕様一覧	11-1
11章 仕様一覧 11.1 仕様一覧 11.1.1 一般仕様	11-1
11章 仕様一覧 11.1 仕様一覧 11.1.1 一般仕様 11.1.2 性能仕様	11-1
11章 仕様一覧 11.1 仕様一覧 11.1.1 一般仕様 11.1.2 性能仕様 11.1.3 通信機能モデル概要	11-1
11章 仕様一覧 11.1 仕様一覧 11.1 一般仕様 11.1.2 性能仕様 11.1.3 通信機能モデル概要 11.1.4 ファイル構成イメージ図	11-1
11章 仕様一覧 11.1 仕様一覧 11.1 仕様一覧 11.1.1 一般仕様 11.1.2 性能仕様 11.1.3 通信機能モデル概要 11.1.4 ファイル構成イメージ図 11.1.5 通信仕様	11-1
11章 仕様一覧 11.1 仕様一覧 11.1 一般仕様 11.1.2 性能仕様 11.1.3 通信機能モデル概要 11.1.4 ファイル構成イメージ図 11.1.5 通信仕様 11.2 L/O番号割り付け表	11-1
11章 仕様一覧	11-1 11-2 11-2 11-3 11-3 11-5 11-5 11-5 11-6 11-7 11-7
11章 仕様一覧 11.1 仕様一覧 11.1 一般仕様 11.1.1 一般仕様 11.1.2 性能仕様 11.1.3 通信機能モデル概要 11.1.4 ファイル構成イメージ図 11.1.5 通信仕様 11.2 I/O番号割り付け表 11.2.1 FPO増設ユニットのI/O番号(右側増設) 11.3 エラーコード一覧	11-1 11-2 11-2 11-3 11-3 11-5 11-5 11-5 11-6 11-6 11-7 11-7 11-7
11章 仕様一覧 11.1 仕様一覧 11.1 一般仕様 11.1.1 一般仕様 11.1.2 性能仕様 11.1.3 通信機能モデル概要 11.1.4 ファイル構成イメージ図 11.1.5 通信仕様 11.2 I/O番号割り付け表 11.2.1 FPO増設ユニットのI/O番号(右側増設) 11.3 エラーコード一覧 11.3.1 Hard error code (ハードエラーコード)	11-1 11-2 11-2 11-2 11-3 11-5 11-5 11-5 11-5 11-7 11-8 11-8
11章 仕様一覧 11.1 仕様一覧 11.1.1 一般仕様 11.1.2 性能仕様 11.1.3 通信機能モデル概要 11.1.4 ファイル構成イメージ図 11.1.5 通信仕様 11.2 I/O番号割り付け表 11.2.1 FPO増設ユニットのI/O番号(右側増設) 11.3 エラーコード一覧 11.3.1 Hard error code (ハードエラーコード) 11.3.2 Network error code (上位通信エラーコード)	11-1 11-2 11-2 11-2 11-3 11-5 11-5 11-5 11-5 11-5 11-7 11-7 11-8
11章 仕様一覧 11.1 仕様一覧 11.1.1 一般仕様 11.1.2 性能仕様 11.1.2 性能仕様 11.1.3 通信機能モデル概要 11.1.4 ファイル構成イメージ図 11.1.5 通信仕様 11.2 I/O番号割り付け表 11.2 I/O番号割り付け表 11.3 エラーコード一覧 11.3 Lラーコード一覧 11.3.1 Hard error code (ハードエラーコード) 11.3.2 Network error code (上位通信エラーコード) 11.3.3 Communication error code (データ収集通信エラーコード)	11-1 11-2 11-2 11-2 11-3 11-3 11-5 11-5 11-5 11-5 11-7 11-7 11-8 11-8
11章 仕様一覧 11.1 仕様一覧 11.1 一般仕様 11.1 一般仕様 11.1 一般仕様 11.1 復能仕様 11.1 適信機能モデル概要 11.1 7アイル構成イメージ図 11.1.5 通信仕様 11.2 L/O番号割り付け表 11.3 エラーコードの増設ユニットのL/O番号(右側増設) 11.3 エラーコード一覧 11.3.1 Hard error code (ハードエラーコード) 11.3.2 Network error code (上位通信エラーコード) 11.3.3 Communication error code (データ収集通信エラーコード) 11.3.4 File error code (ファイルエラーコード)	
11章 仕様一覧 11.1 仕様一覧 11.1 一般仕様 11.1 一般仕様 11.1.2 性能仕様 11.1.3 通信機能モデル概要 11.1.4 ファイル構成イメージ図 11.1.5 通信仕様 11.2 I/O番号割り付け表 11.2.1 FPO増設ユニットのI/O番号(右側増設) 11.3 エラーコード一覧 11.3.1 Hard error code (ハードエラーコード) 11.3.2 Network error code (上位通信エラーコード) 11.3.3 Communication error code (データ収集通信エラーコード) 11.3.4 File error code (ファイルエラーコード) 11.3.5 Internal error code (内部エラーコード)	11-1 11-2 11-2 11-3 11-5 11-5 11-5 11-5 11-5 11-7 11-7 11-7 11-8 11-8 11-11 11-11
11章 仕様一覧 11.1 仕様一覧 11.1.1 一般仕様 11.1.2 性能仕様 11.1.2 性能仕様 11.1.3 通信機能モデル概要 11.1.4 ファイル構成イメージ図 11.1.5 通信仕様 11.2 I/O番号割り付け表 11.2 I/O番号割り付け表 11.3 エラーコード一覧 11.3.1 Hard error code (ハードエラーコード) 11.3.2 Network error code (上位通信エラーコード) 11.3.3 Communication error code (データ収集通信エラーコード) 11.3.4 File error code (ファイルエラーコード) 11.3.5 Internal error code (内部エラーコード) 11.4 メモリエリアー覧	11-1 11-2 11-2 11-2 11-3 11-5 11-5 11-5 11-5 11-5 11-6 11-7 11-8 11-8 11-8 11-11
11章 仕様一覧 11.1 仕様一覧 11.1 一般仕様 11.1.2 性能仕様 11.1.3 通信機能モデル概要 11.1.4 ファイル構成イメージ図 11.1.5 通信仕様 11.2 I/O番号割り付け表 11.2 I/O番号割り付け表 11.3 エラーコード一覧 11.3.1 Hard error code (ハードエラーコード) 11.3.2 Network error code (上位通信エラーコード) 11.3.3 Communication error code (データ収集通信エラーコード) 11.3.4 File error code (ファイルエラーコード) 11.3.5 Internal error code (内部エラーコード) 11.4 メモリエリアー覧 11.5 BIN/HEX/BCDコード対応表	11-1 11-2 11-2 11-2 11-3 11-5 11-5 11-5 11-5 11-7 11-7 11-7 11-7 11-8 11-8 11-11 11-11 11-11 11-11 11-12 11-13
11章 仕様一覧 11.1 仕様一覧 11.1.1 一般仕様 11.1.2 性能仕様 11.1.3 通信機能モデル概要 11.1.4 ファイル構成イメージ図 11.1.5 通信仕様 11.2 I/O番号割り付け表 11.2 I/O番号割り付け表 11.3 エラーコード一覧 11.3.1 Hard error code (ハードエラーコード) 11.3.2 Network error code (上位通信エラーコード) 11.3.3 Communication error code (データ収集通信エラーコード) 11.3.4 File error code (ファイルエラーコード) 11.3.5 Internal error code (内部エラーコード) 11.4 メモリエリアー覧 11.5 BIN/HEX/BCDコード対応表 11.6 アスキーコード/JIS8コード表	11-1 11-2 11-2 11-3 11-5 11-5 11-5 11-5 11-5 11-7 11-7 11-7 11-7 11-8 11-8 11-11 11-11 11-11 11-12 11-13 11-14
11章 仕様一覧 11.1 仕様一覧 11.1 一般仕様 11.1.1 一般仕様 11.1.2 性能仕様 11.1.3 通信機能モデル概要 11.1.4 ファイル構成イメージ図 11.1.5 通信仕様 11.2 L/O番号割り付け表 11.2.1 FPO増設ユニットのL/O番号(右側増設) 11.3 エラーコード一覧 11.3.1 Hard error code (ハードエラーコード) 11.3.2 Network error code (上位通信エラーコード) 11.3.3 Communication error code (データ収集通信エラーコード) 11.3.4 File error code (ファイルエラーコード) 11.3.5 Internal error code (内部エラーコード) 11.4 メモリエリアー覧 11.5 BIN/HEX/BCDコード対応表 11.6 アスキーコード支	11-1 11-2 11-2 11-2 11-3 11-5 11-5 11-5 11-5 11-5 11-7 11-7 11-7 11-7 11-7 11-7 11-7 11-7 11-7 11-7 11-7 11-7 11-7 11-7 11-7 11-17 11-18 11-11 11-11 11-11 11-12 11-13 11-14

11.7.1 本体(XO-X3)の属性データ	11-15
11.7.2 増設ユニット1(X20-X3F)の属性データ(デジタル入力ユニットの場合)	11-16
11.7.3 増設ユニット1(AD10-AD17)の属性データ(アナログ入力ユニットの場合)	11-16
11.7.4 外部機器(BO-B127)の属性データ	11-17
11.7.5 外部機器(EXDO-EXD199)の属性データ	11-17
12章 外形寸法図・その他	12-1
12.1 外形寸法図	
12.1 外形寸法図	
12.1 外形寸法図 12.1.1 Web Datalogger Unit 12.2 その他	
12.1 外形寸法図 12.1.1 Web Datalogger Unit 12.2 その他 12.2.1 Ethernet通信	

ご使用になる前にご注意いただきたいこと

■ 設置環境について

次のような場所での使用は避けてください。

- ・直射日光の当たる場所や周囲温度が0℃~55℃の範囲を超える場所。
- ・周囲湿度が30~85%RHの範囲を超える場所や急激な温度変化で結露するような場所。
- ・腐食性ガスや可燃性のガスの雰囲気中。
- ・本体に直接振動や衝撃が伝わるような場所。
- ・塵埃、鉄粉、塩分の多い場所。
- ・水、油、薬品などのかかるおそれのある場所。
- ・ベンジン、シンナー、アルコールなどの有機溶剤やアンモニア、カセイソーダなどの強アルカリ物質が 付着するおそれのある雰囲気中。
- 本体に直接水滴の当たる可能性のある場所。
- ・高圧線、高圧機器、動力線、動力機器あるいはアマチュア無線など送信部のある機器、又は大きな開閉 サージの発生する機器の周辺。

■ 静電気について

- ・ユニットに触れる場合は、アースされた金属などに触れて静電気を放電させてください。
- ・特に乾燥した場所では、過大な静電気が発生するおそれがあります。

■ 清掃について

・シンナー類は、ケースを溶かしたり、変色させたりしますので、絶対に使用しないでください。

■ 電源について

- ・電源には保護回路内蔵の絶縁型電源を使用してください。本体の電源部は非絶縁回路となっております。
- ・保護回路のない電源を使用する場合は、ヒューズなどの保護素子を介して電源を供給してください。
- ・異常電圧が直接印加されると内部回路が破壊されるおそれがあります。

■ 電源シーケンスについて

- ・本体の電源は、入出力用電源よりも先にOFFになるように電源シーケンスを配慮してください。
- ・本体の電源よりも先に入出力用電源がOFFになると、本体が入力信号のレベルの変化を検出し、誤動 作する場合があります。

■ 電源を入れる前に

- 初めて電源を入れる時には、以下の点に注意してください。
- ・施工時の配線屑、特に導電物が付着していないか確認してください。
- ・電源配線、入出力配線、電源電圧が間違っていないか確認してください。
- ・コネクタネジを確実に締め付けておいてください。
- ・RUN/STOPモード切替スイッチをSTOPモードにしてください。

■ 設定パラメータの保存についてのお願い

万一の事故、設定パラメータの消失に対応するため、下記対策をお客様側で十分ご配慮ください。

●ドキュメントの作成をお願いします。

設定パラメータの消失やファイルの破壊、不用意な設定変更などに対応するため、作成した内容をプリン トアウトして、ドキュメントを保存、管理してください。

●パスワードの設定は慎重に行ってください。

パスワード設定は、不用意な設定変更を防止することを目的としていますが、パスワードを忘れると、設定 変更ができなくなります。パスワードを設定する時には、仕様書と共に番号を控えておくなど、慎重な対応 をお願いいたします。 ■ ネットワークをご利用になる上で

●ネットワークの使用により人命並びに財産に多大の影響を与えることが予測される用途にご使用の場合には、システム設計に余裕を持たれ、かつ二重安全機構等の安全対策を組み込んでいただくことを、 製造物責任の観点からもお願いします。

●本品はインターネット、イントラネット、電話網などの各種ネットワーク接続に対応していますが、端末機器の障害、電気通信事業者の通信サービスの障害またはネットワーク不通等の通信手段の障害等、弊社の責によらない原因によりご使用の機能の動作が遅延したり不能となった場合、あるいは送信手段に誤謬、脱落等が発生した場合、その障害について弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

●インターネット、イントラネット、電話網などの各種ネットワークを利用してシステムを構成される場合、お 客様の使用されるネットワーク及びアプリケーションに応じた**情報漏洩、盗聴、不正アクセス等に対する対** 策を導入されることをお奨めします。

●本品にアクセスする際、ユーザ名、パスワードにより本人である事を確認しています。ユーザ名、パスワードは、情報漏洩を防ぐため定期的に変更してください。

●以下の場合には弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

①納入品の故障や瑕疵から誘発された他の損害に対する保証。

②貴社納入後の取扱、保管、運搬(輸送)において、本仕様書記載以外の条件が本品に加わった場合。
 ③貴社納入時までに実用化されていた技術では予見することが不可能であった現象に起因する場合。
 ④地震・洪水・火災・紛争など弊社に責のない自然或いは人為的災害による場合。
 ⑤本マニュアルの注意にもかかわらずシステム構築において必要な対策を講じられなかった場合。



ユニットの機能と制限

1.1 ユニットの特長と機能

Web Datalogger Unitには、次の3つの特長があります。

1.1.1 データ収集・蓄積機能

接点の状態(累積ON時間,累積開閉回数),パルス値,アナログ値(平均値,最小値,最大値)などの情報を収集・蓄積することができます。

蓄積されたデータは本体の内部メモリ(SDRAM)またはCFカードにCSV形式で保存できます。

データ収集には、以下の入出力I/Fがサポートされます。 ・本体I/O ・FP0増設ユニット ・PLC, エコパワーメータ等(コミュニケーションカセットが必要です)



1.1.2 アクショントリガ機能

入力信号があらかじめ設定した条件に合致した場合,データがある値を超えた場合などに、下記の動作が可能です。

- ・接点出力
- ・アナログ出力
- ・接続されているPLCへデータを出力
- ・メールを送信する
- ・データを蓄積する
- アクショントリガの発生履歴はファイルに保存されます。

【例】



1.1.3 監視機能

Web ブラウザを使用して、ネットワーク経由で Web Datalogger Unit のデータをモニタすることができます。 またモニタ用ライブラリ(Java アプレット)を使用して、オリジナルのWebページを作成することができます。

標準実装されるモニタ画面



オリジナルのモニタ画面(例)





注)

・オリジナルWebページを作成しWeb Datalogger Untに格納する場合はCFカードが必要です。

・ブラウザは、Internet Explorer5.5以上をご使用ください。

・Javaアプレットが使用されたページをモニタするにはブラウザにJavaプラグインが必要です。



または市販電源

1.3 ユニットの種類

1.3.1 Web Datalogger Unit

名 称	I∕O点数	ご注文品番
Web Datalogger Unit	入力4点/リレー出力1点	AFL1000

1.3.2 FPO増設ユニット

Web DataloggerUnitでは、FPOシリーズの増設I/Oユニット/高機能ユニットが使用できます。

FP0増設I/Oユニット

品名	I∕O 点数	電源	入力仕様	出力仕様	接続方式	型番	ご注文品番
	8/0	_	24 V DC (コモン極性+,-共通)	_	MIL コネクタ	FP0-E8X	AFP03003
FPO-E8	4/4	24V DC	24 V DC (コモン極性+,-共通)	リレー	モレックス 端子台	FP0-E8RM FP0-E8RS	AFP03013 AFP03023
増設ユーット	0/8	24V DC	—	リレー	端子台	FP0-E8YRS	AFP03020
	0/8	_	_	Tr NPN Tr PNP	MIL コネクタ MIL コネクタ	FP0-E8YT FP0-E8YP	AFP03040 AFP03050
	16⁄0	_	24 V DC (コモン極性+,-共通)	_	MIL コネクタ	FP0-E16X	AFP03303
	0 /0	24V DC	24 V DC	リレー	モレックス	FP0-E16RM	AFP03313
FP0-E16	0/0		(コモン極性+, -共通)	Tr PNP	端子台	FP0-E16RS	AFP03323
増設ユニット	8/8	_	24 V DC (コモン極性+,-共通)	Tr NPN Tr PNP	MIL コネクタ MIL コネクタ	FP0-E16T FP0-E16P	AFP03343 AFP03353
	0/16	_	_	Tr NPN Tr PNP	MIL コネクタ MIL コネクタ	FP0-E16YT FP0-E16YP	AFP03340 AFP03350
FP0-E32 増設ユニット	16/16	—	24 V DC (コモン極性+,-共通)	Tr NPN Tr PNP	MIL コネクタ MIL コネクタ	FP0-E32T FP0-E32P	AFP03543 AFP03553

FPO高機能ユニット

名称	仕様			ご注文品番
FPO 執雪対フェット	K, J, T, R熱電対、分解能	FP0-TC4	AFP0420	
FFO 然电对ユーット	K, J, T, R熱電対、分解能	D. 1℃	FP0-TC8	AFP0421
	<入力仕様>			
	チャンネル数:2チャンネル			
	入力レンジ:電圧 0~5V、	-10~+10V(分解能1/4000)		AFP0480
FPOアナログI/Oユニット	電流 0~20m	hA(分解能 1/4000)	FP0 = A 21	
	<出力仕様>		110 A21	
	チャンネル数:1チャンネル			
	入力レンジ:電圧 -10~+10V(分解能1/4000)			
	電流 0~20mA(分解能 1/4000)			
	<入力仕様>			
FPO A /D亦協っーット	チャンネル数:8チャンネル 入力レンジ:電圧 0~5V、-10~+10V、-100~100mV(分解能1/4000)		FP0-A80	AFP0401
FFO A/ D& W				
	電流 0~20m	hA(分解能 1/4000)		
	∠出力仕様∖	入力レンジ:	FPO = AOAV	AFP0/191
FP0 D/A変換ユニット	~山川江你~	(電圧出力タイプ) -10~+10V(分解能1/4000)	FFO A04V	APF04121
	7 T ~ 17 K . I) T ~ 17	入力レンジ:	EDO = AO 4I	AED04199
		(電流出力タイプ) 4~20mA(分解能 1/4000)	FF0-A041	AFF04123

FPO電源ユニット

名称	仕様	型番	ご注文品番
FPO 電源ユニット	入力電圧100~240V AC フリー入力 出力容量 0.7A 24V DC	FP0-PSA4	AFP0634

1.3.3 コミュニケーションカセット

シリアルデータ通信やPLCとの接続をする場合は、着脱式のコミュニケーションカセットを使用してください。

名称	内容	型番	ご注文品番
FPΣ コミュニケーションカセット (RS232C 1チャンネルタイプ)	5線式RS232Cポートを1チャンネル装備。 RS/CS制御が可能。	FPG-COM1	AFPG801
FPΣ コミュニケーションカセット (RS232C 2チャンネルタイプ)	3線式RS232Cポートを2チャンネル装備。 外部機器2台と通信可能。	FPG-COM2	AFPG802
FPΣ コミュニケーションカセット (RS485 1チャンネルタイプ)	2線式RS485ポートを1チャンネル装備。	FPG-COM3	AFPG803
FPΣ コミュニケーションカセット (RS485 1チャンネル RS232C 1チャンネル混載タイプ)	2線式RS485ポートを1チャンネル。 3線式RS232Cポートを1チャンネル装備。	FPG-COM4	AFPG806

1.3.4 関連ソフトウェア(フリーウェア)

品名	内容
IP検索ツール	Web Datalogger UnitのIPアドレス検索及び設定ツール
Javaアプレット	Web Datalogger Unitとの通信、モニタリング用Javaライブラリ
注)当社UD(http://www.poio-i.com/pla/)	とりダウンロードできます (今日登録心西 無料)

注)当社HP(<u>http://www.nais-j.com/plc/)</u>よりダウンロードできます。(会員登録必要 無料)

1.3.5 関連部品

品名	内容	ご注文品番	
端子台ソケット	補修部品 (Web Datalogger Unitに同梱)	AFL8800	
FPΣ用電池	Web Datalogger Unitの電源を で、収集データの保存、カレンダター をおこなう場合に必要	AFPG804	
FPΣ用電源ケーブル	補修部品 (Web Datalogger Unitに同梱) ケーブル長 1m		AFPG805
FP0用取付プレートスリム型(10個入)	FPO 増設ユニットを盤に垂直に取り付けるための 取付プレート		AFP0803
FP0用取付プレートフラット型	Web Datalogger Unitを盤に水平に取り付ける ための取付プレート		AFP0804

1.4 ユニットの組み合わせの制限

1.4.1 FPO増設ユニットの場合の制限



Web Datalogger Unitの右側にFPOの増設I/Oユニット/高機能ユニットを合わせて3台まで増設できます。 リレー出力、トランジスタ出力タイプの混在も可能です。

■ 制御I/O点数

18

コントロールユニット単体でのI/O点数	FPO増設ユニットを増設時のI/O点数
5点(入力4点/出力1点)	最大101点(入力52点/出力49点)
注)FP0増設ユニットトランジスタタイプと組み合	わせたときの点数です。

ご注意:FPO熱電対ユニットは、他の増設ユニットよりも右側に増設してください。

1.5.1 動作設定に必要なツール



IPアドレスなどのネットワーク設定や、収集データなどの設定には、汎用ブラウザである Internet Exploler(Ver. 5.5以上)を使用します。 Web Datalogger UnitとパソコンをEthernetカテゴリー5のクロスケーブルを使用して直接接続するか、 Hub(ハブ)にストレートケーブルを使用して接続してください。



Web Datalogger Unitの仕 様と機能

2.1 各部の名称と機能

2.1.1 各部の名称と機能



①状態表示LED1

Web Datalogger Unitの運転/停止、エラー/アラームなどの動作状態を表示します。

LED	LEDの状態と動作状態
MODE (绿)	点灯: RUNモード – データの収集・蓄積の実行中
MODE (TRK)	点滅: STOPモード – データの収集・蓄積を停止中
TRIGGER (緑)	点灯: アクショントリガ発生中
EDDOD (去)	点灯: ハードウェアの異常発生中
ERROR (M)	点滅: 上記以外の異常発生中

参 照:異常時の表示状態について<10.1.1 LEDによる状態表示>

②RUN/STOPモード切替スイッチ

Web Datalogger Unitの運転モードを切り替えるスイッチです。

	スイッチ		動作モード
RUN	(位置・上)	RUNモード	:データの収集、蓄積を実行します。
STOP	(位置・下)	STOPモード	:データの収集・蓄積を停止します。
• Web画	i面からの設定に	より運転/停止のり	刃り替えを行うこともできます。

•Web画面から運転/停止の切り替えを行うと、RUN/STOPモード切替スイッチの設定と実際の動作が異なる場合があります。実際の動作モードは状態表示LED1(MODE)で確認してください。

• 電源を再投入するとRUN/STOPモード切替スイッチで設定したモードで動作を開始します。

③通信状態表示LED

コミュニケーションカセットを装着した場合のCOM. 1	、COM. 2	の通信状態を表示します。
-----------------------------	---------	--------------

LED		モニタ内容	LED の状態と通信状態
S	ç	送信三百万	点滅: 送信中
COM 1	מ	返信 ノーク	消灯: 送信データ無し
COMI. I	р	亚合三 万	点滅: 受信中
	К	文信ノーク	消灯: 受信データ無し
			点滅: 送信中
S S		S 送信データ	(RS232C 1チャンネルタイプの場合、RS信号ON時点灯)
			消灯: 送信データ無し
		R 受信データ	点滅: 受信中
	R		(RS232C 1チャンネルタイプの場合、CS信号がON時点灯)
			消灯: 受信データ無し

④リセットスイッチ

すべての設定を初期化する時に使用します。本スイッチをONした状態で電源をONしてください。

⑤CFカードカバー

CFカードを抜き差しする場合はカバーを外します。

注)CFカードを差した場合、CFカードカバーを取り付けてください。CFカードカバーを取り付けた時点 で、CFカードにアクセスします。

⑥CFカードソケット

CFカードを挿入します。

⑦CFカードアクセスLED

CFカードへのアクセス中は点灯します。 CFカードカバー取り付け時は、状態表示LED2のCF. LEDにてアクセス状態を確認する ことができます。

⑧Ethernet接続コネクタ(RJ45)

Ethernet通信をおこなう場合、接続します。

⑨MODEM(RS232C)接続コネクタ(D-SUB 9ピン)

モデム通信をおこなう場合、接続します。

⑩状態表示LED2

LED	LEDの状態と動作状態
	点滅: PPP通信データ送信中
IVIIX (TRK)	消灯: 送信データなし
MD _w (建)	点滅: PPP通信データ受信中
NIKX (TRK)	消灯: 受信データなし
LINK (绿)	点灯: Ethernet接続中
LIINIX (称水)	消灯: Ethernet未接続
	点滅: Ethernet送信中
EIX (秋)	消灯: Ethernet未通信
FD ())	点灯: Ethernet受信中
ERX (ik)	消灯: Ethernet未通信
CF (緑)	点灯: CFカードアクセス中
	消灯: CFカード未アクセス

⑪入出力表示LED

入出力の状態が確認できます。

12入出力端子台

外部入出力機器との接続の場合、使用します。

①電源コネクタ(24V DC)

24V DCを供給してください。接続には、付属のケーブル(AFPG805)を使用します。

(1)コミュニケーションカセット(オプション)

オプションのカセットタイプの通信用アダプタです。下記のうち、いずれか1つを装着できます。 ・RS232C 1チャンネルタイプ

- ・RS232C 2チャンネルタイプ
- ・RS485 1チャンネルタイプ

1チャンネル、RS232C 1チャンネル混載タイプ •RS485



15 電池カバー

別売りのバックアップ電池を使用する時は、このカバーを外して装着します。 バックアップ電池を取り付けると、カレンダタイマや蓄積データの保持が可能となります。

参照: <5.7 バックアップ電池の取り付けと設定≥
</p>

16増設用フック

増設ユニットの固定に使用します。また右側面の増設用フックは取り付けプレートフラット型(AFP0804) に設置する際にも使用します。

①FPO増設用右側コネクタ

Web Datalogger Unit右側に増設するFPO増設ユニットと内部回路を接続します。 (シールをはがすとコネクタがあります)

(18)DINフック

レールにワンタッチで取り付けることができます。また、取り付けプレートスリム30型(AFP0811)に 設置する際にも使用します。

2.2.1 入力仕様

■ 入力仕様 (X0, X1, X2, X3)

項目		仕 様	
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	
定格入力電圧		$12 \sim 24 \text{V} \text{DC}$	
使用電圧範囲		10.8 \sim 26.4V DC	
定枚入力雪流		約2.8mA (at12V DC)	
足怕八刀 电机		約5.6mA (at24V DC)	
っエン卡ボ		1点/1コモン	
		(入力電源の極性は、+/-いずれでも可能)	
最小ON電圧/最	小ON電流	10.8V DC/3mA	
最大OFF電圧/占	最大OFF電流	2. 4V DC/1. 3mA	
入力インピーダンス		約4.3kΩ	
応答時間	OFF→ON	1ms 以下	
	ON→OFF	1ms 以下	
動作表示		LED表示	

注)25 ℃での仕様です。

■ 内部回路



■ リレー出力仕様(YO)

項目		仕 様	
出力形式		1a 出力	
定格制御容	量	2A 250V AC、2A 30V DC ^{注)}	
コモン方式		1点/コモン	
亡父時間	$OFF \rightarrow ON$	約10ms	
心合时间	$ON \rightarrow OFF$	約 8ms	
丰合	機械的	2000万回以上	
電気的		10万回以上	
サージキラー		なし	
動作表示		LED表示	
動作表示		LED表示	

注)抵抗負荷



2.3 入出力端子配列図



注)入力回路の各COM 端子は電気的に独立しています。

3章

増設ユニットとコミュニケーショ ンカセットについて

3.1 増設ユニットの種類

Web Datalogger Unitには、FPO増設ユニット(増設I/Oユニット/高機能ユニット)を最大3ユニット まで増設することができます。

FPO増設ユニットは、Web Datalogger Unitの右側に装着します。



Web Datalogger Unit



FPO増設ユニット(増設I/Oユニット/高機能ユニット)は、Web Datalogger Unitの右側に増設します。 コニットの増設には、ユニット側面のFPO増設用右側コネクタ、増設用フックを使います。

①ユニット右側側面にあるシールをはがし、内部のFPO増設用右側コネクタを露出させてください。



②上下の増設用フックをドライバーなどで引き上げてください。



③本体側と増設側の四隅の突起を合わせて装着してください。この時、ユニット間に隙間ができないようにしっかりとコネクタをかん合させてください。



④手順②で引き上げた増設用フックを下げ、ユニットを固定してください。



3.2 コミュニケーションカセットの種類

コミュニケーションカセットは、用途に合わせて以下の4タイプがあります。

■ RS232C 1チャンネルタイプ (品番:AFPG801)

5線式RS232Cポートを1チャンネル装備したコミュニケーションカセット。1:1のシリアル通信をします。 RS/CS制御も可能です。

● 端子配列



ピン名称	名称	信号の方向	ポート
SD	送信データ	本体 → 外部機器	
RD	受信データ	本体 ← 外部機器	
RS	送信要求	本体 → 外部機器	COM. 1ポート
CS	送信可	本体 ← 外部機器	
SG	信号用接地	_	

注1) CS(送信可)が入らないと送信できません。3線式でご使用 の場合はRSとCSを短絡してください。

■ RS232C 2チャンネルタイプ(品番:AFPG802)

3線式RS232Cポートを2チャンネル装備したコミュニケーションカセット。1:1のシリアル通信をします。 外部機器2台と通信できます。

● 端子配列

	FF S1 F	G-COI AFPG80 RS232C	M2 2 9G	ļ
51 F		900 		□ SG

ピン名称	名称	信号の方向	ポート
S1	送信データ1	本体 → 外部機器	COM 1 the
R1	受信データ1	本体 ← 外部機器	COM. 14-P
S2	送信データ2	本体 → 外部機器	COM Off 1
R2	受信データ2	本体 ← 外部機器	СОМ. 245-р
50	信旦田埣地		COM. 1ポート
30	佰万用1安地		COM. 2ポート

■ RS485 1チャンネルタイプ(品番:AFPG803)

2線式RS485ポートを1チャンネル装備したコミュニケーションカセット。1:Nのシリアル通信をします。 ● 端子配列



ピン 名称	名 称	信号の方向	ポート
+	伝送路(+)	_	
_	伝送路(-)	—	
+	伝送路(+)	—	COM. 1
_	伝送路(-)		₩ — Γ
Е	終端局設定	—	

■ RS485 1チャンネル、RS232C 1チャンネル混載タイプ(品番:AFPG806)

2線式RS485ポートを1チャンネルと3線式RS232Cポートを1チャンネル装備したコミュニケーションカセット。RS485 ポートで1:Nのシリアル通信に対応し、RS232Cポートで1:1のシリアル通信に対応します。

● 端子配列



ピン 名称	名 称	信号の方向	ポート
+	伝送路(+)		RS485 (COM
—	伝送路(一)	—	(00M. 1ポート)
SD	送信データ	本体→外部機器	RS232C
RD	受信データ	本体←外部機器	(COM.
SG	信号用接地	—	2ポート)

■ 通信状態表示LEDについて

本体の表示内容はRS232C 2ch用になっています。他のタイプでは下記のように読みかえてください。

本体の衣示		AFPG802	AFPG803	AFPG800	
COM. 1 ■S	SD	SD	SD	RS485 SD	LED 通信中 点滅 通信なし 消灯
∎R	RD	RD	RD	RS485 RD	SD・送信データ(出力)
COM. 2 ∎S	RS	SD	未使用	RS232C SD	RD:受信データ(入力)
∎R	CS	RD	未使用	RS232C RD	

■ 外形寸法の違いについて



AFPG802 AFPG803

注)5mm長くなります

■ AFPG806 スイッチの設定

RS485ポート(COM. 1)使用時のみ

伝送速度の設定は内蔵スイッチと本体構成設定画面の両方の設定が必要です。



カセット裏側

3.2.1 コミュニケーションカセット通信仕様

品番	AFPG801	AFPG802	AFPG803	A	FPG806	
インターフェイス	RS232C 1ch ^{注7)}	RS232C 2ch ^{注7)}	RS485 1ch ^{注7)}	RS232C 1ch ^{注7)}	RS485 1ch ^{注5)注6)}	
伝送距離	15 m	15 m	$1200 m^{\pm 1)\pm 2}$	15 m	1200 m ^{注1)注2)}	
伝送速度	2400, 4800, 9600, 19200, 38400, 57600, 115200bps 19200, 115200bps 注3)注4)					
通信方式	半二重方式					
同期方式	調歩同期方式					
	ストップビット 1 bit/2 bit					
伝送フォーマット	パリティ 無し	_/有り(奇数/	/偶数)			
	データ長 7	bit∕8 bit				
データ送出順序	キャラクタ単位に	ニット0より送出				
接続台数	_	_	最大99台	_	最大99台	

注1)伝送速度及び接続台数により伝送距離が下記の通り制限されます。38400bps 以下の速度では

最大1200m、99台となります。



- 注2)C-NETアダプタ混在時、最大接続台数は32台、伝送速度は19200bps以下に制限されます。
- 注3)コミュニケーションカセットAFPG806(COM4)内RS485ポートの伝送速度は、Web Datalogger Unit及び コミュニケーションカセット内ディップスイッチの両方で設定する必要があります。RS232Cポートの伝送速度は、 Web Datalogger Unitのみの設定で可能です。
- 注4)コミュニケーションカセットAFPG806(COM4)内RS485ポートの終端抵抗有無は、コミュニケーションカセット 内ディップスイッチで設定します。RS232Cポートには終端抵抗はありません。
- 注5) FPΣを接続時はFPΣがコマンドを受け取ってから、レスポンスを返送するまでの時間をFPΣの下記命令で 調整して頂く必要がある場合もございます。
- (SYS1 MCOM1, WAITn n=0~999(nスキャン遅らせる))
- 注6)コミュニケーションカセットAFPG803、AFPG806(COM4)のRS485通信にてWeb Datalogger Unit側 からデータ送信後は、受信側機器にて下表時間経過後、データをWeb Datalogger Unit側へ送信開始して ください。
- 注7)RS232Cの配線は耐ノイズ性向上のため必ずシールド線を使用してください。

■ RS485通信時のご注意

Web Datalogger UnitでRS485通信をする場合、Web Datalogger Unitは送信データ送出後、一定期間通信ラインを占有します。受信側機器にて下記時間経過後、Web Datalogger Unitへ送信を開始してください。

Web Data	llogger Unit 📑	送信		送信
接続相手機器側			←→ 返信	
			t	t
t の条件	通信条件		AFPG803使用時	AFPG806使用時
	4800bps		4.2ms以上	選択しないでください
	9600bps		2.1ms以上	選択しないでください
	19200bps		1.1ms以上	1.1ms以上
	38400bps		0.6ms以上	選択しないでください
	57600bps		350 µ s以上	選択しないでください
	115200bps		200μs以上	200 µ s以上

● 接続相手機器の種類によっては下記のような調整をお取りください。

FP∑の場合:

FP∑にはコマンドを受け取ってから、レスポンスを返送するまでの時間を変更できるSYS1命令が用意されています。

🥤 参 照:<FPΣ ユーザーズマニュアル ARCT1F333>

■ コミュニケーションカセットの取り付け方法 ①FPΣ本体の電源が切れているか、確認してください。

②ドライバーを差し込んでカバーを外してください。



③コミュニケーションカセットを取り付けてください。



④通信コネクタを差し込んでください。



■ 付属コネクタの配線

●付属コネクタ/適合電線

通信コネクタ(コミュニケーションカセットに付属)は、ネジ締めタイプの端子台を使用しています。電線は下 記のものを使用してください。



付属通信コネクタ

通信コネクタにはフェニックス・コンタクト(株)製を使用しています。

ピンン米	フェニックス社モデル番号			
	型番	製品番号		
5 ピン	MC1, 5∕5−ST−3, 5	1840395		

適合電線(より線)

電線数	サイズ	導体断面積
1本	AWG#28~16	$0.08 \text{mm}^2 \sim 1.25 \text{mm}^2$
2本	AWG#28~18	$0.08 \text{mm}^2 \sim 0.75 \text{mm}^2$

上記電線でシールドされたものをご使用ください。 シールド部は接地することを推奨します。

適合絶縁スリーブ付き棒端子

下記型式の棒端子がフェニックス・コンタクト社より発売されています。

メーカ	断面積	サイズ	フェニック社型番
	$0.\ 25 \text{mm}^2$	AWG # 24	AI 0,25—6 YE
	0. 50mm^2	AWG # 20	AI 0,5—6 WH
フェニックス・	0. 75mm^2	AWG # 18	AI 0,75—6 GY
コンタクト(株)	1.00mm^2	AWG # 18	AI 1—6 RD
	0 $5mm^2 \times 2$	AWC # 20 × 2本田	AI—TWIN 2×
	0. 511111×2	AWG#20~2本用	0,5—8 WH

棒端子専用圧着工具

4	フェニックス社モデル番号	
×—73	型番	製品番号
フェニックス・ コンタクト(株)	CRIMPFOX UD6	1204436
● 通信コネクタの端子台の締め付けは専用工具で

端子の締め付けには、フェニックス・コンタクト(株)製ドライバー(フェニックス社 型番 SZS 0.4×2.5 製品番号:1205037、刃幅0.4×2.5、)か、または松下電工(株)製ドライバー(ご注文品番:AFP080 6)をご使用ください。締め付けトルクは、0.22N・m~0.25N・m(2.3kgf・cm~2.5kgf・cm)としてく ださい。

● 配線方法 ① 電線の被覆をはがしてください。



②電線を端子台に突き当たるまで挿入し、ネジを時計方向に締め、固定してください。(締め付けトルク
 0. 22N·m~0. 25N·m(2. 3kgf·cm~2. 5kgf·cm))



●配線時のご注意

以下の点を守り、断線しないようご注意ください。

- ・被覆をはがす時、芯線を傷つけないようにしてください。
- ・芯線はよらずに結線してください。
- ・芯線は半田上げせずに結線してください。振動により切断する場合があります。
- ・結線後はケーブルにストレスをかけないでください。
- ・端子の構造上、反時計回りで電線が締まる場合は接続不良です。一度電線を抜き、端子穴を確認して 再度配線してください。
- ・AFPG806(COM. 4)のRS485+、 端子へ2線接続する場合は、0.5~0.75mm²で2本とも 同断面積の同一線材をご使用ください。



■ 伝送ケーブルの選定について

コミュニケーションカセットRS485タイプを使用したシステムでは、伝送ケーブルとして、下記のものを使用してください。

● 適合電線(より線)

		導体		絶縁体		<u> </u>	
分類	断面図	サイズ	抵抗値 (at 20℃)	材質	厚み	クーフル 直径	適合ケーブル例
シールド付	シールド 被膜	1. 25mm ² (AWG16) 以上	最大 16. 8Ω∕km	ポリエチレン	最大 0. 5mm	約8. 5mm	日立電線(株) KPEV-S1. 25 mm ² ×1P Belden社 9860
ック1 スト ペア	導体 絶縁体	0.5 mm ² (AWG20) 以上	最大 33. 4Ω ∕ km	ポリエチレン	最大 0. 5mm	約7.8mm	日立電線(株) KPEV-S0. 5 mm ² ×1P Belden社 9207
VCTF	- 被膜 導体 - ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	0. 75mm ² (AWG18) 以上	最大 25. 1Ω/km	ポリ塩化 ビニル	最大 0. 6mm	約6. 6mm	VCTF-0. 75 mm ² ×2C(JIS)

¥. ご注意:

・ツイストペアケーブルは、シールドタイプをご使用ください。

- ・伝送ケーブルは、1種類のみ使用してください。2種類以上を混在して使用しないでください。
- ・ノイズ環境の悪いところでは、ツイストペアケーブルの使用をおすすめします。

・RS485の伝送路は、渡り配線とし、シールドケーブル使用時は、片側接地としてください。

・AFPG806(COM. 4)のRS485+、-端子へ2線接続する場合は、上記ケーブルの0. 5~0. 75mm²で2本とも 同断面積の同一線材をご使用ください。

3.2.3 1:1通信での接続例

Web Datalogger UnitとFP Σを1:1通信で接続する例です。



N	eb Datalo	gger Unit	則	FPΣ	〕側
	記号	ピンNo.		記号	ピンNo.
	SD	1		SD	1
	RD	2	\blacksquare	RD	2
	RS	3		RS	3
	CS	4	≼ ┘ └ ⋼	CS	4
	SG	5		SG	5

注)3線でご使用の場合は、RSとCSを短絡してください。

■ 設定

Web Datalogger Unit				
9	▶部機器(COM. 1)			
動作選択	PLC接続			
	(松下電工MEWNET-FPシリーズ)			
接続方式	1:1			
局番	選択できません			
通信速度(bps)	9600			
データビット	8			
パリティ	奇数			
ストップビット	1			
通信タイムアウト	3秒			

$FP\Sigma$	
CO	M. ポート1
ユニットNo.	1
通信モード	コンピュータリンク
伝送フォーマット	データ長 8ビット
	パリティチェック奇数
	ストップビット 1
通信速度(bps)	9600

上記の設定で、Web Datalogger UnitがRUNモードの時、FPΣよりデータを読み出しが可能です。

◆
 照:Web Datalogger Unitの設定について<6章 ユニットの設定>

4章

I/Oの割り付け



注)実際に使用できるI/O番号の範囲は、 ユニットによって異なります。

■ Web Datalogger Unitで使用されるデバイスについて

Web Datalogger Unitでは、以下のデバイスが使用されます。

- X :本体またはFPO増設ユニットの入力接点
- Y :本体またはFPO増設ユニットの出力接点
- B :外部機器の接点に関連付けられるビットデータ 【例】外部機器に接続されたPLCのR0を関連付ける。
- EXD:外部機器のデータに関連付けられるダブルワードデータ
- 【例】 外部機器に接続されたPLCのDTOを関連付ける。
- AD :FPO増設ユニットのアナログ入力接点

	AD <u>Q Q</u>	(DAも同様)
スロット番号		
チャンネル番号		

- 【例】 増設ユニット1にA/D変換ユニットが使用される場合、チャンネル0は「AD10」となります。 DA:FP0増設ユニットのアナログ出力接点
- 【例】 増設ユニット2にD/A変換ユニットが使用される場合、チャンネル0は「DA20」となります。

■ I/O番号について

●X·Y番号の指定の仕方

Web Datalogger Unitでは、入力と出力で同じ番号を使います。

例:X20 Y20 入出力で同一番号を使用

●入出カリレーの番号の数え方

入出力リレーX・Y・Bは、以下のように10進数と16進数の組み合わせで表現します。

10進数 1, 2, 3 ······ 9	×Ļ
16進数 1, 2, 3 ······ 9, A, B ··· F	

4.2.1 Web Datalogger UnitのI/O番号

<u>Web Datalogger Unit本体のI/O割り付けは固定です。</u>

割付点数	I∕O番号
入力	X0~X3
出力	Y0

4.3 FPO増設ユニットの割り付け

FPO増設ユニットはWeb Datalogger Unitの右側に増設します。

I/O番号は、本体から近い方から順に若い番号が割り付けられます。

4.3.1 FPO増設ユニットのI/O番号

・I/O番号は増設時にWeb Datalogger Unit側で自動的に割り付けられますので、設定の必要はありません。

・増設ユニットのI/	O番号は、	接続する位置によっ	て決まります。
------------	-------	-----------	---------

ユニットの種類		割付点数	増設ユニット1	増設ユニット2	増設ユニット3
	FP0-E8X	入力(8点)	X20~X27	X40~X47	X60~X67
	FP0-E8R	入力(4点)	X20~X23	X40~X43	X60~X63
		出力(4点)	Y20~Y23	Y40~Y43	Y60~Y63
	FP0−E8YT∕P FP0−E8YR	出力(8点)	Y20~Y27	Y40~Y47	Y60~Y67
EDO	FP0-E16X	入力(16点)	X20~X2F	$X40 \sim X4F$	X60~X6F
FPO 増設ユニット	FP0-E16R	入力(8点)	X20~X27	X40~X47	X60~X67
	FPO-E16T/P	出力(8点)	Y20~Y27	Y40~Y47	Y60~Y67
	FPO-E16YT/P	出力(16点)	Y20~Y2F	Y40~Y4F	Y60∼Y6F
	FPO-E32T/P	入力(16点)	X20~X2F	X40~X4F	X60~X6F
		出力(16点)	Y20~Y2F	Y40~Y4F	Y60∼Y6F
FP0		入力 CHO	AD10	AD20	AD30
アナログ	FP0-A21	入力 CH1	AD11	AD21	AD31
I/Oユニット		出力 CHO	DA10	DA20	DA30
FP0 A/D変換 FP0-A80 ユニット		入力	AD10~AD17	AD20~AD27	AD30~AD37
FP0熱電対 ユニット	FP0-TC4 FP0-TC8	Сп0,~1			
FPO D/A変換 ユニット	FP0-A04V FP0-A04I	出力 CH0~3	DA10~DA13	DA20~DA23	DA30~DA33

4.4.1 外部機器のI/O番号

コミュニケーションカセットに接続される外部機器(PLC)に対する番号は以下のようになります。

デバイスタイプ	範囲(集計モード)	範囲(瞬時値モード)
接点	B0~B127(200点)	B0~B1563(2500点)
データ	EXD0~EXD199(200データ)	EXD0~EXD2499(2500データ)

注)接点BはX,Yと同様に10進+16進での表記となります。

実際に使用できるのは、集計モードでは接点とデータ合計で200種類までとなります。 同様に瞬時値モードでは合計で2500種類までとなります。

5章

設置と配線

5.1 設置

5.1.1 設置環境と取り付けスペース

■ 次のような場所での設置は避けてください。

- ・周囲温度が0℃~55℃の範囲を超える場所。
- ・周囲湿度が30%~85%RHの範囲を超える場所。
- ・急激な温度変化で結露するおそれのある場所。
- ・腐食性ガス、可燃性ガスの雰囲気中。
- ・塵埃、鉄分、塩分の多い場所。
- ・ベンジン、シンナー、アルコールなどの有機溶剤や、アンモニアおよびカセイソーダ等の強アルカリ物質 が付着するおそれのある場所やその雰囲気中。
- ・振動や衝撃の激しい場所。
- ・直接日光のあたる場所。
- ・水、油、薬品などのかかる可能性のある場所。

■ ノイズに対する配慮について

- ・高圧線、高圧機器、動力線、動力機器のほか、大きな開閉サージを発生する機器からは、できるだけ 分離して設置してください。
- ・アマチュア無線などの送信部のある機器からは、できるだけ離してください。
- ・万一の電源ラインノイズ対策として「絶縁トランス」や「ノイズフィルター」を介して給電されることをおすすめします。

■ 放熱に対する配慮について

取付方向は放熱のために電源コネクタが下側になる向きにしてください。



・下図のような向きの取り付けは避けてください。







天地逆の取付け

天地逆の取付け

入出力端子台が 下面となる取付け

入出力端子台が 上面となる取付け

Web Datalogger Unit 本体が水平となる取付け

・ヒータ、トランス、大容量の抵抗など発熱量の大きな機器の上に取り付けないでください。

■ 取り付けスペースについて

・放熱やユニットの交換のために、ユニット周辺のダクト、他の機器とは50mm以上離して設置してください。



・盤のとびらなどWeb Datalogger Unit本体の前面に機器を設置する場合、放射ノイズや発熱の影響を避けるため、それらの機器とは100mm以上の距離を取ってください。



・配線のため、Web Datalogger Unit表面から100mm以上の距離を取ってください。

5.1.2 取り付け方法

■ DINレールへの取り付け・取り外し

DINレールへワンタッチで取り付けできます。

取り付け方法

取り外し方法

①DINレール上部の爪に引っかけます。

①マイナスドライバを取り付けレバーに差し込みます。

②そのまま下部を押さえます。

②取り付けレバーを引き下げます。

③本体を持ち上げて外してください。





5.1.3 オプションの取り付けプレートを使った取付

■ FPO取付プレート スリム型(AFP0803)を使用する場合

(FP0取付用)

M4サイズのナベ小ネジを使い、下記寸法にしたがって取り付けてください。



後はDINレールに取り付ける要領と同じです。



『空戸』ご注意:

- ・Web Datalogger Unitには2連結でご使用ください。
- ・増設ユニットを使用する場合は、プレートを使用数分だけ組み合わせてからネジ止めしてください。 ネジ止めは、四隅で行ってください。

【例】増設ユニットが2個の場合



■ 取付プレートフラット型(AFP0804)を使用する場合

M4サイズのナベ小ネジを使い、下記寸法にしたがって取り付けてください。



ユニットの増設用フックを引き出し、取付プレートに合わせた状態でロックしてください。



また、取付プレートを使用することでDINレールに横方向にも設置することができます。



『塗」ご注意:

取付プレートフラット型(AFP0804)は、Web Datalogger Unit単体で使用してください。 FP0増設ユニットとの組み合わせ時は使用しないでください。

5.2 電源の配線

5.2.1 電源の配線



■ ユニットへの電源配線について

電源の接続は、ユニットに付属の電源ケーブル(品番:AFPG805)により行います。 茶:24V DC

青:0V

緑:機能アース

■ 電源供給線はツイストを

ノイズの影響を小さくするため、電源線(茶と青)は、ツイスト処理(より線処理)してください。

■ 電源は保護回路内蔵の絶縁型を

- ・電源ラインからの異常電圧に対する保護のため、電源には保護回路を内蔵した絶縁型の電源を使用してください。
- ・Web Datalogger Unitの操作用電源部は非絶縁回路となっています。
- ・保護回路を内蔵していない電源装置を使用する場合は、必ずヒューズなどの保護素子を介してユニット に電源供給してください。

電源電圧は電圧許容範囲内で

定格電圧	24V DC		
動作電圧範囲	21. 6V DC \sim 26. 4V DC		

■ 電源系統は分離して

・Web Datalogger Unit、入力機器、動力機器への配線は、それぞれ系統を分離してください。

ブレーカ



■ 電源シーケンスにご配慮ください

- ・Web Datalogger Unitの電源は、入出力用電源よりも先にOFFするように電源シーケンスを配慮して ください。
- ・Web Datalogger Unitの電源よりも、先に入出力用電源がOFFすると、Web Datalogger Unit 本体が入力レベルの変化を検出し、予定外の動作をする場合があります。
- ・Web Datalogger Unitと増設ユニットの電源は必ず同一電源から取り、ON/OFF を同時に行うよう にしてください。

■ ノイズの影響が大きい時は接地を

通常の環境下においては、十分なノイズ耐量がありますが、特にノイズが大きな環境下においては接地処理をしてください。

■ 接地は専用接地で

・電線は2mm²以上のものを使用し、接地抵抗100Ω以下のD種(第3種)接地としてください。 ・接地点はできるだけWeb Datalogger Unitの近くとし、接地線の距離を短くしてください。 ・接地を他の機器と共用すると逆効果となる場合がありますので、必ず専用接地としてください。



登 ご注意:

ご使用になる環境により、接地をすると逆に問題となる場合があります。

【例】

Web Datalogger Unitの電源ラインはバリスタを介して機能アースに接続されていますので、電源ラインと大地間に異常電位がある場合はバリスタが短絡する可能性があります。



5.3 入出力の配線

5.3.1 入力側の配線について

■ 光電センサ・近接センサとの接続 リレー出カタイプ



電圧出力タイプ



NPNオープンコレクタ出力タイプ



2線式出力タイプ



■ LED付リードスイッチ使用時の注意点



LED付リードスイッチなど、入力接点に直列LE Dが入っている場合でも、Web Datalogger Unitの入力端子にはON電圧以上の電圧がか かるようにしてください。特に、直列に複数のス イッチを接続する場合はご注意ください。

2線式の光電センサや近接センサを使用した場 合は、漏れ電流の影響でWeb Datalogger Unitへの入力がOFFにならない場合、左図の ようにブリーダ抵抗を接続してください。



■ 2線式センサ使用時の注意点

I:センサのもれ電流(mA) R:ブリーダ抵抗値(kΩ) 入力のOFF電圧は2.4 Vのため、COM端子・入力端子間の 電圧が2.4 V以下になるようRの値を決めます。 入力インピーダンスは4.3 kΩ I× <u>4.3R</u> ≤2.4より R≤ <u>10.32</u> (kΩ)

抵抗のワット数Wは、

W = (電源電圧)²

で求められ、通常この値の3~5倍で選定してください。

■ LED付リミットスイッチ使用時の注意点



LED付リミットスイッチを使用した場合、漏れ電 流の影響でWeb Datalogger Unitへの入力 がOFF にならない場合、左図のようにブリー ダ抵抗を接続してください。

■ 誘導負荷の保護回路について

・誘導負荷の場合は、負荷と並列に保護回路を設けてください。

・リレー出力においてDC誘導負荷を開閉する場合は、保護回路の有無が寿命に大きく影響しますので、 必ず負荷の両端にダイオードを設けてください。

バリスタ

出力端子

COM端子

-N-

負荷

 \ominus

AC負荷の場合



サージキラーの例 抵抗 50Ω 容量 0.47 μF

DC負荷の場合



■ 容量性負荷使用時の注意点

ラッシュ電流の大きな負荷を接続する場合は、その影響を小さくするため、下図のように保護回路を設けて ください。



5.3.3 入出力配線共通の注意事項

■ 入力/出力/動力線はそれぞれ離して

・入力線、出力線の配線は電流容量を考慮して、電線の径の選定をしてください。

- ・入力配線と出力配線、またそれらと動力線は、できるだけ離して配線してください。同一ダクトに通したり、 結束(バインド)しないでください。
- ・入出力配線と動力線、高圧線は100mm以上離してください。

■ 付属端子台/適合電線

端子台はスプリング式接続タイプを使用しています。電線は下記の適合電線を使用してください。



● 付属端子台ソケット

端子台ソケットにはフェニックス・コンタクト(株)製を使用しています。

ピン,券	フェニックス社モデル番号		
	型番	製品番号	
12 ピン	FK-MC0, 5/12-ST-2, 5	1881422	

● 適合電線(より線)

サイズ		公称断面積		
	AWG#28~20	0. $14 \text{mm}^2 \sim 0.5 \text{mm}^2$		

● 適合絶縁スリーブなし棒端子

棒端子を使用される場合、フェニックス社下記形式のものをご選定ください。

メーカ	断面積	サイズ	フェニック社型番
フェニックス・	0. 34mm^2	AWG # 22	A 0, 34—7
コンタクト(株)	0. 50mm^2	AWG # 20	A 0, 5—6

●棒端子専用圧接工具

4	フェニック社モデル番号		
<i>х</i> —л	型番	製品番号	
フェニックス・ コンタクト(株)	CRIMPFOX UD 6-4	1205244	

■ 端子台の締め付けは専用工具で

電線の挿入には、フェニックス・コンタクト社㈱社製ドライバー(フェニックス社製造番号:1205202)、 刃幅0.4×2.0(型番SZS 0.4×2.0)を使用ください。

■ 配線方法

①電線の被覆をはがしてください。

②端子台の橙色のスイッチをマイナスドライバ等で押してください。



③押したまま、電線を突き当たるまで挿入してください。



④押したスイッチを離してください



■ 配線時のご注意

以下の点を守り、断線しないようご注意ください。

・被覆をはがす時、芯線を傷つけないようにしてください。

- ・芯線はよらずに結線してください。
- ・芯線は半田上げせずに結線してください。半田上げすると振動により切断する場合があります。
- ・結線後はケーブルにストレスをかけないでください。

■ CFカードI/F仕様

項目	仕様
スロット	TYPE I 準拠
容量	8M~1GB(マイクロドライブ不可)

注1)CF(コンパクトフラッシュ)は、米国San Disk社の商標です。

注2)CFカードは使用周囲温度+20℃以上の品をご使用ください。

注3) 書き込み中に(瞬時)停電が発生すると、場合によってはデータが破壊する可能性がありますので UPS(無停電電源装置)のご使用をお勧めします。



注1) CFカード挿入後は必ず保護カバーを装着してください。カバーが外れた状態ではアクセスエラー になりCFカードの読み出し、書き込みができません。

注2)CF保護カバーをはずし、CFのアクセスLEDが消灯してから取り出してください。



5.6.1 安全対策について

■ システム設計上の注意

Web Datalogger Unitを使用したシステムでは、次のような要因により誤作動を起こすことがあります。

・Web Datalogger Unitの電源と入出力機器・動力機器の立ち上がり、立ち下がりのずれ。

・瞬時停電による応答時間のずれ。

・Web Datalogger Unit本体、外部電源、他の機器の異常。

このような誤作動がシステム全体の異常や事故につながらないよう、次のような安全対策を施してください。

■ 非常停止回路をWeb Datalogger Unitの外部に

出力機器の電源を切る回路はWeb Datalogger Unitの外部に設けてください。

■ Web Datalogger Unitの起動は他の機器より遅らせて(電源シーケンス)

Web Datalogger Unitの起動は、入出力機器、動力機器が立ち上がってから行ってください。 【方法】

・Web Datalogger Unitの電源を立ち上げてから、STOPモードからRUNモードに切り替える。 ・外部にタイマ回路を設けてWeb Datalogger Unitの電源起動を遅らせる。

注)Web Datalogger Unitを停止する場合も、Web Datalogger Unitの運転を停止させてから 入出力機器がOFFになるようにしてください。

■ 接地は確実に

インバータなどスイッチングにより高電圧を発生する機器に隣接してWeb Datalogger Unitを接地する場合は、共通接地を避け、D種(第3種)以上の専用接地を施してください。

5.6.2 瞬時停電について

■ 瞬時停電の動作

瞬間停電時間が3ms未満の場合、Web Datalogger Unitは動作を継続します。3ms以上の場合は、 ユニットの組み合せ、電源電圧などの条件により、その動作が変わります。 (電源リセットと同じ動作をすることがあります)

5.6.3 電源および出力部の保護について

■ 電源について

電源には、保護回路内蔵の絶縁型電源を使用してください。Web Datalogger Unitの操作用電源部は 非絶縁回路となっておりますので、異常電圧が直接印加されると内部回路が破壊されるおそれがあります。 保護回路のない電源を使用する場合は、ヒューズなどの保護素子を介して電源を供給してください。

■ 出力の保護について

モーターのロック電流、電磁機器のコイルショート等で定格制御容量以上の電流が流れる場合は、外部に ヒューズなどの保護素子を取り付けてください。

5.7 バックアップ電池の取り付けと設定

オプションのバックアップ電池を取り付けると、収集データなどのバックアップの他にカレンダタイマをバックアップすることができます。

電池 (オプション)		
1	3 称	ご注文品番
F	YPΣ用電池	AFPG804

5.7.1 取り付け方法

①ドライバなどで電池のカバーを開けてください。



②コネクタを接続し、電池を入れてください。



注) 電池の交換は、30分以上通電をおこない電源をOFFにした後、5分以内に 新しい電池と交換してください。

③コードがコネクタと電池の間に入るようにし、カバーをします。



注) 電池を入れるとコードが上を向きますので、そのままカバーをするとコードが折れてしまいます。



ここがポイント!: 電池取付後は、ブラウザから設定メインメニューの「基本設定」一各種動作で 電池電圧の低下の「チェックする」を設定してください。

5.7.2 バックアップ電池の交換時期について

バックアップ電池の電圧が低下すると本体のERROR LEDが点滅します。

この状態になってから約1週間は有効ですが、

発見が遅れることもありますので、なるべく電源を切らないようにして速やかに電池の交換を行ってください。

注) 電池の交換は、30分以上通電をおこない電源をOFFにした後、5分以内に新しい電池と交換して ください。

5.7.3 バックアップ電池の寿命

定期的に交換する必要があります。以下を目安に交換時期の参考にしてください。

項目	内容
電池寿命	250日以上(実使用値 約5年(25℃)) (定期交換目安:1年) (完全無通電の場合の値)

ユニットの設定

6.1 ユニットの基本設定をおこなう

IPアドレスやユニットの構成, 各I/Oの用途などを設定するための画面は、 あらかじめWeb Datalogger Unit(以下DLU)に組み込まれています。 この画面をWebブラウザで開くことにより、各設定をおこなうことができます。

設定から運転までは基本的に以下の手順でおこないます。

```
パソコンとDLUをEthernetケーブルで接続する
```

⇒6.1.1 パソコンとユニットを接続する

パソコンのIPアドレスを変更する

⇒6.1.2 パソコンのIPアドレスを設定する

Webブラウザを起動しDLUにアクセスする

⇒6.1.3 Webブラウザを開いて設定画面を表示 する

DLUのIPアドレスや時刻等の初期設定をおこなう

⇒6.1.4 IPアドレスを設定する

ユーザ登録/グループ登録をおこなう

⇒6.2.1 ユニットヘアクセスするユーザを登録す る

DLUのユニット構成を設定する

⇒6.3.1 ユニットの構成を設定する

蓄積ファイルの設定をおこなう

⇒6.3.2 蓄積ファイルの設定をおこなう

各I/Oの詳細設定をおこなう

⇒6.4 I/Oの詳細設定をおこなう

運転モードに切り替える

⇒7.1 ユニットを運転モードにする

注)

・WebブラウザはInternet Explorerの5.5以上をご使用ください。

・設定する前に、DLUが停止モード(ユニット前面のRUN/STOPスイッチがSTOP側)になっていることを確認してください。

この時DLUは「MODE」のLEDが点滅しています。

設定に使用するパソコンとDLUを、Ethernetケーブルで接続します。 接続には以下の2通りの方法があります。

①クロスケーブルを使用して直接接続する



②HUBを使用して接続する



注)HUBによってはクロスケーブルを使用できる場合もあります。

6.1.2 パソコンのIPアドレスを設定する

DLUは工場出荷時に以下のIPアドレスがセットされています。

IPアドレス: 192. 168. 1. 5 ネットマスク: 255. 255. 255. 0 ゲートウェイ: 192. 168. 1. 1

DLUと通信させるために、パソコンのIPアドレスを以下のように設定する 必要があります。

IPアドレス:192.168.1.10 ネットマスク:255.255.255.0 ゲートウェイ:(特に設定する必要はありません)

ご注意:パソコンのIPアドレスは、192.168.1.2~254で、192.168.1.5以外なら

任意に設定してもかまいません。

本マニュアルでは例として上記のように設定します。

■ パソコンのIPアドレスを変更する方法。(Windows® XPの場合) 【手順】

①「スタート」をクリックし、メニューから「コントロールパネル」を選択します。



これでパソコン側の設定は完了です。

ご注意:Windows® XP以外のIPアドレス設定に関しては、各OSのマニュアルやヘルプ等を参照して ください。

6.1.3 Webブラウザを開いて設定画面を表示する

Internet Explorer(以下IE)を起動し、プロキシサーバに関する設定を確認します。

IEの「ツール」メニューから「インターネットオプション」を選択し、「接続」タブをクリックしてください。



「LANの設定」ボタンをクリックすると、 以下の画面が表示されます。

自動構成 自動構成にする	と、手動による調	2 定事項を上書きする	場合があります。	。手動による
設定事項を確 設定を自動	米するには、自動 的に検出する(A)特成を使用不可にし)	いたたいし	
自動構成ス	クリプトを使用す	30)		
7020 #-15	_			
	シャーバーを	使用する これらの設定	Eはダイヤルアップ	または VPN
HEATTLE LE DE	HICI LALE AVVO	, ポート(D):		ESTRATE (C)
ローカル	PFURIER	मित्र में राष्ट्रम	UAC(B)	

ここで、プロキシサーバを使用する設定に なっている場合は、チェックを外してプロキ シサーバを使用しないように変更してくだ さい。

= http://	(192.168)	1.5/setu	teros	oft Interr	net Explor	ren
7717VE	編集也	表示业	BAIL VOID	9-MU	VN/E	
(] 戻る	• 🕤 -	🖹 💈	1 🏠 🔎	検索 🥎	お気に入り	•
アドレス(①)	http://1	92.168.1.5/	setup/			

アドレス入力エリアに 「http://192.168.1.5/setup/i ndex.cgi」 と入力してください。 パソコンとDLUの接続が確立すると、ユーザ認証用のダイアログが表示されます。

?	このセキュリティで保護された Web サイト あります。	- (192.168.1.5 での) には、ログオンする必要が
	/setup/に使用するユーザー名およびパ	1スワードを入力してください。
	2-5-2W	*
	パスワード(2):	
	厂 このパスワードを保存する(S)	

DLUの工場出荷時には、 ユーザ名「unit」 パスワード「server」が登録されてい ます。 これらを半角英数字で入力し、「OK」 をクリックしてください。

次のようなメイン画面が表示されま

す。

Thttp://192.168.1.5/sotup/- Hisrosoft Internet Explorer かイルビ 編集(2) 表示(2) お外に入り(4) ツール(1) ヘルプもタ	
) 🗈 - 🔘 - 💽 🔮 🏠 🔎 18# 📌 BRICHO 🜒 8540	• 🛛 🖉 • 🗟 • 🖸 🖏
20 🕘 http://19216815/zetup/	M 🛃 🗱 950
AIS .	
Web Data	alogger
	Ver.1.0
	b
データモニ	5
データモニ設定	5
データモニ	ه
データモニ 設定	5
 データモニ 設定 	5
データモニ 設定	
「データモニ 設定	5 C2004 Matauahika Electric Works, Ltd

この画面が表示されれば、設定のための準備は完了です。

. 8 ご注意:

1. プロキシサーバに関する設定を変更してからDLUへアクセスしようとしたとき、以下の画面が 表示されることがあります。



「再試行」をクリックしてください。

2. IEのセキュリティレベルが「高」に設定されている場合、「設定」または「データモニタ」ボタンをクリック しても画面が切り替わらない可能性があります。

その場合は、IEに以下の設定をおこなってください。









設定が完了したらIEを終了し、再度立ち上げる。

IEの「ツール」メニューから「インターネットオプ ション」を選択する。 「セキュリティ」タブをクリックする。 「信頼済みサイト」をクリックし、「サイト」ボタン をクリックする。

ダイアログが表示されるので、DLUのIPアドレ スを入力して「追加」ボタンをクリックする。

「Webサイト」の表示エリアに、入力した IPアドレスが表示されていることを確認して 「OK」ボタンをクリックする。

「インターネットオプション」の「OK」ボタンをクリ ックしてダイアログを閉じる。

6.1.4 IPアドレスを設定する

最初にDLUのIPアドレスを設定します。

IPアドレスは初期値として192.168.1.5と設定されていますが、このままで使用する場合は本設定をおこなう必要はありません。

■ IPアドレスを変更する場合

メイン画面の「設定」ボタンをクリックしてください。メインメニュー画面が表示されます。



②「イーサネット設定」を設定してください。

Web Datalonger 1932 - Microso	ft Internet Explorer				- 🛛
ファイル(日) 編集(日) 表示(小) お気に入	りゆ ツールの ヘルプピ				1
🌀 🕫 · 🕥 · 💌 🗟 🟠	🔎 検索 ☆ お気に入り	Str. 69	🙆 · 🍓 📼 · 🖸	-33	
PFU2@ http://192.168.1.5/setup/ne	thame_jon.htm			💙 🛃 移動	リンク
■基本設定		イーサネ	ドット設定		
ネットワーク					
<u>1=世ネット</u>	IPアドレス				
243/07/221 <u> ダイヤルアップ2</u> 差値接続	設定方法	 ○ IP7ドレスを自 ○ 次のIPアドレス 	動的に取得 Rを使用		
174	1P7FD2	192,168,1.5			
2-14	サブネットマスク	255.255.255.0			
<u>時計</u> 金麗新作	ゲートウェイ	192.168.1.1			
12 ST TOLE	DNSサーバ				
■載張設定	設定方法	⊙DNSサーバの ○次のDNSサー	アドレスき自動で取得 いを使用		
想覺指定動作	プライマリ				
■特殊用途	セカンダリ		2		
<u>PGWAY的店</u>			RE .		
オインメニューに戻る					
8					

IPアドレス

DLUのIPアドレスを設定します。

設定項目	設定内容
設定方法	「IPアドレスを自動的に取得」
	・DCHPサーバから自動取得する場合に選択
	「次のIPアドレスを使用」
	・IPアドレスを固定で指定する場合に選択
IPアドレス	ドット付き10進文字で入力(例:192.168.1.20)
サブネットマスク	ドット付き10進文字で入力(例:255.255.255.0)
ゲートウェイ	ドット付き10進文字で入力(例:192.168.1.1)

DNSサーバ

DNSサーバは、以下の機能を使用する際に必要となる各サーバがIPアドレスではなく「名前」で指定される場合に必要です。

・メール送信(SMTPサーバ。場合によってはPOPサーバ)

・時刻合わせ(SNTPサーバ)

【例】SMTPサーバをxxx. xxx. xxx	. xxxではなく「smtp.	mail. co. jp	」で指定する。
--------------------------	-----------------	--------------	---------

設定項目	設定内容
設定方法	「DNSサーバのアドレスを自動で取得」
	DCHPサーバから自動取得する場合に選択
	「次のDNSサーバを使用」
	IPアドレスを固定で指定する場合に選択
プライマリ	ドット付き10進文字で入力(xxx. xxx. xxx. xxx)
セカンダリ	ドット付き10進文字で入力(xxx. xxx. xxx. xxx)



デレビン ご注意:

- ・IPアドレス, サブネットマスク, ゲートウェイ, DNSサーバの各アドレス値に関しては、ネットワーク管理者 にご確認ください。
- ・DHCPサーバはIPアドレスを自動取得する場合に必要です。 詳細はネットワーク管理者にご確認ください。
- ・「IPアドレスを自動的に取得」にチェックがある場合、IPアドレス,サブネットマスク,ゲートウェイに設定された内容は無効です。
- ・IPアドレスの自動取得に失敗した場合、IPアドレスは工場出荷時の値に設定されます。 (192.168.1.5)

・IPアドレスは半角数字で入力してください。(ドット文字も半角)全角で入力するとエラーが表示されます。



⑥記録が正常終了すると、以下のメッセージが表示されます。



(注意:

- 1. IPアドレスの変更に伴い、変更前のIPアドレスではDLUにアクセスできません。
- 2. IPアドレスを変更すると、DLUはシステムを再起動します。
- 再起動には10秒ほどかかりますが、この間DLUにはアクセスできません。 3.「IPアドレスを自動的に取得」に設定された場合、DLUの再起動後にどのIPアドレスが設定されたか を確認できません。この時は、「IP検索ツール」を使用してください。
- 4. IP検索ツールは、当社Webサイトから無償でダウンロードできます。
 http://www.nais-j.com/plc/uacs/plc_dl_soft.html (会員登録必要 無料)
- 5. IP検索ツールに関しては、上記Webサイトからダウンロードできるマニュアルを参照してください。

6.1.5 時計を設定する

DLUには時計が内蔵されています。 工場出荷時は設定されていませんので、正しい日時を設定してください。

【手順】 Web Datalogger 設定メインメニュー ■動作設定 入出力-取業 アクショントリガ ■苏大清空 基本航定 2-526 グループ登録 ①メインメニュー画面の ■その他 「基本設定」をクリックしてください。 ユニット技作 設定内容ファイル保存 本体へ記録 本体情報 ログアウト 🗿 Web Datalonner 読示 - Microsoft Internet Explorer ファイル(日) 編集(日) 表示(い) お気に入り(心) ツール(日) ヘルプ(日) 3 R5 · O · 🖻 🗟 🚯 🔎 88 ☆ 896230 398947 🤣 💁 🍃 🖪 🖏 FV2@ http://192.168.1.5/setup/nethame_jon.htm 💌 🛃 移動 リン ■基本設定 イーサネット設定 <u>イーサネット</u> ダイヤルアップ1 ダイヤルアップ2 IPアドレス ○IPアドレスを自動的に取得 設定方法 著信接続 モデム ⊙ 次のIPアドレスを使用 127FUZ 192.168.1.5 255 255 255 0 2二/2 時計 各時期日 ②左側のメニューから「時計」を選択 192.168.1.1 ゲートウェ DNSサーバ します。 ■ 載張読定 ○ DNSサーバのアドレスを自動で取得 ○ 次のDNSサーバを使用 設定方法 期間指定動作 プライマ ■特殊用途 セカンダリ **粮定 PCWAY**纠结 メインメニューに戻る 🕘 ページが表示されました S 4215791 Web Datalonner 設定 – Microsoft Internet Explorer アドイル(日) 編集(日) 表示(い) お気に入り(い) ツール(日) ヘルブ(4) ③「時計設定」画面が表示されます。 ③ 原5 · ② · 区 図 公 戸株本 会お知に入り 会メディア ④ 公・ 3 三・ 5 38 「ユニット時刻手動設定」の設定エリ 💌 🛃 移動 リン 12.00 a) http://192.168.1.5/setup/netframe_jon.htm アに正しい日時を入力し「今すぐ更 - 基本設定 時計設定 新」ボタンをクリックしてください。 ネットワーク <u>イーサネット</u> ダイヤルアッ ダイヤルアッ 2ニット時刻 現在設定されて 2004年9月14日 14時53分4秒 <u>ダイヤル</u> 豊信指統 モデム 「ユニット時刻」の表示エリアに、設定 現在の時刻を表示 された内容が表示されます。 <u>メール</u> 時計 <u>多種動作</u> SNTPサーバ設定(自動時刻設定) 使用しない 使用する SNTP - # # # # # # サーバアドレス 期間指定動作 GMT+09:00 🖌 414 - 新作田油 設定 今夜、更新 POWAY 315 ユニット時刻手動設定 2004 年 9 月 14 日 14 時 53 分 4 秒 メインメニューに戻る 設定日時 今才全更新 🗿 ページが表示されました S 42157.91

注1)「今すぐ更新」ボタンをクリックすると、DLUはその時点から時計のカウントを始めます。 注2)「ユニット時刻」に表示される内容は、「今すぐ更新」がクリックされたか「現在の時刻を表示」が クリックされたタイミングで更新されます。

■ SNTP設定(自動時刻設定)について

DLUはSNTPサーバを参照し、時刻を自動で補正することができます。 自動時刻更新を使用する場合、以下の設定をおこなってください。

項目	内容
SNTP	「使用する」
	SNTPサーバを指定した自動時刻更新をおこなう場合に選択
	「使用しない」
	時刻自動更新をおこなわない場合に選択
サーバアドレス	SNTPサーバのIPアドレスまたはサーバ名を指定
タイムゾーン	日本国内で使用される場合、変更の必要はありません。
	「初期設定:GMT+09:00」

設定をおこなった後「今すぐ更新」ボタンをクリックすると、DLUは指定されたSNTPサーバに現在の時刻 を問い合わせます。

■診 ご注意:

- ・SNTPサーバのIPアドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。
- ・自動時刻更新を設定すると、2時間おきに実行されます。
- ・DLUに内蔵された時計の精度は±51秒以下/月(+25℃)です。 できるだけ自動時刻更新機能をご使用ください。
- ・ダイヤルアップ接続での自動時刻更新は対応しておりません。
6.2 ユーザ/グループを登録する

6.2.1 ユニットヘアクセスするユーザを登録する

DLUには初期設定が登録されています。(番号:1 ユーザ名「unit」、パスワード「server」) この他に、DLUへアクセスできるユーザを登録してください。 登録されたユーザのみがDLUの各種設定,モニタを実行できます。

【手順】 Web Datalogger 設定メインメニュー ■動作設定 入出力-収集 アクショントリガ ■基本設定 基本語語 ユーザ登録 210-224 ①メインメニュー画面から「ユーザ登録」を ■その絶 クリックしてください。 フーット持ち 設定内容ファイル保存 本体へ記録 本佳情報 ログアウト

②「ユーザー覧表示エリア」の番号「2」をクリックしてください。



③内容に従ってユーザを登録してください。

設定項目	設定内容
ユーザ名	半角16文字以内(全角8文字)
パスワード	半角16文字以内(大文字/小文字を区別します)
パスワード(再入力)	上記と全く同じ文字を入力してください。
アカウント	「システム管理者」:このユーザを設定,モニタとも可能にする場合に選択
	「Web利用者」:このユーザをモニタのみ可能とする場合に選択
メールアドレス	アクショントリガ機能を使用してDLUからメールを送信する場合、ここで登録
	されたアドレスに送信されます。

注1)登録ユーザが0人という設定はできません。

注2)全てのユーザを「Web利用者」に設定することはできません。最低1人の「システム管理者」が必要 です。



照:アクショントリガ機能について<6.7 アクショントリガの設定をおこなう>

④各項目の設定が完了したら、「設定」ボタンをクリックしてください。 設定された内容が一時的に保存されます。

「ユーザー覧表示エリア」に設定されたユーザが追加されます。

続けてユーザ登録をおこなう場合は、②と③の手順を実行してください。

設定が完了したら、DLUへ記録する作業に入ります。

⑤「メインメニューへ戻る」ボタンをクリックします。メインメニュー画面に戻ります。



設定が変更されていると、「設定が変更されています」というメッセージが点滅表示されています。



⑥「本体へ記録」ボタンをクリックすると メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックしてください。 設定された内容がDLUに記録されます。

⑦記録が正常終了すると、以下のメッセージが表示されます。 設定を続けるには、再度ログインしてください。

本体に記録しました ログインしているユーザ情報が変更されました。下記URLから再度ログインしてください。 http://192.168.1.5/setup/

『谷下』 ご注意:

・ユーザは16人まで登録できます。

・登録されたユーザ情報を削除するには、「ユーザー覧表示エリア」から該当のユーザ番号をクリックして、 「削除」ボタンをクリックしてください。

削除された登録ユーザ情報は、⑥⑦の手順を実行するまでDLU本体から削除されません。

・DLUに対してダイヤルアップ接続する場合、ユーザ登録で登録したユーザ名、パスワードを使用します。 DLUに対してFTPでログインする場合、ユーザ登録で登録したユーザ名、パスワードを使用します。 その時のアカウント別ファイル操作権限を以下に示します。

FTPにおけるアカウント別ファイル操作権限

アカウント	FTPでのファイルダウンロード	FTPでのファイルアップロード
システム管理者	CFディレクトリおよびRAMディレクトリ内の ファイルが可能	CFディレクトリおよびRAMディ レクトリ内のファイルが可能
Web利用者	CFディレクトリおよびRAMディレクトリ内の ファイルが可能	不可

6.2.2 登録されたユーザをグループ化する

DLUからメールを送信する場合、送信は「グループ」に対しておこなわれます。 グループは、何人かのユーザをまとめて管理するための単位です。 1つのグループには最低1人~最大16人まで登録することができ、最大16グループまで登録することがで きます。



②「グループー覧表示エリア」の「1」をクリックしてください。 「グループ登録エリア」の番号が「1」に変わり、グループ名の設定欄が空白になります。

【例】 user1~user16のユーザを登録してあります



③グループ名を設定し、そのグループに登録するユーザにチェックを入れてください。 【例】グループ名を「GROUP1」とし、このグループに「user1, user2, user3, user4」を登録する

④各項目の設定が完了したら、「設定」ボタンをクリックしてください。 設定された内容が一時的に保存されます。

⊻user1 ⊒user5	🕑 user2	⊐~∜ ⊠user3	
⊻user1 ⊒user5	🕑 user2	[♥]user3	E
userő		And a second	<u></u> user €
	🛄 userő	🔲 user 7	_use8
user9	user10	Duser11	User12
user13	user14	🔲 user 15	🗌 user 16
	「設定」		
		ユーザ	
er1. user2. user3. u	ser4		
	user13 r1. user2, user3, u	user13 user14 대표 er1. user2. user3. user4	user13 user14 user15 原定 r1. user2. user3, user4

続けてグループ登録をおこなう場合は、グループー覧表示エリアから登録する番号をクリックし、③の 手順を実行してください。 設定が完了したら、DLUへ記録する作業に入ります。

⑤メインメニューへ戻る」ボタンをクリックします。



1 ご注意:

- ・グループは16まで登録できます。
- ・ユーザは複数のグループに登録することもできます。
- ・登録されたグループを削除するには、「グループ一覧表示エリア」から該当のユーザ番号をクリックして、 「削除」ボタンをクリックしてください。

削除されたグループ情報は、⑥⑦の手順を実行するまでDLU本体から削除されません。

6.3 ユニットの構成と蓄積ファイルの設定をおこ なう

IPアドレスや時計の設定,ユーザの登録/グループ化が完了したらDLUのシステム構成を設定します。 DLUの構成とは、増設ユニットの使用/未使用,使用する場合は増設ユニットの種類、 コミュニケーションカセットの使用/未使用,使用する場合はその用途を意味します。

蓄積ファイルの設定では、設定されたファイルが保存するデータの種類やタイミング、 保存するレコード数などを定義します。



なお、設定では本体/増設/外部機器を以下のように区別しています。 内部:本体,増設ユニット1~3 外部:外部機器(COM1, COM2)

6.3.1 ユニットの構成を設定する

【手順】

メイン画面の「設定」ボタンをクリックしてください。メインメニュー画面が表示されます。



②各項目を設定してください。

🖉 http://192.168.1.5/setup/u	nitmainframe_jpn.htm - Microsoft Interne	et Explorer		
ファイル(E) 編集(E) 表示(⊻) お気	に入り(色) ツール(① ヘルプ(世)		A.	
😋 ঢ়ঽ • 🕥 - 💌 🗟 🏠 🔎 檢索 🌟 お知に入り 🥪 🔗 - 🌉 - 🌄 - 🌄 🦓				
アドレス(D) 🕘 http://192.168.1.5/setup	/unitmainframe_jpn.htm	×	🔁 移動 リンク	
■ 構成・ファイル 設定		本体構成設定	^	
<u>本体構成設定</u> フ ァイル作成		設定		
■メモリ設定	本体			
	名称			
<u>本1年</u> 1箇語コーット1	増設ユニット			
<u>増設ユニット2</u>	増設ユニット1	使用しない	=	
<u>増設ユニット3</u>	増設ユニット2	使用しない		
<u>外部割付(接点)</u> 外部割付(データ)	増設ユニット3	使用しない		
	格納ファイル			
	保存先	内部メモリ 🗸		
メインスニュニに言る	外部機器の用途			
MJ/21-10,40	動作選択	集計モード(200点) 🗸		
	外部機器(COM1)			
	動作選択	なし 💌		
	接続方式	1:1 💌		
	局番	00 💌		
	通信速度(bps)	19200 💌		
	データビット	8 💌		
	パリティ	奇数 🗸		
	ストップピット	1		
	通信タイムアウト時間	3秒 💌	~	
⑧ ページが表示されました		۸/L 🚱 ا	ラネット .;	

本体

DLUに名前を付けることができます。

名前は半角16文字(全角8文字)以内で設定してください。

増設ユニット1~3

DLUの右側に装着するユニットの種類をプルダウンメニューから選択してください。

- 注)・増設ユニットを使用する場合、DLUに近い方からユニットを設定していく必要があります。 例えば増設ユニット1を「使用しない」に設定すると、増設ユニット2、3に対して何らかのユニットを 設定することはできません。
 - ・選択ユニットの「その他入出力ユニット(フリー)」を選択すると、入力16点出力16点分の設定が 可能です。この時、例えば実際に装着されるユニットが「入力8点」の場合は、入力8点分の設定 のみ有効となります。
 - ・選択ユニットの「その他アナログユニット(フリー)」を選択すると、入力8CH出力8CHの設定が可能 です。この時、例えば実際に装着されるユニットが「入力4CH」の場合は、入力4CH分の設定のみ 有効となります。

・ここで設定されたユニットと実際に装着されるユニットが異なる場合、DLUはユニットの違いを検出 することができません。

設定内容が優先されますので、設定内容と実際に装着するユニットが異なることのないように ご注意ください。

蓄積ファイル

収集されたデータを保存する場所を選択します。 内部メモリ:DLU内のRAM(2MB)に保存されます。 コンパクトフラッシュ:収集されたデータは、DLUに装着されたCFカードに保存されます。

注)保存先を内部メモリに設定した場合、蓄積されたファイルは電源断で消去されます。



◆
 照:蓄積ファイルに関する詳細について<6.3.2
 蓄積ファイルの設定をおこなう>

外部機器の用途

外部機器の用途を選択します。

 ・集計モード:データ種別でパルス値、瞬時値、統計値が選択できます。 また統計値の場合は平均値、最小値、最大値が記録されます。

接点/データ合計で200点まで登録できます。

・瞬時値モード:データ種別は瞬時値のみですが、接点/データ合計で2500点まで登録できます。 (ただし、1ファイルに登録できるのは、250点までとなります)

外部機器(COM1)

コミュニケーションカセットに接続する機器(用途)を設定します。

設定項目	設定内容
動作選択	「なし」
	コミュニケーションカセット(COM1)を使用しない場合に選択
	「コンピュータリンク」
	表示器等を接続しDLUをモニタするときに選択
	「PLC接続(松下電工MEWNET-FPシリーズ)」
	当社PLCと接続しデータを収集するときに選択
	「PLC接続(三菱電機MELSEC-FXシリーズ)」
	三菱FXシリーズと接続しデータを収集するときに選択
	「PLC接続(三菱電機MELSEC-FX2Nシリーズ)」
	三菱FX2Nシリーズと接続しデータを収集するときに選択
	「PLC接続(三菱電機FXシリーズ計算機リンク)」
	三菱FXシリーズの計算機リンクと接続しデータを収集するときに選択
接続方式	[1:1]
(動作選択で松下電工PLC	DLUのCOM1とPLCを直接接続するときに選択
が選択されたときのみ有効)	1:NJ
	DLUのCOM1にネットワーク接続されたPLCを接続する時に
局番	DLUの局番を設定(00-99)
(動作選択でコンピュータリ	DLUに表示器などを接続してアクセスする場合、ここで設定された局番
ンクが選択されたときのみ有	に対してアクセスします。
刻)	
通信速度(bps)	COM1の通信スピードを設定(4800~115200bps)
データビット	COM1のデータ長を設定(7または8ビット)
パリティ	COM1のパリティを設定(偶数/奇数/なし)
ストップビット	COM1のストップビットを設定(1または2ビット)
通信タイムアウト時間	接続されたPLCのデータを収集する際の待ち時間
(動作選択でPLC接続が選	
択されたときのみ有効)	

外部機器(COM2)

外部機器(COM1)と同じ内容です。

. 2 ご注意:RS485タイプのコミュニケーションカセットを使用して、PLCと1:N接続する場合につい

τ

・PLCがFPΣでRS485タイプのコミュニケーションカセットを使用する場合

ラダープログラムの先頭で以下の命令を実行するかまたはシステムレジスタNo. 34「コンスタントスキャン時間」を設定してください。

RS485がCOM2の場合、Mオペランドは「COM2, WAIT010」としてください。 この命令を実行せずにFPΣをデータ収集しようとすると、DLUに通信エラーが発生します。

・PLCがFPOでC-NETアダプタ等を使用する場合

システムレジスタのNo. 34「コンスタントスキャン時間」を設定してください。 設定する内容はPLCをRUNモードにすることにより、有効となります。

参照:設定する時間について<3.2.1 コミュニケーションカセット通信仕様>

③各項目の設定が完了したら、「設定」ボタンをクリックしてください。設定された内容が一時的に保存されます。
注)設定内容にミスがあった場合は、エラーメッセージが出ますので、入力内容をチェックしてください。

設定が完了したら、DLUへ記録する作業に入ります。

④「メインメニューへ戻る」ボタンをクリックします。メインメニュー画面に戻ります。



設定が変更されていると、「設定が変更されています」というメッセージ が点滅表示されています。

⑤「本体へ記録」ボタンをクリックするとメッセージが表示されますので 「OK」ボタンをクリックしてください。 設定された内容がDLUに記録されます。

⑥記録が正常終了すると、メッセージが表示されます。

6.3.2 蓄積ファイルの設定をおこなう

DLUが収集したデータは「蓄積ファイル」として保存されます。 この機能を使用するためには蓄積ファイルの設定をおこなう必要があります。 なお蓄積ファイルはcsv形式で保存されます。

【手順】

メイン画面の「設定」ボタンをクリックしてください。メインメニュー画面が表示されます。



①「入出力・収集」をクリックしてください。

②左側のメニューから「ファイル作成」をクリックしてください。「ファイル作成」画面が表示されます ので、設定をおこなってください。

ファイル(F) 編集(F) 表示(V) お	Unitmaintrame_pp.ntm - Microsoft 気に入れ(A) ツール(T) ヘルブ(H)	Internet Explorer		×
(3) R5 · (2) · (2) (2)	🟠 🔎 株素 🧙 お気に入り 🚱 (8· 🍃 🖻 · 🗖 🍇		
PFU2(0) a) http://192.168.1.5/sett	up/unitmainframe_ipn.htm		- 🛃 移動 – の	15
■構成・ファイル 設定		ファイル作成		<u> </u>
<u>本住構成設定</u> ファイル作成	香号 ファイル名 : 1 内部	データ種別 蓄積タイプ 蓄積周期 接点(実化) ▼ 一定周期数 ▼ 1秒 ▼ 60	レコード数 世代数 メール逆信	1
■メモリ設定	集計データのヒストリーファイル 生成	タイミング		ファイル 情報
本体	時間データ 1日 💌	日データ 1ヶ月 🗸	月データ 1年 💌	設定エリア
増設ユニット1	■注意:レコード数は60で割り切れる数を7	ん力してください。		
増設ユニット2	(1.1.25)		31050	
外部對付(接点)。	13-5	ax //L	Huters	
外部割付(データ)				
				~
メインメニューに戻る	着号 ファイル名	データ種別 蓄積周期 トリガNo. レ	コード数 世代数 メール送信	
	1			
	3			
	ã.			
	5			
	0			ファイル 情報
	Z			一覧表示エリア
	8			
	2			
	10			
	11			
	12			
	14			
	15			
				M

番号

登録するファイル番号を入力してください。

蓄積ファイルは16ファイルまで登録できます。

注)1つの蓄積ファイルには、最大32点まで登録することができます。

ただし、外部機器に関しては瞬時値モード時に最大250点まで登録することができます。

参 照:<6.4 Ⅰ/Oの詳細設定をおこなう>

ファイル名 CFカード(または内部メモリ)に生成されるファイル名を指定します。 名称は半角英数記号32文字以内で設定してください。

データ種別

ファイルに記録す	るデータ	の種類を設定し	ます
	<i>y , , ,</i>		

ノアイルに記録する	アーダの種類を設定しより。
データ種別	内容
内部接点(変化)	本体I/Oと増設1~3で「接点」として使用する場合、ON/OFFの変化を検知す
[X]	る毎に接点状態/状態変化間隔/累積ON時間/累積開閉回数を記録する
外部接点(変化)	登録された外部割付(接点)のON/OFF変化を検知する毎に接点状態/状態変
[B]	化間隔/累積ON時間/累積開閉回数を記録する
内部接点(周期)	本体I/Oと増設1~3で「接点」として使用する場合、蓄積周期毎に接点状態/累
[X]	積ON時間/累積開閉回数を記録する
外部接点(周期)	登録された外部割付(接点)の接点状態/累積ON時間/累積開閉回数を蓄積
[B]	周期毎に記録する
内部パルス	本体I/Oと増設1~3で「パルス」として使用する場合、蓄積周期毎にパルス値を
[X]	記録する
外部パルス	登録された外部割付(データ)を「パルス」として使用する場合、蓄積周期毎にパル
[EXD]	ス値を記録する
内部アナログ	増設1~3で「アナログ」として使用する場合、蓄積周期毎にアナログ値の平均/最
[AD]	小/最大を記録する
外部統計值	登録された外部割付(データ)を「統計値」として使用する場合、蓄積周期毎に平均
[EXD]	/最小/最大を記録する
外部瞬時値	登録された外部割付(データ)を「瞬時値」として使用する場合、蓄積周期ごとの値
[EXD]	を記録する

注1) 蓄積ファイルの「内部」とは本体または増設1~3を意味します。

「外部」はコミュニケーションカセットに接続されるPLC等を意味します。

注3)各々のデータ種別で記録されるデータの上下限は、次に示すとおりです。

•内部,外部接点(X,B)

データ種別	最小	最大
状態変化間隔(秒)	0	2, 147, 483, 647
累積ON時間(秒)	0	4, 294, 967, 295
累積開閉回数	0	4, 294, 967, 295

・内部パルス(X)

データ種別	最小	最大
パルス値	0	4, 294, 967, 295
パルス値(換算された値)	(**)	
換算パラメータ	0.01	9999.99

・外部パルス(EXD)

データ種別	最小	最大
パルス値(符号無し16ビット整数)	0	65535
パルス値(符号無し32ビット整数)	0	4, 294, 967, 295
パルス値(単精度浮動小数点)	0	9999.99
パルス値(換算された値)	(※)	
換算パラメータ	0.01	9999. 99

·外部瞬時值(EXD)

データ種別	最小	最大
瞬時値(符号付き16ビット整数)	-32768	32767
瞬時値(符号無し16ビット整数)	0	65535
瞬時値(BCD4桁)	0	9999
瞬時値(符号付き32ビット整数)	-2, 147, 483, 648	2, 147, 483, 647
瞬時値(符号無し32ビット整数)	0	4, 294, 967, 295
瞬時値(BCD8桁)	0	99999999
瞬時値(単精度浮動小数点)	(💥)	
瞬時値(換算された値)	(💥)	
瞬時値(ASCII)		
換算パラメータ	-9999.99	9999.99

注2)[]内はDLUのデバイス名です。

・外部統計値(EXD)

データ種別	最小	最大
統計値(符号付き16ビット整数)	-32768	32767
統計値(符号付き32ビット整数)	-2, 147, 483, 648	2, 147, 483, 647
統計値(単精度浮動小数点)	(**)	
統計値(換算された値)	(**)	
換算パラメータ	-9999.99	9999.99

(※)単精度浮動小数点になりますので、扱える範囲は以下の通りです。
 負の範囲:-1.175494×10⁻³⁸ ~ -3.402823×10³⁸
 正の範囲:1.175494×10⁻³⁸ ~ 3.402823×10³⁸

ご注意:

- ・「内部アナログ」に関しては、アナログユニットが測定できる範囲となります。 詳細は、ご使用になるアナログユニットのマニュアルを参照してください。
- ・「パルス」で記録できるのは本体の入力(X0~X3)で最大30Hzです。 増設ユニットの場合は最大1Hzです。
- ・「変化」で記録するには、ON/OFFの間隔が300ms以上必要です。

蓄積タイプ

- データをファイルに記録するタイミングを指定します。
- ・一定周期毎:次の「蓄積周期」で指定された間隔で、データを収集します。
- ・アクショントリガ:次の「トリガ番号」で指定されたアクショントリガが起動したら、データを収集します。

蓄積周期

ファイルに記録する周期を設定します。

- 注1)周期は1秒~30分の間で選択します。
- 注2)データ種別が「内部接点(変化)」または「外部接点(変化)」の場合、蓄積周期を設定することはできません。

トリガNo.

アクショントリガのNo.を指定します。

🎱 参 照:アクショントリガについて<6.7 アクショントリガの設定をおこなう>

レコード数

ここで指定されたレコード数分ファイルに記録したら、以後のデータは自動的に生成された次のファイルへ記録されます。

レコード数分記録されたファイルは、設定されたファイル名に先頭レコードの日付情報が付加されて保存されます。

注)レコード数は48~60000の間で、指定してください。

世代数

蓄積周期とレコード数が設定されたファイルは、ここで指定された数のファイルを生成したら、次は古いファ イルを消去して新しいファイルに記録されます。

注)世代数は1~60の間で選択します。 よって1つの設定で最大60000レコードを60ファイルまで記録することができます。

<u>メール</u>送信

ファイルがレコード数分記録されてヒストリーファイル化された時、そのファイルをメールに添付して送信す ることができます。 「する」の場合はメール送信されます。 「しない」の場合はメール送信されません。

- ・メールのタイトルは、設定されたファイル名に蓄積データの先頭レコードの日付が付加されたものとなりま す。
- ・本文は設定できません。
- ・メールに添付できるファイルサイズは1Mバイトまでとなります。 1Mバイトを超えるファイルは添付できません。(本文のみ送信されます)

集計データのヒストリーファイル生成タイミング

集計データが生成されるタイミングを指定します。 1つのファイルに記録されるレコード数は以下の通りです。

	1時間	1日	1ヶ月 ^{注)}	1年
時間データ	1レコード	24レコード	720/744レコード	8760レコード
日データ	—	1レコード	30/31レコード	365レコード
月データ	_	_	1レコード	12レコード

注)1ヶ月のレコード数は、その月の日数によって変わります。



◆ ● ■:集計ファイルについて<6.3.3 集計ファイルについて>

^{参 照:メールの送信先について<6.3.5 蓄積ファイルの構成について>}

③各項目の設定が完了したら「設定」ボタンをクリックしてください。設定された内容が一時的に保存されます。

設定された内容が「ファイル情報一覧表示エリア」に表示されます。 【例】9つのファイルを設定しています。

	ファイル作成									
	1		- 6500			关本田地	1 I= 3k		Field I at	× /=
番ち		ノア1ル名	テージ種別		社体ダイフ	省值局期	レコード鉄	EIN:	記 メール	芝信
à	FILES		外部瞬時他		周期番 💌	30分 🚩	60	2 💌	U720 N	<u> </u>
集計デ	ータの	ヒストリーファイル	生成タイミング							
時間	データー	1時間 🔽		日データ	1日	¥	月デー:	হ 1	ヶ月 🔽	
■注意:	レコード	数は60で割り切れる	数を入力してください	. ۱۵						
	_								_	_
1%-:	9				設定				肖川院	余
	番号	ファイル名	データ	重別	蓄積周期	トリガNo.	レコード数	世代數	メール送信	
	1	FILE1	内部接点(変	51E)		-	60	2	しない	
	<u> </u>	FILE2	外部接点(変	11E)	1054	-	6U	2	しない	
	<u>1</u>	FILE3	内部接点		10179 00154	-	6U 60	2	しない	
	<u>+</u>	FILE4	外部接点		30179 • //	-	6U 60	2	しない L t al i	
	2	FILED	内部バルス		万 八	-	60 60	2	U/301	
	2		外部ハルス	,	រ)) គុ//	-	00	2	U/301	
	<u>L</u>		内部アナロク		077 1075	-	00	2		
	2	FILES	ツト吉P統計1世		10.77	-	00	2	0/461	

設定が完了したら、DLUへ記録する作業に入ります。

④「メインメニューへ戻る」ボタンをクリックします。メインメニュー画面に戻ります。

We	b Datalogger 設定メインメニュ・
	■ 劫 作設定
	入出力・収集
	アクショントリガ
	■基本設定
	墨本談定
	2-701
	21-721
	■その金
	法二91 BE
	設定が変更されています
	本部へ記録
	本評值報
	05701

設定が変更されていると、「設定が変更されています」というメッセージが点滅表示されています。





⑤「本体へ記録」ボタンをクリックすると メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックしてください。 設定された内容がDLUに記録されます。

⑥記録が正常終了すると、以下のメッセージが表示されます。

6.3.3 集計ファイルについて

DLUは設定された内容に従ってデータを収集し蓄積ファイルを生成しますが、これとは別に「集計ファイル」を自動で生成します。

生成される「集計ファイル」には以下の種類があります。

集計ファイルの種類	内容
時間データ	蓄積した1時間分のデータをもとに、各データを集計しファイルを作成する。
	例:ファイルの種類「内部接点(変化)」の場合:
	1時間毎の累積ON時間/累積開閉回数を記録する。
日データ	時間データが1日分記録されたら、このデータを集計しファイルを作成する。
	例:ファイルの種類「内部接点(変化)」の場合:
	1日毎の累積ON時間/累積開閉回数を記録する。
月データ	日データが1ヶ月分記録されたら、このデータを集計しファイルを作成する。
	例:ファイルの種類「内部接点(変化)」の場合:
	1ヶ月毎の累積ON時間/累積開閉回数を記録する。

『注意:

- ・時間データは、蓄積ファイルの周期に従って集計されるデータ数が変わります。 例えば蓄積周期が1分の場合、時間データは60個のデータを元に集計されます。 蓄積周期が10分の場合、時間データは6個のデータをもとに集計されます。
- ・日データは、時間データ24個分をもとに集計されます。
- ・月データは、その月の日数分の日データをもとに集計されます。
- ・瞬時値モードで外部機器のデータを収集する場合、集計ファイルは生成されません。

6.3.4 蓄積ファイルのフォーマット

設定された蓄積ファイルには、以下のようにデータが記録されます。

【例】

•内部/外部接点(変化,周期)

Date(1) Time(2) X0(3) 本体0(4) -
本体 $0(4)$ — US32(5) US32 US32
- US32(5) US32 US32
0.002 0.002 0.002
– Sec. (6) Sec. Times
Status(7) Interval Total ON Total SW
time(7) time(7) time(7)
2004. 7. 1 13:15:30 ON 250 1200 16

1データ分

・内部/外部パルス、外部瞬時値

Date(1)	Time(2)	XO(3)	
		本体X0(4)	
		US32(5)	
		ml/s(6)	
2004. 7. 1	13:15:30	250	←1レコード分
		•	,

・内部アナログ,外部統計値

Date(1)	Time(2)	AD10(3)			
		室内温度(4)			
		FLT(5)			
		°C (6)			
		Ave. (7)	Min. (7)	Max. (7)	
2004. 7. 1	13:15:30	25	24	28	←1レコード分

各項目の内容

番号	内容
(1)	日付
(2)	時刻
(3)	デバイス名
(4)	データ名(ユーザが設定した名称)
(5)	データ型
	・S16:符号付き16ビット整数
	・US16:符号無し16ビット整数
	・BCD4:BCD4桁
	・S32:符号付き32ビット整数
	・US32:符号無し32ビット整数
	・BCD8:BCD8桁
	・FLT:単精度浮動小数点
(6)	単位
(7)	種別(接点)
	・Interval Time:状態変化間隔
	・Total ON time:累積ON時間
	・Total SW times:累積開閉回数
	種別(アナログ,統計値)
	・Ave. :平均値
	・Min. :最小値
	・Max. :最大値

■診 ご注意:

- ・集計モード時、1つのファイルには32データまで登録(書き込み)可能です。
- ・瞬時値モード時、1つのファイルには最大250データまで登録可能です。
- ・1つのファイルには最大60000レコードまで記録できます。
- ・Interval timeは、接点の「変化」時のみ記録されます。(「周期」では記録されません)
- ・Interval timeは1秒以上検出された場合のみ記録されます。
- ・ON/OFFの変化が300ms以上あれば蓄積されて(内部のみ)、累積ON時間と累積開閉回数は正しく 記録されますが、変化が1秒に満たない場合の状態変化間隔は「0」がセットされます
- ・外部機器の接点(B)に関しては、ON/OFFの変化を検出できる最低時間は保証されません
- ・内部/外部接点(変化,周期)の蓄積ファイルに関しては、Total ON timeとTotal SW timesのみ 記録されます。

6.3.5 蓄積ファイルの構成について

設定された蓄積ファイルには、ファイルに登録された各デバイスのデータが保存されます。 データは内部メモリまたはCFカードに以下の構成で保存されます。



● File1:設定された名前のフォルダでCFまたは内部メモリの直下に生成される DLU本体に付ける名前(6.3.1 ユニットの構成を設定する)とは異なります。

参 照: < 6.4 Ⅰ/Oの詳細設定をおこなう>

● Log: 蓄積されたデータが保存されるフォルダ

File1[CURRENT]. csv:	蓄積中のファイル	
File1[xxxxxx_xxxxx_SET]. csv:	レコード数分蓄積されたヒストリーファイル。	
	xxxxxx_xxxxxには、先頭レコードの年月日時分秒が記録される。	

例)2004年7月20日10時8分30秒にファイルが生成された場合、ファイル名は "File1[040720_100830_SET].csv"となる。このファイルは設定された「世代数」の数だけ生成される。

● Total-Hour: 蓄積周期毎に記録されたデータを元に1時間分のデータを集計した 「時間データ」が格納されるフォルダ

File1_Hour[CURRENT]. csv:	1時間分の蓄積データを集計して生成される
File1_Hour[xxxxxx_xxxxx_SET]. csv:	上記ファイルのヒストリーファイル。
	xxxxxxxxxxxxには、先頭レコードの年月日時分秒が記録される。

● Total – Day:時間データを元に1日分のデータを集計した「日データ」が格納されるフォルダ

File1_Day[CURRENT]. csv:	時間データの1日分のデータを集計して生成される
File1_Day[xxxxxx_xxxxx_SET]. csv:	上記ファイルのヒストリーファイル。
	xxxxxxxxxxxには、先頭レコードの年月日時分秒が記録される。

● Total – Month: 日データを元に1ヶ月分のデータを集計した「月データ」が格納されるフォルダ

File1_Month[CURRENT]. csv:	日データの1日分のデータを集計して生成される
File1_Month[xxxxxx_xxxxx_SET]. csv:	上記ファイルのヒストリーファイル。
	xxxxxxxxxxxには、先頭レコードの年月日時分秒が記録される。

注)各ファイルに記録される形式や集計される内容は、蓄積されるデータの種類によって異なります。 ヒストリーファイルが生成されるときの条件によって、ファイル名の生成された年月日時分秒のあとに以下の文字 が付加されます。

「 SET」運転中に生成された

「 POW」 電源ON時に生成された

「__MOD」動作モード切り替え時に生成された

「__ACT」 アクショントリガにより生成された

「___RR」書き込みエラー発生時に生成された

瞬時値モード時「Total」フォルダは生成されません



参 照:<6.4.1 本体の設定をおこなう><6.4.2 増設ユニットの設定をおこなう> 集計データに関する詳細について<6.3.3 集計ファイルについて>

■ メールの送信先を設定する

ファイルがレコード数分記録された時、そのファイルをメールに添付して送信することができます。 メールの送信先は、以下の手順で設定できます。

メイン画面の「設定」ボタンをクリックしてください。メインメニュー画面が表示されます。 【手順】



①「基本設定」をクリックしてくだ さい。

🗿 Web Datalonger 武元 - Micro	soft Internet Explorer		
7ァイル(E) 編集(E) 表示(g) お気	ርኢりሬን ツールው ヘルプሬያ		1
🔇 FB • 🕤 · 🛃 🗟 🎸	👌 🔎 機能 👷 数%2入0 🔮	15 A 🚱 🎯 🍓 📼 · 🗗 🍇	
7FVA@ () Http://1921681.5/setup	/hetframe_jon.htm	×	🛃 移動 リンク
■基本設定	空言容量不足時動作	 ○新規ファイルを作成しない ○新規ファイルを作成しない ○新規ファイルを作成する(最も古いファイルを解除) 	~
ネットワーク	集計ファイル 動作設定		
<u>4=0.8.9E</u>	月編め日	月末 三日	
<u>ダイヤルアップ1</u> ダイヤルアップ2			
HILLIRIE.	ユニットエラー設定		
王元人	エラー時動作設定		
2-1k	x-n	 送信しない 	
C IN HAR	エラーチェック項目設定	0.00183-5	
	電池電圧の低下	⊙ #±ックはない ○ #±ックする	
期間指定動作	メール送信告請定		
■特殊用途 🧳	エラー時動作・蓄積ファイル	添付メール送信先設定	
PCWAYSI	送信先グループ	グループ1 (未登録) 💌	
	MENTOCOL		_
メインメニューに戻る	サポートコマンド設定		
	書き込みコマンド	 ○許可する ○#止する 	
		18 7	
		Lanxe	*
※ ページが表示されました		🕲 インタ	-291

②左側のメニューから「各種動 作」をクリックしてください。

「各種動作設定」画面が 表示されますので、 「メール送信先設定」からメール 送信先を指定して「設定」ボタン をクリックしてください。

設定された内容が一時的に保 存されます。

設定が完了したら、DLUへ記録 する作業に入ります。



◆ ● ■:メール送信に関する詳細について<6.6メール送信の設定をおこなう>

③「メインメニューへ戻る」ボタンをクリックします。メインメニュー画面に戻ります。 -0.00 /

Web Datalogger at EX42X-1
■動作設定
入出力-収集
709504011
■基本設定
基本設定
2-101
グループ登録
■その他
<u>2二9卜律作</u>
法定内容22-12-保存
はながま更されています 本作へ記事 本作へ記事 て作価値 のグアクト
Microsoft Internet Explorer 🔯
2 設定を本体に記録します。 よろしいですか?
OK キャンセル
本体に記録しました
OK
<u>~ ~ ~</u>

設定が変更されていると、「設定が変更されています」というメッセージ が点滅表示されています。

④「本体へ記録」ボタンをクリックすると メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックしてください。 設定された内容がDLUに記録されます。

⑤記録が正常終了すると、以下のメッセージが表示されます。

6.3.6 蓄積ファイルの動作設定について

DLUに装着されたメモリ(CFまたは内部メモリ)が一杯になり、新たな蓄積ファイルが生成できない場合の動作を設定できます。

また月データが作成されるタイミングを設定できます。

メイン画面の「設定」ボタンをクリックしてください。メインメニュー画面が表示されます。 【手順】

Web Datalogen				
tten varaiogger	設定メインメニュ			
10000000000				
■動作設定				
人出力・取業				
722321971				
■基本協定				
(基本統定)				
1-126			③「甘ナ乳ウ」ナタリッタレマク	44
グループ登録			() 基本設定」をクリックしてく	JC.
■その絶			さい。	
ユニット操作				
設定内容ファイル	(保存			
本位	5A 12 85			
	9L/20			
本:	(事情#8			
1000	tmos. 1			
	1 MOL			
🗿 Web Datalogger 読证 - Micros	oft Internet Explorer			
ファイル(日) 編集(日) 表示(1) お気に	አባው ツールው ヘルプፁ)			
🌀 🕫 • 🕤 · 💌 🗟 🚮	🔎 検索 👷 おきがに入り 😪	180 1 Se 🍃 🚍 · 🗗 🌋		
7FU3@ http://1921681.5/setup/n	etfrane_pnhtm	V 🗗 84	Fab リンク	
		A THE R.L PARTY	~	
■基本設定		各種動作設定		
ネットワーク	ファイル設定			
<u>4=\$\$20</u>				
	蕃抜ファイル 動作設定			
515W7972	審査ファイル 動作設定 空き空星不足時動作	○新版ファイル考許認知い		
<u>ジイマルアップ2</u> 差値接続	着数ファイル動作設定 空き容量不足時動作	 ●新規ファイルを作成しない ●新規ファイルを作成して、 ●新規ファイルを作成する(最も古いファイルを振動) 		
<u>ジイヤルアシゴ2</u> <u>ダイヤルアシゴ2</u> 著信銀紙 王子ム	蓄積ファイル動作設定 空き容量不足時動作 集計ファイル動作設定	○新規ファイルを行成しない ○新規ファイルを行成する(最も古いファイルを削除)		
<u>またいたフロント</u> <u>またいたフロンプ</u> 著信接続 王王ム <u>メール</u>	 ・ ・ ・	 ○新規プァイル省作成しない ○新規プァイル省作成する(最も高いワァイル省解除) 月末 ※日 		
<u>シインロアック</u> タイフルアック 著信接続 王子ム シール さいのであった	第数ファイル動作設定 型さ容量不足時動作 無計ファイル動作設定 月端均日	 ○新規ファイルを行成しない ○新規ファイルを行成する(最も古いファイルを発発) 月末 ※日 	②左側のメニューから「各種	動
210月279月 210月279月 第11日日 王子ム 三十 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	 第位ファイル 動作設定 空さ 容量不足時動作 生計ファイル 動作設定 月編的日 ユニットエラー 数定 	 ○新規ファイルを作成しない ○新規ファイルを作成する(最も古いファイルを解除) 月末 ▼日 	②左側のメニューから「各種 作」をクリックレアイださい	〕 動
	 ・審査ファイル動作設定 ・ままで見ら動作 ・またファイル動作設定 ・見書の日 ・コークトエラー・設定 エラー・時間で エラー・時間で ・コークトエラー・ ・また ・コークトエラー ・また ・また ・コークトエラー ・また ・コークトエラー ・また ・また ・コークトエラー ・また ・コークトエラー ・また ・コークトエラー ・また ・コークト ・コークト ・コークト ・コークト ・コークト ・コークト ・ ・ ・	 ○新規ファイルを行成しない ○新規ファイルを行成する(最も古いファイルを頻識) 月末 ※日 	②左側のメニューから「各種 作」をクリックしてください。	動
1100/231 メイズル/232 第132 第 5 第 5 第 5 5 第 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	 atk ファイル 動作設定 zz 容量不足時動作 subファイル 動作設定 j編9日 zz-yトエラー動業 zz-時勤作設定 xd-ル 	 ○新規ファイル名作成しない ○新規ファイル名作成する(最も古いファイル名解除) 月末 ※日 ○送信にない ○送信にない ○送信まる 	②左側のメニューから「各種 作」をクリックしてください。	動
2100/2232 第1100/232 第1110 王王 王王 王王 王王 王王 王王 王王 王王 王王 王王 王王 王王 王王	当該ファイル動作設定 空さ音量不足時動作 条計ファイル動作設定 月帰の日 ユニットエラー数定 エラー時動作設定 メール エラーギックク源目録定 シールの算法	 ○新規ファイルを作成しない ○新規ファイルを作成する(最も古いファイルを発酵) 用末 ※自 ○活信しない ○活信しない 	②左側のメニューから「各種 作」をクリックしてください。	Ì動
	 第数ファイル 納作設定 空さる呈不足特か作 気計ファイル 納作設定 月端均日 エニットエラー 読定 エラー時動作設定 メール エラーフット 可う使用装定 	 ○新規プライルを作成しない ○新規プライルを作成する(最も古いフライルを発酵) 月末 ※日 ○送信しない ○送信しない ○送信する ○チェックしない 	②左側のメニューから「各種 作」をクリックしてください。	動
213007231 2130072312 著注設成 王子上 登録動作 単編集変動作 単編集変動作 単数用論 SCHWAITE	 第数ファイル動作設定 型字 容量不足時動作 果計ファイル動作設定 月端均日 ユニットエラー請定 エラー時動作設定 メール エラーチェック項目設定 そ述電圧の低下 	 ○新規ファイルを作成しない ○新規ファイルを作成する(最も古いファイルを解除) 月末 ▼日 ○法言しない ○送言しない ○ぎょうひしない ○チェックせる 	②左側のメニューから「各種 作」をクリックしてください。	動
1100/20232 第1302/20232 第1302 王子山 王山 王山 王山 王山 王山 王山 王山 王山 王山 王山 王山 王山 王山	 atk ファイル 動作設定 zz 言量不足時動作 sut ファイル 動作設定 月帰う日 zz テトエラー・数定 zファトエラー・数定 zファー時動作設定 x/ル z テージョウラ楽目読定	 ○新規ファイル名作成しない ○新規ファイル名作成する(最も古いファイル名類類) 月末 ※日 ○透信しない ○送信する ○チュックしない ○チュックする 	②左側のメニューから「各種 作」をクリックしてください。	i 動
1007232 107232 107232 107232 107232 107232 107	 	 ○新規ファイルを作成しない ○新規ファイルを作成する(最も古いファイルも発酵) 月末 ▽日 ○透信しない ○浸信する ○チェックひない ○チェックひする 	②左側のメニューから「各種 作」をクリックしてください。	i 動
	書店ファイル動作設定 型を含量不足特動作 気計ファイル動作設定 月端均日 ユニットエラー設定 エラー時動作設定 メール エラーチェック項目設定 光電気の低下 メール送信先設定 エラー時面作・実装のアイリ	 ○新規プァイルを行動しない ○新規プァイルを行動して、 ○活動したい ○活動したい ○活動したい ○活動したい ○子ュックしたい ○チュックしたい ○チュックする 	②左側のメニューから「各種 作」をクリックしてください。	i 動
2110/07/23/2 発行状況アンゴン 発行状況 上二 当前 登鐘動注 ● 疑視論室 影響激変助作 ● 特殊用途 *20×40/15広	第数ファイル動作設定 型を含ま不足特動作 気計ファイル動作設定 月端の日 ユニットエラー設定 エラー時動作設定 メール エラーチェック項目設定 それを定の低下 メールと信先設定 エラー時動作:事務カァイ 道信先ガルーゴ	 ○新規ファイルを行動しない ○新規ファイルを行動して、 ○活動して、 ○活動して、 ○活動して、 ○活動して、 ○活動して、 ○デュックスない ○デュックスない	②左側のメニューから「各種 作」をクリックしてください。	動
1100/232 第1302/232 第1302 第1 第1 第1 第1 第1 第1 第1 第1 第1 第1	当該ファイル動作設定 型字言量不足特動作 基計ファイル動作設定 月間の日 ユニットエラー請定 エラー時動作設定 メール エラーチュック項目設定 メール エラー時動作を設定 エラー時動作を追称 アール 連定を定め低下 メール 送信先設定 エラー時動作を追称 フィリー	 ○新規ファイルを作成しない ○新規ファイルを作成する(最も高いファイルも頻時) 月末 ※日 ○活信にない ○活信にない ○活信まる ○チェックしない ○チェックする レ塩付メール送付先防症 フルーフに体産枠) ※ 	②左側のメニューから「各種 作」をクリックしてください。	ⁱ 動
1100/232 第1302/232 第1302 第1 第1 第1 第1 第1 第1 第1 第1 第1 第1	a 核ファイル 動作設定 型字 容量不足時動作 基計ファイル動作設定 月間5日 ユニットエラー動発 エラー助動作設定 メール エラーチュック項目設定 メール エラー時動作設定 メール ビラーチュック項目設定 メール ビラード通信を設定 エラー時動作。当数ファイノ 逆信先グルーブ MEWTOCOL設定	 ○新規ファイル名行成しない ○新規ファイル名行成する(最も古いファイル名類称) 月末 ※日 ○活意しない ○活意しない ○活意しない ○活意しない ○デュックしない ○デュックしない ○デュックする レ盗付メール支付先が加ま フルーフ1(朱皇禄) ※ 	②左側のメニューから「各種 作」をクリックしてください。	重動
11007232 第13007232 第1305 第二人	当該ファイル動作設定 空さ言量不足時動作 生だうようい動作設定 月端の日 ユニットエラー動変 エラー時動作設定 メール エラー手動作設定 メール エラー手動作設定 メール エラー手動作設定 メール エラー手動作設定 メール エラー手動作設定 メール エラー手動作法定 エラー時動作設定 メール エラー手動作法定 エラー時動作設定 メール エラー手動作法定 エラー時動作設定 メール エラー手動作法定 エラー時動作法定 メール エラー手動作法定 エラー時動作法定 メール エラー手動作法定 エラー時動作法定 メール モラーチョンク項目続定 エラー手動作法では、 エラートの声音では、 エラートの声音では、 エラートの声音では、 エラートのが、 エラートの声音では、 エラートの声音では、 エラートの声音では、 エラートの声音では、 エラートの声音では、 エラーアートの声音では、 エラートの声音では、 エラートの動作法では、 エラートの声音では、 エラートの声音では、 エラートの声音では、 エラーアートの動作法では、 エラートの声音では、 エラーアートの動作法では、 エラートの面子の一人の一人の エラークートの面子のでは、 エラークートの面子のでは、 エラークートの声音では、 エラークーーの エラークーーの エラークーーの エラークーーの エラークーーの エラークーの エーコーク アークーの エーコークーの エーコークーの 正の エーコークーの 正の エーコークーの 正の エーコーク エーコークーの エーコークーア 正の エーコークーア 正の エーコークーア エーコーク エーコークーア エーコークーア エーコーク エーコークーア エーコークーア エーコーク エーコークーア エーコークーア エーコーク エーコークーア エーコークーア エーコーク エーコークーア エークークーア エークー エークーの	 ○新規ファイル名作成しない ○新規ファイル名作成うな(最も古いファイル名解除) 月末 ※日 ○活意しない ○活まる ○チェックしない ○チェックしずる レ签付シール・並首先設定 クルーフ1(朱金禄) ※ 	②左側のメニューから「各種 作」をクリックしてください。	動
11007232 第13007232 第1380 第二日 第二日 1101	■協ファイル動作設定 型を含量不足特動作 気計ファイル動作設定 月陽均日 ユニットエラー設定 エラー時動作設定 メール エラーチェック項目設定 メール エラーチェック項目設定 メール エラー 時動作設定 メール エラー 時動作設定 メール エラー 時動作設定 メール エラー 時動作設定 メール エラー 時勤作設定 メール エラー 時勤作設定 メール エラー 時勤作設定 メール エラー 時勤作設定 メール エラー 手ょっク項目設定 モデー を出意した。 第一日 第一日 マール エラー 手ょっク項目 設定 モデー を出意した。 日 日 日 マール エラー 手ょっク 第一日 マール の 日 マール の 日 マール の 日 マール の 日 マール の 日 マール の の 日 マール の の 日 マール の の 日 マール の の 日 の の の の 日 マール の の 国 の 日 マール の の 日 マール の の 日 マール の の 日 の 三 マール の の 日 の マール の の 日 の コーマ 、 の フーア の の 日 の の 二 の 、 コーマ ス の の 日 の の 、 の の コーク の の の の 日 の の の の の の の の の の の の の の	 ○新規ファイルを行成しない ○新規ファイルを行成しない ○新規ファイルを行成したいファイルを発展) □月末 ※日 ○浸信しない ○浸信したない ○浸信しない ○	②左側のメニューから「各種 作」をクリックしてください。	i i j j j

③「各種動作設定」画面が表示されますので、「空き容量不足時の動作」を設定してください。

「新規ファイルを作成しない」:空き容量が不足した時点で蓄積ファイルは生成されなくなります。
 「新規ファイルを作成する」:空き容量が不足した場合、日付の一番古いファイルを削除して新しいファイルを作成します。

④月締め日(集計ファイルの月データを生成するタイミング)を設定してください。
 ・「月末」:毎月月末にデータを集計し、翌月の1日午前0時0分にファイルを生成します。
 ・「1~27」:設定された日の翌日の午前0時0分にファイルを生成します。

⑤「設定」ボタンをクリックしてください。設定された内容が一時的に保存されます。

設定が完了したら、DLUへ記録する作業に入ります。

⑥「メインメニューへ戻る」ボタンをクリックします。メインメニュー画面に戻ります。

Web Datalogger 設定メインメニュー ■動作設定 入出力:収集 7クショントリガ ■基本設定 基本設定 ユーザ 夏日 グループ 夏日 ■その差 ユニット操作 設定内容ファイル保存 設定が変更されています 本体へ記録 本傳情報 00701 Microsoft Internet Explorer 🔯 ②
該定を本体に記録します。
よろしいですか? OK キャンセル C 本体に記録しました OK

設定が変更されていると、「設定が変更されています」という メッセージが点滅表示されています。

⑦「本体へ記録」ボタンをクリックすると メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックしてください。 設定された内容がDLUに記録されます。

⑧記録が正常終了すると、以下のメッセージが表示されます。

6.4 I/Oの詳細設定をおこなう

DLU本体には、入力4点,出力1点のI/Oが標準で実装されています。

入力の4点はデータ蓄積に、出力の1点はアクショントリガ機能で使用できます。

入力の4点は、ON/OFFの監視をおこなう「接点」またはパルス値のカウントをおこなう「パルス」として 使用できます。

用途	蓄積される内容	補足
接点	 •ON/OFF状態 •状態変化間隔(注) •累積ON時間 •累積開閉回数 	ー定周期毎にON/OFF状態をチェックし 蓄積する方法と、ON/OFFの変化を検知し たタイミングで蓄積する方法がある
パルス	・単位時間あたりのパルス数	換算パラメータを指定することも可能

DLUはFP0の増設ユニットを3台まで実装することができます。 増設ユニットは以下の中から選択されます。

種類	詳細
デジタル系	8点入力(8X)
	16点入力(16X)
	8点出力(8Y)
	16点出力(16Y)
	4点入力(4X)/4点出力(4Y)
	8点入力(4X)/8点出力(4Y)
	16点入力(16X)/16点出力(16Y)
	その他入出力ユニット(フリー)
アナログ系	4CH入力(FP0 A/D変換ユニット,熱電対ユニット)
	8CH入力(FPO A/D変換ユニット,熱電対ユニット)
	4CH出力(FP0 D/A変換ユニット)
	2CH入力/1CH出力(FP0 アナログI/Oユニット)
	その他アナログユニット(フリー)

増設ユニットが「デジタル系」の場合、用途と蓄積される内容は本体と同じく「接点」もしくは「パルス」になります。(フリー)を選択すると入出力の最大点数が設定できます。

増設ユニットが「アナログ系」入力の場合、蓄積される内容は以下のようになります。

用途	蓄積される内容	補足
アナログ	・平均値	一定周期毎にアナログ値をチェックし、平均値, 最小
	・最小値	値,最大値を計算する。
	・最大値	換算パラメータを指定することも可能

■ [補足]データ蓄積についての詳細図 (1)接点



(2)パルス



(3)アナログ



(※) ご注意:

- ・接点の変化を検知して蓄積する場合、状態変化間隔は記録されません。
- ・累積開閉回数は、"立ち上がりで1回", "立ち下がりで1回", "立ち上がりと立ち下がりいずれも1回" の中から選択できます。
- ・パルスで計測できるのは、本体で最大30Hz, 増設ユニットで最大1Hzまでとなります。
- ・アナログの平均/最小/最大値は、それぞれ蓄積周期内での結果になります。 ・デジタル系,アナログ系ともに出力データに関しては蓄積対象となりません。
 - アクショントリガ機能で使用できます。

参照:アクショントリガ機能について<6.7 アクショントリガの設定をおこなう>

参照:本体の詳細設定について<6.4.1 本体の設定をおこなう>

参照:増設ユニットの詳細設定について<6.4.2 増設ユニットの設定をおこなう>

6.4.1 本体の設定をおこなう

本体の設定は以下の手順でおこないます。

メイン画面の「設定」ボタンをクリックしてください。メインメニュー画面が表示されます。

【手順】



①「入出力・収集」をクリックしてください。

②左側のメニューから「本体」をクリックしてください。 「本体」画面が表示されますので、メモリ(接点番号),名称,用途を設定します。 その他の設定内容は用途によって変化します。



用途が「接点」の場合、以降は「接点として使用する場合」へ。 用途が「パルス」の場合、以降は「パルスとして使用する場合」へ。

ご注意:

・用途が「使用しない」のままでも名前を付けることはできますが、データの蓄積はされません。

■ 接点として使用する場合

用途を「接点」に指定した場合、蓄積条件設定エリアは以下のようになります。 各項目を設定してください。



名称

名称は半角16文字以内で設定してください。(全角の場合は8文字以内) 半角カナは使用できません。

累積開閉回数

OFF->ON:接点情報がOFFからONに変化した時にのみ開閉回数が1カウントされます。 ON->OFF:接点情報がONからOFFに変化した時にのみ開閉回数が1カウントされます。 ON<->OFF:接点状態がOFFからONまたはONからOFFに変化した時に開閉回数が1カウントされます。

格納ファイル

この接点情報を、どのファイルに格納するかを設定します。 例)蓄積ファイルが以下のように設定されている場合

番号	ファイル名	データ種別	蓄積周期	レコード数	世代数	メール送信
1	FILE1	内部接点(変化)		60	1	する
2	FILE2	外部接点(変化)		60	1	する
<u>3</u>	FILE3	内部接点(周期)	10秒	60	1	する
<u>4</u>	FILE4	外部接点(周期)	30秒	60	1	する
<u>5</u>	FILE5	内部パルス	1分	60	1	する
<u>6</u>	FILE6	外部バルス	3分	60	1	する
2	FILE7	内部アナログ	5分	60	1	する
<u>8</u>	FILE8	外部統計値	10分	60	1	する
9	FILE9	外部瞬時値	30分	60	1	する

この場合、本体I/Oの用途が「接点」の蓄積に使用できるファイルは「1」と「3」になります。 よって格納ファイル選択エリアには「FILE1」と「FILE3」のみ表示されます。



注1) 蓄積ファイルの「内部」とは本体または増設1~3を意味します。

「外部」はコミュニケーションカセットに接続されるPLC等を意味します。

注2)格納ファイルに「格納しない」しか表示されない場合は、本体I/Oの接点を蓄積できるファイルが 定義されているかを確認してください。

● ■ ■:<6.3.2 蓄積ファイルの設定をおこなう>

注3)1つの格納ファイルに登録できるのは最大32点までです。

■ パルスとして使用する場合

用途を「パルス」に指定した場合、蓄積条件設定エリアは以下のようになります。 各項目を設定してください。

XEU	名称	用途	換算	換算 パラメータ	単位	カウント条件	格約ファイル
X 0		1842 -	しない 🐱			OFF->ON 👻	格納しない
XO		1997	1.40			OFF->ON	格納しない

名称

名称は半角16文字以内で設定してください。(全角の場合は8文字以内) 半角カナは使用できません。

換算

・「しない」の場合:パルス値をそのまま記録します。 ・「する」の場合:パルス値に、次の「換算パラメータ」をかけて記録します。 例)パルス数が「100」で換算パラメータが「0.1」の場合、蓄積されるデータは「10」になります。

換算パラメータ

「0.01~9999.99」の範囲で設定できます。 換算が「しない」に設定されている場合、本設定は無効となります。

単位

パルス値を記録するとき、値に文字を付加することができます。 例)「kwh」と設定すると、ファイルに記録されるときパルス値+単位で 「100kwh」と記録される。単位は半角英数字4文字以内で設定してください。

カウント条件

OFF->ON:接点情報がOFFからONに変化した時にのみパルス数が1カウントされます。 ON->OFF:接点情報がONからOFFに変化した時にのみパルス数が1カウントされます。 ON<->OFF:接点状態がOFFからONまたはONからOFFに変化した時にパルス数が1カウントされ ます。

格納ファイル

この接点情報を、どのファイルに格納するかを設定します。 例) 蓄積ファイルが以下のように設定されている場合

番号	ファイル名	データ種別	蓄積周期	レコード数	世代数	メール送信
1	FILE1	内部接点(変化)		60	1	する
2	FILE2	外部接点(変化)		60	1	する
3	FILE3	内部接点(周期)	10秒	60	1	する
<u>4</u>	FILE4	外部接点(周期)	30秒	60	1	する
<u>5</u>	FILE5	内部バルス	1分	60	1	する
<u>6</u>	FILE6	外部バルス	3分	60	1	する
2	FILE7	内部アナログ	5分	60	1	する
<u>8</u>	FILE8	外部統計値	10分	60	1	する
<u>9</u>	FILE9	外部瞬時値	30分	60	1	する

この場合、本体I/Oの用途が「パルス」の蓄積に使用できるファイルは「5」になります。 よって格納ファイル選択エリアには「FILE5」のみ表示されます。



注1) 蓄積ファイルの「内部」とは本体または増設1~3を意味します。 「外部」はコミュニケーションカセットに接続されるPLC等を意味します。

注2)格納ファイルに「格納しない」しか表示されない場合は本体I/Oのパルスを蓄積できるファイルが 定義されているかを確認してください。



参 照: < 6. 3. 2 蓄積ファイルの設定をおこなう>

注3)パルスの場合は必ず格納ファイルを指定してください。

- 格納ファイルが未指定の場合は蓄積周期が未指定になりますので、パルスはカウントされません。
- 注4)1つの格納ファイルに登録できるのは最大32点までです。

③各項目の設定が完了したら「設定」ボタンをクリックしてください。設定された内容が一時的に保存され ます。

蓄積条件一覧エリアに設定内容が表示されます。

XE	ノ名称	用途		換留	E パラメータ	単位	カウント条件	着約ファイル
0	電力量	パルス	*	する	♥ 0.1	kah	OFF->ON 👻	FILE5(圆脚1分) 🖌
					Committee of the second			
EIJ	名称	用途			山内容			格納ファイル

設定が完了したら、DLUへ記録する作業に入ります。

Web Datalogger 設定メインメニュ 単約122 本語が設定 入語が支援 ス語が支援	
■その後 ユニット陸作 読派内容27-1ん保住 設定がま更されています 本位へ記録 下行後朝	設定が変更されていると、「設定が変更されています」というメッセージが点滅表示されています。
ロダアウト Microsoft Internet Explorer X 設定を本信に記録します。 おんしたすか。	「「本体へ記録」ボタンをクリックすると

④「メインメニューへ戻る」ボタンをクリックします。メインメニュー画面に戻ります。



本体に記録しました OK ⑤「本体へ記録」ボタンをクリックすると メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックしてください。 設定された内容がDLUに記録されます。

⑥記録が正常終了すると、以下のメッセージが表示されます。

増設ユニットの設定は以下の手順でおこないます。

メイン画面の「設定」ボタンをクリックしてください。メインメニュー画面が表示されます。

【手順】

①「入出力・収集」をクリックし、左側のメニューから「増設ユニット(1~3のいずれか)」をクリックしてください。



②増設ユニットには「6.3.1 ユニットの構成を設定する」で設定されたユニットの詳細設定画面が表示 されます。

増設ユニットは以下の中から選択されますが、デジタル系のユニットに関する設定は本体と同じ手順になります。

参 照:<6.4.1 本体の設定をおこなう>

本章ではアナログ系ユニットに関する説明のみ記述します。

種類	詳細
デジタル系	8点入力(8X)
	16点入力(16X)
	8点出力(8Y)
	16点出力(16Y)
	4点入力(4X)/4点出力(4Y)
	8点入力(4X)/8点出力(4Y)
	16点入力(16X)/16点出力(16Y)
	その他入出力ユニット(フリー)
アナログ系	4CH入力(FP0 A/D変換ユニット,熱電対ユニット)
	8CH入力(FP0 A/D変換ユニット)
	4CH出力(FP0 D/A変換ユニット)
	2CH入力/1CH出力(FP0 アナログI/Oユニット)
	その他アナログユニット(フリー)

③例として増設ユニット1に「4CH入力」が設定されている場合の設定画面です。 各項目を設定してください。

メモリ AD 10	名称	用途 使用しない 🛩	換算しなの、火	A/D変換値 ~	換算値	単位	格約ファイ。 19月しない	蕃積条件
				「設定」			-	BARLEY /
<			1				>	1
	XEU	名称		内容	格納ファイル			蕃精条件一臂
	AD11							表示エリア
	AD12							
	AD13							

名称

名称は半角16文字以内で設定してください。(全角の場合は8文字以内) 半角カナは使用できません。

換算

・「しない」の場合:デジタル値に「単位」で設定された文字を付加してそのまま記録します。 ・「する」の場合:次の「A/D変換値」と「換算値」で設定された内容に従って換算をおこない、「単位」で設 定された文字を付加して値を記録します。

【例】A/D変換値と換算値,単位を以下のように設定する。 A/D変換値:-2000~2000 換算値:-10~10 単位:「V」

この場合、DLUがアナログ値として記録したデータが2000なら「10V」と記録されます。 0なら「0V」です。

注1) A/D変換値と換算値に関しては、ご使用になるA/D変換ユニットのマニュアルを参照し正しい 値を設定してください。

注2)「K, J, R, T」の場合:デジタル値に「単位」で設定された文字を付加してそのまま記録します。

格納ファイル

この接点情報を、どのファイルに格納するかを設定します。 【例】 蓄積ファイルが以下のように設定されている場合

番号	ファイル名	データ種別	畜積周期	レコード数	世代数	メール送信
1	FILE1	内部接点(変化)		60	1	する
2	FILE2	外部接点(変化)		60	1	する
1	FILE3	内部接点(周期)	10秒	60	1	する
Ŀ	FILE4	外部接点(周期)	30秒	60	1	する
i	FILE5	内部パルス	1分	60	1	する
	FILE6	外部パルス	3分	60	1	する
	FILE7	内部アナログ	5分	60	1	する
	FILE8	外部統計値	10分	60	1	する
1	FILE9	外部瞬時値	30分	60	1	する

この場合、増設ユニット1の使用ユニットが「アナログ」の蓄積に使用できるファイルは「7」になります。 よって格納ファイル選択エリアには「FILE7」のみ表示されます。



注1) 蓄積ファイルの「内部」とは本体または増設1~3を意味します。 「外部」はコミュニケーションカセットに接続されるPLC等を意味します。

注2)格納ファイルに「格納しない」しか表示されない場合は増設ユニットのアナログを蓄積できるファイル が定義されているかを確認してください

≫ 参 照:<6.3.2 蓄積ファイルの設定をおこなう>

注3)1つの格納ファイルに登録できるのは最大32点までです。

④各項目の設定が完了したら「設定」ボタンをクリックしてください。設定された内容が一時的に保存されます。

設定された増設ユニット1の情報が登録されます。 【例】

メモリ	名称	Л	1xe	換算	A/D支換値		換算值	単位	格納ファイル
AD 10	電圧値1	771	ヴ 💌 す	3 💌	-2000 ~ 2000	-10	~ 10	V	FILE7(图明5分)
					(RE)				
		4.6	ň.		由家		1 18 60-	ex/le	
	AD10 1	電圧値)	換算 する A/D変換値 換算値: -	-200 10.00~-	0~2000 10.00 開行: V		FILE7 (周期5分)	0-10-	

設定が完了したら、DLUへ記録する作業に入ります。

⑤「メインメニューへ戻る」ボタンをクリックします。メインメニュー画面に戻ります。



6.5 外部機器の詳細設定をおこなう

DLUはコミュニケーションカセットを使用して、PLCからデータを収集し蓄積することができます。 また表示器などを接続することもできます。

【例】



・「接点」は、ON/OFFのカウントをおこなう用途に使用できます。

用途	蓄積される内容	補足
接点	 ・ON/OFF状態 ・状態変化間隔(注) ・累積ON時間 ・累積開閉回数 	一定周期毎にON/OFF状態をチェックし蓄積する 方法と、ON/OFFの変化を検知したタイミングで蓄 積する方法がある。

・「データ」は以下の用途で使用できます。

用途	蓄積される内容	補足
パルス	・単位時間あたりのパルス数	データの型や換算パラメータを指定することも可能。
瞬時値	・データ値	ー定周期毎にデータをチェックし、その時のデータを 蓄積する。 データの型を指定することは可能
統計値	 ・平均値 ・最小値 ・最大値 	ー定周期毎にデータをチェックし、その時点での平 均値,最小値,最大値を計算する。 データの型や換算パラメータを指定することも可能。

『塗」ご注意:

外部機器の用途が瞬時値モードの場合、「データ」の用途は「瞬時値」のみとなります。

[補足]データ蓄積についての詳細図 (1)接点



(2)パルス. 瞬時値



(3)統計値



』 ☆ ご注意:

- ・外部機器は最大2ポートまで使用できます。
- 使用可能ポート数はコミュニケーションカセットにより異なります。
- ・集計モード時、外部機器は、接点とデータで合計200点まで蓄積できます。
- ・瞬時値モード時、外部機器は接点とデータで合計2500点まで蓄積できます。
- ・接点の変化を検知して蓄積する場合、状態変化間隔は記録されません。
- ・累積開閉回数は、"立ち上がりで1回"、"立ち下がりで1回"、"立ち上がりと立ち下がりいずれも1回" の中から選択できます。
- ・瞬時値は蓄積周期毎に収集した値がセットされ、パルス値は蓄積周期毎に「収集した値-前回の蓄積 タイミングで収集した値」がセットされます。
- ・統計値の平均/最小/最大値は、それぞれ蓄積周期内での結果になります。
- 参 照:アクショントリガ機能について<6.7 アクショントリガの設定をおこなう>
 - **照**:外部機器をコンピュータリンクで使用する場合の設定について <6.4.1 本体の設定をおこなう>

6.5.1 松下電工製PLC-外部割付(接点)の設定をおこなう

コミュニケーションカセットに松下電工製PLCを接続し、接点データを収集するための設定は以下の手順でおこないます。

なお「6.4.1 本体の設定をおこなう」により、DLUは外部機器に2ポート両方とも松下電工製PLCを使用する設定になっているものとします。

外部機器の用途	
動作選択	集計モード(200点) 🔽
外部機器(COM1)	
動作選択	PLC接続(松下電工MEWNET-FPシリーズ) 💌
接続方式	1:1 💌
局番	00 🐱
通信速度(bps)	9600 💌
データビット	8 💌
バリティ	奇数 💌
ストップビット	1 🗸
通信タイムアウト時間	3秒 💌
外部機器(COM2)	
動作選択	PLC接続(松下電工MEWNET-FPシリーズ) 💌
接続方式	1:1 💌
局番	00 🐱
通信速度(bps)	9600 💌
データビット	8 🗸
バリティ	奇数 🗸
ストップビット	1 💌
通信タイムアウト時間	3秒 🔽

【手順】

メイン画面の「設定」ボタンをクリックしてください。メインメニュー画面が表示されます。

Web Datalogger 設定メインメニュー
■動作語定 入出力-収集
<u>アウションドリガ</u> ■基本設定
基本航定 ユーザ登録 グルーゴの約
●その他 フェット接作
設定内容ファイル保存
本体へ記録
本体情報
ログアウト

①「入出力・収集」をクリックしてください。

②左側のメニューから「外部割付(接点)」をクリックしてください。

「外部割付(接点)」画面が表示されますので、メモリ(接点番号),名称,用途等を設定します。

外部割付(接点)の用途は「接点」のみです。



外部機器の用途が「集計モード」の場合、画面は以下のようになります。

外部機器の用途が「瞬時値モード」の場合、画面は以下のようになります。



・瞬時値モード時は、設定をブロック単位で行ないます。

・1つのブロックには最大250点までデータを登録できます。

・1つの格納ファイルには、最大32ブロックまで登録できます。

. 78

ご注意:用途が「使用しない」のままでも名前を付けることはできますが、データの蓄積はされません。

メモリ 用途 累積闌閉回数 名称 格納ファイル OFF->ON 🔽 格納しない 🗸 B 0 接点 🗸 🗸 ボート 外部デバイス 登録データ数 COM1 🔽 X 🗸 1 (1-32) 設定

用途を「接点」に指定した場合、蓄積条件設定エリアは以下のようになります。

名称

名称は半角16文字以内で設定してください。(全角の場合は8文字以内)

半角カナは使用できません。

- 注)瞬時値モード時、指定された名称がファイルに記録されるとき、名前の後ろに番号が0から割り付けられます。
- 例)ブロックに指定された名前が「データ」で登録数が「10」の場合、ファイルに記録される名前は「データ 0」から「データ9」になります。

累積開閉回数

OFF->ON:接点情報がOFFからONに変化した時にのみ開閉回数が1カウントされます。

ON->OFF:接点情報がONからOFFに変化した時にのみ開閉回数が1カウントされます。

ON<->OFF:接点状態がOFFからONまたはONからOFFに変化した時に開閉回数が1カウントされます。

格納ファイル

この接点情報を、どのファイルに格納するかを設定します。 【例】 蓄積ファイルが以下のように設定されている場合

番号	ファイル名	データ種別	蓄積周期	レコード数	世代数	メール送信
1	FILE1	内部接点(変化)		60	1	する
2	FILE2	外部接点(変化)		60	1	する
<u>3</u>	FILE3	内部接点(周期)	10秒	60	1	する
<u>4</u>	FILE4	外部接点(周期)	30秒	60	1	する
<u>5</u>	FILE5	内部バルス	1分	60	1	する
<u>6</u>	FILE6	外部バルス	3分	60	1	する
2	FILE7	内部アナログ	5分	60	1	する
<u>8</u>	FILE8	外部統計値	10分	60	1	する
9	FIL E9	外部瞬時値	30分	60	1	する

この場合、用途が「外部接点」の蓄積に使用できるファイルは「2」と「4」になります。 よって格納ファイル選択エリアには「FILE2」と「FILE4」のみ表示されます。



注1) 蓄積ファイルの「内部」とは本体または増設1~3を意味します。 「外部」はコミュニケーションカセットに接続されるPLC等を意味します。

注2)格納ファイルに「格納しない」しか表示されない場合は接点を蓄積できるファイルが定義されているかを確認してください。



注3)1つの格納ファイルに登録できるのは最大32点までです。

ポート

本設定が、どちらのCOMポートに接続されたPLCから取得するかをチェックします。

ボート	
COM1 💌	
COM1	
COM2	

注) COM1にのみ松下電工製PLCが設定されている場合、COM1しか表示されません。 COM1, COM2両方とも使用しない、もしくはコンピュータリンクで使用する場合何も表示されません。

外部デバイス

登録する外部接点(B)が、PLCのどの接点デバイスを収集/蓄積するのかを指定します。 リストには松下電工製PLCのデバイス種別がセットされています。 デバイスを選択し、デバイスNo.を入力してください。



登録データ数 指定された数だけ同一内容で登録します。 名称は同じ物が登録され、外部デバイスのデバイスNo. は1ずつインクリメントされます。 ③各項目の設定が完了したら「設定」ボタンをクリックしてください。設定された内容が一時的に保存されます。

蓄積条件一覧エリアに設定内容が表示されます。 【例】

		外部割付(接点)	設定	
メモリ	名称	用途	累積開閉回螤	格納ファイル
B 0	FP2SH_R0	接点 🔽	OFF->ON 💌	FILE4(周期:30秒) 🔽
ポート	外部デバイ	ス 登録データ数		
СОМ1 💌	R 💌 0	1 (1-32)		
		設定		
メモリ	名称	内容	格納ファイル	外部デバイス
<u>B0</u>	FP2SH_R0	累積開閉回数:OFF->ON	FILE4 (周期:30秒)	COM1:R0

設定が完了したら、DLUへ記録する作業に入ります。

⑤「メインメニューへ戻る」ボタンをクリックします。メインメニュー画面に戻ります。

Web Datalogger 設定メインメニュー	
■動作設定 入出力-収集 アクショントリガ	
■基本設定	
基本設定	
クループの話	
■その他	
<u>スニット律作</u>	
缺定内容ファイル保存	乳ウジェート インスト 「乳ウジュート・シンナナ・レンスノント
In starting the Works are used at	設定が変更されていると、「設定が変更されています」というメッセー
DEAD WEST COL S	ジが点滅表示されています。
本條值報	
ログアウト	
Microsoft Internet Explorer	
	⑤「本体へ記録」ボタンをクリックすると
(?) 設定を本体に記録します。 よろしいですね?	メッカージが表示されますので「OK」ボタンをクリック」 てください
OK キャンセル	設定された内容かDLUに記録されます。
本体に記録しました	⑥記録が正常終了すると、以下のメッセージが表示されます。
OK	
6.5.2 松下電工製PLC-外部割付(データ)の設定をおこなう

コミュニケーションカセットに松下電工製PLCを接続し、データを収集するための設定は以下の手順でおこないます。

【手順】

メイン画面の「設定」ボタンをクリックしてください。メインメニュー画面が表示されます。



①「入出力・収集」をクリックしてください。

②左側のメニューから「外部割付(データ)」をクリックしてください。

「外部割付(データ)」画面が表示されますので、メモリ(接点番号),名称,用途等を設定します。

その他の設定内容は用途によって変化します。

外部機器の用途が「集計モード」の場合、画面は以下のようになります。



名称は半角16文字以内で設定してください。(全角の場合は8文字以内) 半角カナは使用できません。

用途が「パルス」の場合、以降は「パルスとして使用する場合」へ。 用途が「瞬時値」の場合、以降は「瞬時値として使用する場合」へ。 用途が「統計値」の場合、以降は「瞬時値として使用する場合」へ。 外部機器の用途が「瞬時値モード」の場合、画面は以下のようになります。

		外部	割付(データ)設定				
XEU	名称	用途	換算	換算 パラメータ	単位	格納 ファイル	
1 EXD 0		使用しない 👻	しない 😪			格納しない 🖌	蓄積条件
#-1	外部デバイス	データ形式	登録データ数				設定エリア
COM1 💌	WX 💙 0	符号付き16ビット整数	 1 (1-250) 				
<u>ブロッ</u>	クNo					_	
プロックNo. 1 2 3 4	メモリ 先!	類メモリの名称	用途格納ファ	イル 外部:	デバイス 登	2録データ数	蓄積条件一覧 表示エリア

・瞬時値モード時は、設定をブロック単位で行ないます。

- ・瞬時値モード時の用途は「瞬時値」のみです。
- ・1つのブロックには最大250点までデータを登録できます。
- ・1つの格納ファイルには、最大32ブロックまで登録できます。

以降は「**瞬時値として使用する場合」**へ。

■ パルスとして使用する場合

用途を「パルス」に指定した場合、蓄積条件設定エリアは以下のようになります。 各項目を設定してください。

メモリ	名称	用途	換算	換算 パラメータ	単位	格納 ファイル
EXD 0		パルス値 🔽	しない 💌			格納しない 💌
ポート	外部デバイス	データ形式	登録データ数	登録データ数		
COM1 💌	WX 🖌 0	符号無し16ビット整数 💌	指定しない 🔽	1 (1-32)		

換算

・「しない」の場合:パルス値をそのまま記録します。

・「する」の場合:パルス値に、次の「換算パラメータ」をかけて記録します。

【例】 パルス数が「100」で換算パラメータが「0.1」の場合、蓄積されるデータは「10」になります。

換算パラメータ

「0.01~9999.99」の範囲で設定できます。 換算が「しない」に設定されている場合、本設定は無効となります。

単位

パルス値を記録するとき、値に文字を付加することができます。 例)「kwh」と設定すると、ファイルに記録されるときパルス値+単位で 「100kwh」と記録される。 単位は半角英数字4文字以内で設定してください。

格納ファイル

このデータ情報を、どのファイルに格納するかを設定します。 【例】 蓄積ファイルが以下のように設定されている場合

番号	ファイル名	データ種別	蓄積周期	レコード数	世代数	メール送信
1	FILE1	内部接点(変化)		60	1	する
2	FILE2	外部接点(変化)		60	1	する
3	FILE3	内部接点(周期)	10秒	60	1	する
<u>4</u>	FILE4	外部接点(周期)	30秒	60	1	する
<u>5</u>	FILE5	内部パルス	1分	60	1	する
<u>6</u>	FILE6	外部バルス	3分	60	1	する
2	FILE7	内部アナログ	5分	60	1	する
8	FIL E8	外部統計値	10分	60	1	する
9	FILE9	外部瞬時値	30分	60	1	する

この場合、用途が「外部データ」の「パルス」蓄積に使用できるファイルは「6」のみになります。 よって格納ファイル選択エリアには「FILE6」のみ表示されます。



注1) 蓄積ファイルの「内部」とは本体または増設1~3を意味します。 「外部」はコミュニケーションカセットに接続されるPLC等を意味します。

注2)格納ファイルに「格納しない」しか表示されない場合は接点を蓄積できるファイルが定義されているか を確認してください。

注3)1つの格納ファイルに登録できるのは最大32点までです。

<u>ポート</u> 本設定が、どちらのCOMポートに接続されたPLCから取得するかをチェックします。

ボー	ŀ
COM1	~
COM1	
COM2	

注) COM1にのみ松下電工製PLCが設定されている場合、COM1しか表示されません。 COM1, COM2両方とも使用しない,もしくはコンピュータリンクで使用する場合何も表示されません。

外部デバイス

登録する外部接点(EXD)が、PLCのどのデバイスを収集/蓄積するのかを指定します。 リストには松下電工製PLCのデバイス種別がセットされています。 デバイスを選択し、デバイスNo.を入力してください。



データ形式

登録する外部接点(EXD)のデータ型を指定することができます。 「パルス」の場合、以下の2つの型から選択できます。



データ桁数

記録するパルスの桁数を指定します。 (データ形式により指定できる桁数が変わります) 指定周期でデータを収集したとき、前回のデータよりも小さい値を検出したら桁上げが生じたと判断しま す。

データ形式	データ桁数
符号無し16ビット整数 ⊻	指定しない 🗸
	指定しない 1桁
	2桁
	4桁

データ形式	データ桁
符号無し32ビット整数 🐱	指定しない 🗸
	指定しない
	2桁
	3桁
	5桁
	6桁
	/竹 8桁
	9桁

登録データ数

指定された数だけ同一内容で登録します。 名称は同じ物が登録され、外部デバイスのデバイスNo. は1ずつインクリメントされます。

■ 瞬時値として使用する場合

用途を「瞬時値」に指定した場合、蓄積条件設定エリアは以下のようになります。 各項目を設定してください。

メモリ	名称	用途	換算	換算 パラメータ	単位	格納 ファイル
EXD 0		瞬時値 🔽	しない 💌			格納しない 🖌
ポート	外部デバイス	データ形式	登録データ数			
COM1 💌	WX 💙 0	符号付き16ビット整数 🐱	1 (1-32)			

名称

名称は半角16文字以内で設定してください。(全角の場合は8文字以内) 半角カナは使用できません。

換算

・「しない」の場合:瞬時値をそのまま記録します。

・「する」の場合:瞬時値に、次の「換算パラメータ」をかけて記録します。

【例】瞬時値が「200」で換算パラメータが「10」の場合、蓄積されるデータは「2000」になります。

換算パラメータ

0.01~9999.99」の範囲で設定できます。 換算が「しない」に設定されている場合、本設定は無効となります。

単位

瞬時値を記録するとき、値に文字を付加することができます。 【例】「g」と設定すると、ファイルに記録されるとき瞬時値+単位で「2000g」と記録される。 単位は半角英数字4文字以内で設定してください。

格納ファイル

このデータ情報を、どのファイルに格納するかを設定します。 【例】 蓄積ファイルが以下のように設定されている場合

番号	ファイル名	データ種別	蓄積周期	レコード数	世代数	メール送信
1	FILE1	内部接点(変化)		60	1	する
2	FILE2	外部接点(変化)		60	1	する
3	FILE3	内部接点(周期)	10秒	60	1	する
<u>4</u>	FILE4	外部接点(周期)	30秒	60	1	する
<u>5</u>	FILE5	内部パルス	1分	60	1	する
<u>6</u>	FILE6	外部バルス	3分	60	1	する
2	FILE7	内部アナログ	5分	60	1	する
8	FILE8	外部統計値	10分	60	1	する
9	FIL E9	外部瞬時値	30分	60	1	する

この場合、用途が「外部データ」の「瞬時値」蓄積に使用できるファイルは「9」のみになります。 よって格納ファイル選択エリアには「FILE9」のみ表示されます。



注1) 蓄積ファイルの「内部」とは本体または増設1~3を意味します。

「外部」はコミュニケーションカセットに接続されるPLC等を意味します。

注2)格納ファイルに「格納しない」しか表示されない場合は接点を蓄積できるファイルが定義されているか を確認してください。



注3)1つの格納ファイルに登録できるのは、集計モード時最大32点、瞬時値モード時最大250点までです。



本設定が、どちらのCOMポートに接続されたPLCから取得するかをチェックします。

	-ŀ
COM1	¥
COM1	
COM2	

注) COM1にのみ松下電工製PLCが設定されている場合、COM1しか表示されません。 COM1, COM2両方とも使用しない,もしくはコンピュータリンクで使用する場合、何も表示されません。

外部デバイス

登録する外部接点(EXD)が、PLCのどのデバイスを収集/蓄積するのかを指定します。 リストには松下電工製PLCのデバイス種別がセットされています。 デバイスを選択し、デバイスNo.を入力してください。



データ形式

登録する外部接点(EXD)のデータ型を指定することができます。 「瞬時値」の場合、以下の中から選択できます。



登録データ数

指定された数だけ同一内容で登録します。

名称は同じ物が登録され、外部デバイスのデバイスNo.は1ずつインクリメントされます。

●ASCIIについて

用途が「瞬時値」でデータ形式が「ASCII」の場合、蓄積条件設定エリアは以下のようになります。

XŦIJ	名称	用途	換算	換算 パラメータ	単位	格納 ファイル
EXD 0		轮转值 💌	しない 👻			格納しない 💌
*	外部デバイス	データ形式	交易文子放	登録データ数	変数の順序	1
COM1 M	WX 💌 0	ASCI	1 (1-30)	1 (1-32)	順方向 💌	

登録文字数

1つのメモリ(EXD)に記録する文字数を設定します。 EXD0に外部デバイスDT0を割り付けて、登録文字数を「10」に設定すると、DT0~DT4までの

5ワードが割り付けられます。

1つのメモリ(EXD)に登録できるのは最大30文字です。

登録データ数

同じ設定を連続して登録するときに指定します。 上記の例で登録データ数を「3」に設定すると、 EXD0にDT0~DT4, EXD1にDT5~DT9, EXD2にDT10~DT14が自動で登録されます。

変換の順序

順方向,逆方向から選択します。(デフォルトは順方向) 例)DTO~DT4に以下のようなデータが格納されている場合

	上位	下位	文字
DT0	0x42	0x41	BA
DT1	0x44	0x43	DC
DT2	0x46	0x45	FE
DT3	0x48	0x47	HG
DT4	0x4A	0x49	JI

順方向:EXD0のデータは「ABCDEFGHIJ」となります。 逆方向:EXD0のデータは「IJGHEFCDAB」となります。

どう ご注意:

制御文字(0x00~0x1F)またはカンマ(,)は記録できません。 データ中にこれらのコードが検出された場合、半角スペースに置き換えて記録されます。

■ 統計値として使用する場合

用途を「統計値」に指定した場合、蓄積条件設定エリアは以下のようになります。 各項目を設定してください。

メモリ	名称	用途	換算	換算 パラメータ	単位	格納 ファイル
EXD 0		統計値 🔽	しない 💌			格納しない 💌
ボート	外部デバイス	データ形式	登録データ数			
COM1 💌	WX 🔽 0	符号付き16ビット整数 🔽	1 (1-32)			

換算

・「しない」の場合:パルス値をそのまま記録します。

・「する」の場合:蓄積データに、次の「換算パラメータ」をかけて記録します。

【例】 データが「100」で換算パラメータが「0.2」の場合、蓄積されるデータは「20」になります。

換算パラメータ

0.01~9999.99」の範囲で設定できます。 換算が「しない」に設定されている場合、本設定は無効となります。

単位

データを記録するとき、値に文字を付加することができます。 【例】 「kg」と設定すると、ファイルに記録されるときデータ値+単位で 「20kg」と記録される。 単位は半角英数字4文字以内で設定してください。

格納ファイル

このデータ情報を、どのファイルに格納するかを設定します。 【例】 蓄積ファイルが以下のように設定されている場合

番号	ファイル名	データ種別	蓄積周期	レコード数	世代数	メール送信
1	FILE1	内部接点(変化)		60	1	する
2	FILE2	外部接点(変化)		60	1	する
3	FILE3	内部接点(周期)	10秒	60	1	する
<u>4</u>	FILE4	外部接点(周期)	30秒	60	1	する
5	FILE5	内部バルス	1分	60	1	する
<u>6</u>	FILE6	外部バルス	3分	60	1	する
2	FILE7	内部アナログ	5分	60	1	する
8	FILE8	外部統計値	10分	60	1	する
9	FILE9	外部瞬時値	30分	60	1	する

この場合、用途が「外部データ」の「統計値」蓄積に使用できるファイルは「8」のみになります。 よって格納ファイル選択エリアには「FILE8」のみ表示されます。



注1) 蓄積ファイルの「内部」とは本体または増設1~3を意味します。

「外部」はコミュニケーションカセットに接続されるPLC等を意味します。

注2)格納ファイルに「格納しない」しか表示されない場合は接点を蓄積できるファイルが定義されているか を確認してください。



注3)1つの格納ファイルに登録できるのは最大32点までです。

ポート

本設定が、どちらのCOMポートに接続されたPLCから取得するかをチェックします。



注) COM1にのみ松下電工製PLCが設定されている場合、COM1しか表示されません。 COM1, COM2両方とも使用しない,もしくはコンピュータリンクで使用する場合、何も表示されません。

外部デバイス

登録する外部接点(EXD)が、PLCのどのデバイスを収集/蓄積するのかを指定します。 リストには松下電工製PLCのデバイス種別がセットされています。 デバイスを選択し、デバイスNo.を入力してください。



データ形式

登録する外部接点(EXD)のデータ型を指定することができます。 「統計値」の場合、以下の中から選択できます。



登録データ数 指定された数だけ同一内容で登録します。 名称は同じ物が登録され、外部デバイスのデバイスNo.は1ずつインクリメントされます。 ③各項目の設定が完了したら「設定」ボタンをクリックしてください。設定された内容が一時的に保存され ます。

外部割付(データ)設定						
メモリ	名称	用途	換算	換算 パラメータ	単位	格約 ファイル
EXD 0	PLC-DT0	パルス値 💌	する 💌	0.1	kw/h	FILE6(周期:3分) 🔽
ポート	外部デバイス	データ形式	登録データ数	登録データ数		
СОМ1 🔽	DT 🔽 0	符号無し16ビット整数 💙	4 桁 💌	1 (1-32)		
			<u>教定</u>			
*	モリ 名称	用途	換算	格納ファイル	外部デバイス	
EXI	DO PLC-DTO	パルス値 0.1	10 kw/h/Pulse	6 DTO(明:3分) 社桁 符号	COM1: ■I.16ビット整数	

蓄積条件一覧エリアに設定内容が表示されます。

設定が完了したら、DLUへ記録する作業に入ります。

③「メインメニューへ戻る」ボタンをクリックします。メインメニュー画面に戻ります。



6.5.3 三菱電機製PLC-外部割付の設定をおこなう

コミュニケーションカセットに三菱電機製PLCを接続し、データを収集するためには外部機器にFXシリーズ(またはFX2Nシリーズ)を使用する設定にしてください。FXシリーズのTOOLポートまたはRS232Cの アダプタを使用した1:1通信、またはRS485のアダプタを使用したFX計算機リンクが使用可能です。



8 照:<6.4.1 本体の設定をおこなう>

【例】

外部機器(COM1)	
動作選択	PLO接続(三菱電機MELSEC-FXシリーズ) 💌
接続方式	1:1 💌
局番	00 ∞
通信速度(bps)	9600 💌
データビット	7 💌
パリティ	偶数 🗸
ストップビット	1 💌
通信タイムアウト時間	3秒 💟
外部機器(COM2)	
動作選択	PLO 接続(三菱電機MELSEO-FX2Nシリーズ) 💌
接続方式	1:1 💌
局番	00 🐱
通信速度(bps)	9600 💌
データビット	7 💌
パリティ	偶数 🗸
ストップピット	1 💌
通信タイムアウト時間	3秒 🕑



注)選択できるデバイスは三菱製PLCのデバイスとなります。その他設定方法は松下電工製PLCと同様になります。

●通信条件の設定

DLU側の通信条件設定

COM. ポートの通信条件設定を以下のように設定してください。

項目	設定値
通信速度設定	9600 bps
データ長	7ビット
パリティチェック	有り・偶数
ストップビット	1ビット

PLC側の通信条件設定

D8120に"0"を格納してください(デフォルトで"0"になっていますので、特に設定する必要はありません)。

●使用可能デバイス					
	デバイス種類	FX1N範囲No.	FX2N範囲No.	備考	
	入力リレー(X)	X0000~X0337	X0000~X0337		
	出カリレー(Y)	Y0000~Y0337	Y0000~Y0337		
ビット	内部リレー(M)	M0000~M1535	M0000~M1535		
デバイス	ステート(S)	S0000~S0999	S0000~S0999		
	タイマ(接点) (TS)	TS0000~TS0255	TS0000~TS0255		
	カウンタ(接点)(CS)	CS0000~CS0255	CS0000~CS0255		
ワード デバイス	入カリレー(X)	X0000~X0320	X0000~X0320	アドレスは20単位で 指定してください	
	出カリレー(Y)	Y0000~Y0320	Y0000~Y0320	アドレスは20単位で 指定してください	
	内部リレー(M)	M0000~M1520	M0000~M1520	アドレスは16の倍数 で指定してください	
	ステート(S)	S0000~S0976	S0000~S0976	アドレスは16の倍数 で指定してください	
	タイマ(現在値)(TN)	TN0000~TN0255	TN0000~TN0255		
	カウンタ(現在値)(CN)	CN0000~CN0255	CN0000~CN0255		
	データレジスタ(D)	D0000~D0999	D0000~D0999		

注1) 機種により使用できるアドレスが異なりますので、詳しくはご使用のPLCのマニュアルをご参照ください。

注2) 入力リレー・出力リレー・補助リレーをワード単位で使用する場合は、000から16点単位でアドレスを 設定してください。(X000、X020、X040…、M000、M016、M032)

6.5.4 オムロン製PLC-外部割付の設定をおこなう

コミュニケーションカセットにオムロン製PLCを接続し、データを収集するためには外部機器にSYSMAC ーCシリーズを使用する設定にしてください。SYSMAC-CシリーズのRS232Cポート、コミュニケーショ ンポートまたはペリフェラルポートを使用し、1:1通信が可能です。

【例】	
外部機器(COM1)	
動作選択	PLC接続(オムロンSYSMAC-Cシリーズ) 💽
接続方式	1:1 💌
局番	00 💌
通信速度(bps)	9600 💌
データビット	7 💌
パリティ	偶数 🖌
ストップビット	
通信タイムアウト時間	3秒 💌
外部機器(COM2)	
動作選択	PLC接続(オムロンSYSMAC-Cシリーズ) 🔹
接続方式	1:1 💌
局番	00 💌
通信速度(bps)	9600 💌
データビット	7 💌
パリティ	偶数 🗸
ストップビット	1 💌
通信タイムアウト時間	3秒 💌

参 照: <6.5.1 松下電工製PLC−外部割付(接点)の設定をおこなう>

<6.5.2 松下電工製PLC-外部割付(データ)の設定をおこなう>

注)選択できるデバイスはオムロン製PLCのデバイスとなります。その他設定方法は、松下電工製PLCと 同様になります。

●通信条件の設定

DLU側の通信条件設定

COM. ポートの通信条件設定を以下のように設定してください。

項目	設定値
通信速度設定	19200bps
データ長	7ビット
パリティチェック	有り・偶数
ストップビット	1ビット

PLC側の通信条件設定

PLC側で設定する内容は以下の通りです。機種により設定できない項目がありますが、できない場合は設 定する必要はありません。

項目	設定値
PLC本体モード	モニタモード
モード指定	上位リンク
手順	1:N
通信速度設定	19200bps
データ長	7ビット
パリティチェック	有り・偶数
ストップビット	1ビット
局番	No. 0
CTS指定	常時ON
5V供給	なし
通信方式	RS232C

注)PLC本体モードは、必ずモニタモードでご使用ください。

PLC側の通信設定方法は、ほとんどの機種については下記の通りで行えますが、機種により異なる場合がありますので、詳しくはご使用のPLCのマニュアルを参考に設定してください。

CPUユニットのRS232Cポートと通信させる場合

システムエリアを以下のように設定してください。

アドレス	設定値	設定内容
DM6600	0201 (HEX)	PLCの本体モードの設定 (モニタモード)
DM6645	0001 (HEX)	RS232Cポートのモード設定(上位リンク)
DM6646	0004 (HEX)	通信条件の設定(19200bps、7ビット、偶数、1ビット)
DM6648	0000 (HEX)	号機No. の設定 (号機No. 0)

コミュニケーションポートと通信させる場合

システムエリアを以下のように設定してください。

ポートAと通信させる場合

アドレス	設定値	設定内容			
DM6600	0201 (HEX)	PLCの本体モードの設定 (モニタモード)			
DM6550	0001 (HEX)	RS232Cポートのモード設定(上位リンク)			
DM6551	0004 (HEX)	通信条件の設定(19200bps、7ビット、偶数、1ビット)			

ポートBと通信させる場合

アドレス	設定値	設定内容
DM6600	0201 (HEX)	PLCの本体モードの設定 (モニタモード)
DM6555	0001 (HEX)	RS232Cポートのモード設定(上位リンク)
DM6556	0004 (HEX)	通信条件の設定(19200bps、7ビット、偶数、1ビット)

上位リンクI/Fユニットと通信させる場合

CPUのモード設定を必ずモニタモードにしてください。 通信速度などの設定は、リンクI/FユニットのDIPスイッチやロータリスイッチで設定してください。 詳しくはご使用のユニットのマニュアルをご参照ください。

ペリフェラルポートと通信させる場合

システムエリアを以下のように設定してください。

アドレス	設定値	設定内容
DM6600	0201 (HEX)	PLCの本体モードの設定 (モニタモード)
DM6550	0001 (HEX)	RS232Cポートのモード設定(上位リンク)
DM6551	0004 (HEX)	通信条件の設定(19200bps、7ビット、偶数、1ビット)

●使用可能デバイス

デバイス種類				
	入出力リレー			
	内部補助リレー			
	アナログ設定値格納エリア			
	特殊補助リレー			
ビットデバイス	データリンクリレー(LR)			
	補助記憶リレー(AR)			
	保持リレー(HR)			
	タイマ(接点)(TIM)			
	カウンタ(接点)(CNT)			
	入出力リレー			
	内部補助リレー			
	アナログ設定値格納エリア			
	特殊補助リレー			
ロードニ・バノフ	データリンクリレー(LR)			
7-67742	補助記憶リレー(AR)			
	保持リレー(HR)			
	タイマ(現在値)(TIM)			
	カウンタ(現在値)(CNT)			
	データメモリ(DM/D)			

注1) 機種により使用できるアドレスの範囲が異なります。詳しくはご使用のPLCのマニュアルをご参照ください。

注2) リレーエリア 253~255CHには書き込みできません。

注3) J1シリーズは、データリンクリレー(LR)・保持リレー(HR)・タイマ(TIM)・カウンタ(CNT)が使用できません。

6.6 メール送信に関する設定をおこなう

DLUは、蓄積ファイルが生成されたタイミングやアクショントリガを使用して、メールを送信することができます。

メールはEthernetポートもしくはモデムポートを使用したダイヤルアップで送信できます。 本章ではメール送信に関する設定について解説します。





6.6.1 メール送信の基本設定をおこなう

メールを送信するには、メール送信用のサーバ(SMTPサーバ)に関する設定をおこなう必要があります。

【手順】

メイン画面の「設定」ボタンをクリックしてください。メインメニュー画面が表示されます。



①「基本設定」をクリックしてください。

②左側のメニューから「メール」をクリックしてください。

「メール設定」画面が表示されますので、メール送信に必要な各設定をおこないます。

🗿 Web Datalonner 🏦 📅 - Micros	oft Internet Explorer			
ファイル(日) 編集(日) 表示(小) お気に	入り仏 ツール田 ヘルプ田			1
🌀 rð • 🕥 · 💌 🗟 🐔	▶ 検索 ☆ お気に入り	🕈 49 47 🧭	🙆 · 🍓 📼 · 🖸 🕸	8
アドレス型 🔕 http://192.168.1.5/setup/r	etframe_jon.htm			🖌 🛃 移動 リンク
■基本設定		メー	ル設定	
ネットワーク <u>イーサネット</u> ダイオリ・スープ1	メール設定			
<u>ダイヤルアップ2</u>	メールアドレス			
着信接続	SHTPIKE	-		
	SMTP#-JS		100.01	
	1222	認証不要	×	
各种動作	P/10/F46	-		
- 被視時定	1120-F	_		
	POPサーバ			
思聞指定的自	根続ネットワーク	イーサネット	~	
■特殊用途		0	的定	
POWAY#175		1		
メインメニューに戻る				
				3 (1 + 1 + 1
20ペーンが表示されました				1219491

メールアドレス DLUのメールアドレスを設定します。 半角英数字48文字以内で設定してください。

SMTPサーバ

SMTPサーバのIPアドレス(または名前)を設定します。 名前で指定する場合、DNSサーバのIPアドレスが設定されている必要があります。

🍪 参 照:<6.1.4 IPアドレスを設定する>

半角英数字48文字以内で設定してください。

認証

メールを送信する際、以下の3通りから認証方法を選択することができます。
 メール送信に使用するプロバイダ(SMTPサーバ)の送信条件をご確認ください。
 ・認証不要
 ・POP before SMTP(標準)
 ・POP before SMTP(APOP)

<u>=アカウント</u>名, パスワード, POPサーバは認証が必要な場合に設定します=

アカウント名 メールを受信する際に使用するアカウント名を設定します。 半角英数字48文字以内で設定してください。

パスワード メールを受信する際に使用するパスワードを設定します。 半角英数字16文字以内で設定してください。

POPサーバ 認証に使用するPOPサーバのIPアドレス(または名前)を設定します。 半角英数字48文字以内で設定してください。

接続ネットワーク

メールを送信する際のネットワークを選択します。 メールは、イーサネットから直接もしくはモデムポートを使用したダイヤルアップで送信することができます。

参 照:ダイヤルアップに関する設定について<6.6.2 ダイヤルアップの設定をおこなう>

③各項目の設定が完了したら「設定」ボタンをクリックしてください。設定された内容が一時的に保存され ます。

【例】

ール設定	
メールアドレス	dlu@xxx.xx
MTP設定	
SMTPサーバ	XXX.XXX.XXX
1212	POP before SMTP(標準) 💟
アカウント名	dlu
パスワード	•••••
POPサーバ	XXXXXXXXXXXXX
接続ネットワーク	イーサネット

設定が完了したら、DLUへ記録する作業に入ります。

④「メインメニューへ戻る」ボタンをクリックします。メインメニュー画面に戻ります。

Web Datalogger 設定メインメニュー	
■動作設定 入出力-取集	
72232101	
■型本設定	
2-108	
2/0-720 ##0#	設定が変更されていると、「設定が変更されています」というメッセージ
ユニット操作 読定内容ファイル保存	が点滅表示されています。
設定が変更されています 本体へに発	
本使情報	
[0Ø70F]	
Microsoft Internet Explorer 🔀	
このですか?	⑤「本体へ記録」ボタンをクリックすると メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックしてください。
<u>OK</u> キャンセル	設定された内容がDLUに記録されます。
本体に記録しました	
OK	し記録か止吊終」すると、以下のメッセーンが表示されます。

「6.6.1 メール送信の基本設定をおこなう」において、接続ネットワークをダイヤルアップに設定した場合、 ダイヤルアップに関する設定を別途おこなう必要があります。

【手順】

メイン画面の「設定」ボタンをクリックしてください。メインメニュー画面が表示されます。



①「基本設定」をクリックしてください。

②左側のメニューから「ダイヤルアップ1」(または2)をクリックしてください。

「ダイヤルアップ接続1(2)設定」画面が表示されます。ダイヤルアップに必要な各設定をおこないます。

🗿 Web Datalonger 読证 - Microso	oft Internet Explorer		
ファイル(日 編集(日 表示(い) お気に)	1900 9-MO ANTO		1
🌀 🛤 • 🕤 · 🖻 😰 🐔	🔎 検索 👷 お気に入り 🌘	🕅 55-07 🥝 🍰 🤤 · 🖸 🍇	
7FV200 (a) http://192.168.1.5/setup/n	etframe_jon.htm	💌 🛃 15ab	リンク
■基本設定		ダイヤルアップ接続1 設定	~
キットワーク <u> ーサネット</u> ロンティット	回線接続設定		
24VN7972 24VN7972	電話番号		
	ユーザ名		
THA	パスワード		
<u>メール</u> 時計 の時時代	USATIL	回転 9ダイヤルしない 👻 開設 100秒 😒	
	19アドレス		-
■粒乳設定	設定方法	 ○ IPアドレスを自動的に取得 ○ 次のIPアドレスを使用 	100
思想建定的任	IPPFLA		
■特殊用途	サブネットマスク		
PGWAY 封広	ダートウェイ		
	DNSサーバ		
メインメニューに戻る	顧定方法	 ○ DNSサーバのアドレスを自動で取得 ○ 次のDNSサーバを使用 	
A STATEMENT	プライマリ		
	セカンダリ		
		(RT)	*
◎ ページが表示されました	89	S 42/5201	

=回線接続設定=

ダイヤルアップに使用する電話番号,ユーザ名,パスワード,リダイヤルする/しないの設定をおこないます。

電話番号

ダイヤルアップに使用する電話番号を設定します。 32文字以内で設定してください。(ハイフンも使用できます)

ユーザ名

ユーザ名を設定します。 半角48文字以内で設定してください。

パスワード

パスワードを設定します。 半角16文字以内で設定してください。

リダイヤル

回数と間隔を設定してください。 リダイヤルしない場合、間隔の設定は無効になります。

=IPアドレス=

ダイヤルアップ接続時に、一時的に使用するIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。

設定方法

・IPアドレスを自動的に取得:ダイヤルアップ接続が確立したら、自動でIPアドレスが割り当てられます。 こちらが選択された場合、次の「IPアドレス,サブネットマスク,ゲートウェイ」の設定は無効になります。

・次のIPアドレスを使用:ダイヤルアップ接続時に使用するIPアドレスを設定します。

<u>IPアドレス, サブネットマスク, ゲートウェイ</u> それぞれのIPアドレスを、ドット付き10進文字で設定してください。

=DNSサーバ=

ダイヤルアップ接続時に、一時的に使用するDNSサーバを設定します。

設定方法

・DNSサーバのアドレスを自動で取得:ダイヤルアップ接続が確立したら、自動でDNSサーバのIPアドレスが割り当てられます。 こちらが選択された場合、次の「プライマリ,セカンダリ」の設定は無効になります。 ・次のDNSサーバを使用:ダイヤルアップ接続時に使用するDNSサーバのIPアドレスを設定します。 DNSサーバは、プライマリとセカンダリの2つを設定することができます。 (プライマリのみ設定してもかまいません)

プライマリ,セカンダリ

それぞれのIPアドレスを、ドット付き10進文字で設定してください。

③各項目の設定が完了したら「設定」ボタンをクリックしてください。設定された内容が一時的に保存され ます。 【例】

	21 THUT TO ISSUE BOAL
線接続設定	
電話番号	128-4567
ユーザ名	dki
パスワード	
リダイヤル	回政1回 🗸
アドレス	
驗定方法	 ● Pアドレスを自動的に取得 ○)次のPアドレスを使用
IPアドレス	
サブネットマスク	
ゲートウェイ	
NSサーバ	
脱军方法	 ○ DNSサーバのアドレスを自動で取得 ○ 汰のDNSサーバを使用
プライマリ	
セカンダリ	

設定が完了したら、DLUへ記録する作業に入ります。

④「メインメニューへ戻る」ボタンをクリックします。メインメニュー画面に戻ります。

Web Datalogger 設定メインメニ	- 1
■動作設定	
入出力 収集	
アクショントリガ	
■基本設定	
2-108	
グループロ目	
■その他	
<u>スニット律作</u>	
設定内容ファイル保存	
設定がま更されています 本体へ記録	
本件值幅	
05701	
Microsoft Internet Explorer 🔀	
② 設定を本体に記録します。 よろしいですか?	
OK 44500	
本体に記録しました	
orl	
UK	

設定が変更されていると、「設定が変更されています」というメッセージが点滅表示されています。

⑤「本体へ記録」ボタンをクリックすると メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックしてください。 設定された内容がDLUに記録されます。

⑥記録が正常終了すると、以下のメッセージが表示されます。

6.6.3 モデムの設定をおこなう

DLUはダイヤルアップ接続をおこなう時、モデムと接続する必要があります。 本章では接続するモデムに関する設定について解説します。

【手順】

メイン画面の「設定」ボタンをクリックしてください。メインメニュー画面が表示されます。



①「基本設定」をクリックしてください。

②左側のメニューから「モデム」をクリックしてください。

「モデム設定」画面が表示されますので、接続するモデムに関する各設定をおこないます。



ダイヤル種別

<u>・トーン/パルスから選択してください。</u>

初期化コマンド

・モデムを初期化するためのコマンドを記述してください。
 (初期状態で「HOE1X1」が設定されています)
 モデム初期化コマンドに関しては、ご使用になるモデムのマニュアルを参照してください。
 半角14文字以内で設定してください。

リセット後待ち時間

・モデムに対して初期化をおこなった後、ダイヤルを実行するまでの待ち時間が設定できます。 初期状態で4秒が設定されています。 0~255(秒)の間で設定してください。

通信速度

モデムと通信するときの通信速度を設定してください。 4800bps~115200bpsの中から選択できます。

③各項目の設定が完了したら「設定」ボタンをクリックしてください。設定された内容が一時的に保存され ます。 【例】

モデム設定				
回線設定	20.			
ダイヤル種別	トーン 💌			
モデム				
初期化コマンド	H0E1X1			
リセット後待ち時間	10 秒(0~255)			
通信条件設定				
通信速度(bps)	115200 💌			
	設定			

設定が完了したら、DLUへ記録する作業に入ります。

④「メインメニューへ戻る」ボタンをクリックします。メインメニュー画面に戻ります。

Web Datalogger 設定メインメニュー	
■約作設ま 入出力- 収集 アクショントリガ ■及本設定 五本設定 ユーザを発	
^{グループ登録} ■その地 ユニット操作 設定内容ファイル保住 設定がま更されています 本得な記録 工学価値	設定が変更されていると、「設定が変更されています」というメッセ ージが点滅表示されています。
Microsoft Internet Explorer X 説定を本体に記録します。 よろしいですか? OK キャンセル	⑤「本体へ記録」ボタンをクリックすると メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックしてください。 設定された内容がDLUに記録されます。
	⑥記録が正常終了すると、以下のメッセージが表示されます。

6.7 アクショントリガの設定をおこなう

アクショントリガは、入力信号が予め設定した条件に合致した場合、データが設定値を超えた場合などに、 下記の動作が可能です。

- ·接点出力
- ・アナログ出力
- ・接続されたPLCデータを出力

・メール送信

また、アクショントリガの発生履歴はファイルに保存されます。



注)PCWAYは、表計算ソフトExcelにアドインすることにより、データを収集するソフトウェアです。

6.7.1 アクショントリガの条件について

アクショントリガの発生条件には、以下の7種類が用意されています。

■ 接点状態

入力(X)の状態または外部割付(接点)(B)のメモリがONまたはOFFになったとき、および2つの信号が同時にONになったときに動作します。



■ 累積ON時間

入力(X)の状態または外部割付(接点)(B)のメモリの累積ON時間が設定した時間を超えたときに動作します。

「異常」と「警報」の2段階でトリガを発生させることができます。

「異常」が発生したときは、メール送信のみ実行できます。

「警報」が発生したときは、メール送信と警報時出力の動作をさせることができます。



■ 累積開閉回数

入力(X)または外部割付(接点)(B)のメモリの累積開閉回数が設定した回数を超えたときに動作します。 「異常」と「警報」の2段階でトリガを発生させることができます。 「異常」が発生したときは、メール送信のみ実行できます。

「共吊」が完全したとさは、ケール法信のみ夫们できます。

「警報」が発生したときは、メール送信と警報時出力の動作をさせることができます。



■ 状態変化無し

入力(X)の状態または外部割付(接点)(B)のメモリの状態(ONまたはOFFの状態)が指定した時間変化 しなかったときに動作します。

「異常」と「警報」の2段階でトリガを発生させることができます。

「異常」が発生したときは、メール送信のみ実行できます。

「警報」が発生したときは、メール送信と警報時出力の動作をさせることができます。



■ パルス

入力(X)または外部割付(データ)(EXD)の指定時間(該当メモリが蓄積ファイルに指定した時間)内に計 測したパルス数が設定数を超えたときに動作します。 「復旧」「異常」「警報」の3段階でトリガを発生させることができます。 「復旧」または「異常」が発生したときは、メール送信のみ実行できます。 「警報」が発生したときは、メール送信と警報時出力の動作をさせることができます。

■ 上下限値

アナログ入力(AD)または外部割付(データ)の値が指定範囲(最大値、最小値)を超えたときに動作します。



「復旧Min, Max」「異常Min, Max」「警報Min, Max」の6段階でトリガを発生させることができます。 「復旧」または「異常」が発生したときは、メール送信のみ実行できます。 「警報」が発生したときは、メール送信と警報時出力の動作をさせることができます。 「復旧」は、異常または警報が発生してからデータが元の値に戻っていく過程でのみ発生します。

■ 指定時間

指定された時間になると動作します。 曜日を指定することもできます。

【手順】

メイン画面の「設定」ボタンをクリックしてください。メインメニュー画面が表示されます。



①「アクショントリガ」をクリックしてください。

②「アクショントリガ設定」を設定してください。



アクショントリガは64パターンまで設定することができます。

設定は、最初に番号を選択して名称を付けます。ここまでは共通です。名称は半角16文字(全角8文字) 以内で設定してください。

■ 条件設定エリアの設定について

●「接点状態」の場合

条件

条件のコンボボックスをマウスでクリックし"接点状態"を選択します。

番号	名称	条件	状態	メモリ	
1		接点状態 🖌 🖌	OFF 😽	X 💌 0	

接点状態

接点状態がどのような状態になったときにトリガを発生させるかを選択します。

- ・OFF:メモリがオフ状態へ変化したときに動作します。
- ・ON:メモリがオン状態へ変化したときに動作します。
- ・ON1 AND ON2":2つのメモリ状態が同時にONになったときに動作します。

メモリ

監視するメモリを選択します。

- •X:内部接点番号を選択します。
- ・B:外部割付接点番号を選択します。

メモリ設定の用途を「接点」に設定しているメモリのみ選択できます。

●「累積ON時間」の場合

条件

番号	名称	条件	メモリ	異常時間	警報時間
1		累積ON時間 🛩	××	10	Ð

メモリ

監視するメモリを選択します。 •X:内部接点番号を選択します。 •B:外部割付接点番号を選択します。 メモリ設定の用途を接点に設定しているメモリのみ選択できます。

異常時間, 警報時間

トリガを動作させる時間を設定します。 異常時間<警報時間になるよう設定してください。 設定可能範囲は、1~4,294,967,295(秒)です。

●「累積開閉回数」の場合

条件

条件のコンボボックスをマウスでクリックし"累積開閉回数"を選択します。

番号	名称	条件	XEU	具常回数	警報回数
1		累核開閉回数 🖌	××	٥	0

メモリ

監視するメモリを選択します。
・X:内部接点番号を選択します。
・B:外部割付接点番号を選択します。
メモリ設定の用途を「接点」に設定しているメモリのみ選択できます。

異常回数, 警報回数

トリガを動作させる回数を設定します。 異常回数<警報回数になるよう設定してください。 (どちらか一方のみ設定することも可能です) 設定可能範囲は、1~4,294,967,295(回)です。

●「状態変化なし」の場合

条件

条件のコンボボックスをマウスでクリックし"状態変化なし"を選択します。

番号	名称	条件	XEU	状態	異常時間(秒)	警報時間(秒)
1		状態変化無し 💌	××	OFF 👻	B	19

メモリ

監視するメモリを選択します。 ・X:内部接点番号を選択します。

•B:外部割付接点番号を選択します。

メモリ設定の用途を「接点」に設定しているメモリのみ選択できます。

状態

•ON:メモリの状態がONのままで変化しないとき。
 •OFF:メモリの状態がOFFのままで変化しないとき。

異常時間, 警報時間

状態が変化しない時間を設定します。 異常時間<警報時間になるよう設定してください。 (どちらか一方のみ設定することも可能です) 設定可能範囲は、1~2,147,483,647(秒)です。

●「パルス」の場合

条件

条件のコンボボックスをマウスでクリックし"パルス"を選択します。

番号	名称	条件	メモリ	復旧値	具常値	警報値
1		R142 👻	X 🖌	1		

メモリ

監視するメモリを選択します。 •X:内部接点番号を選択します。 •EXD:外部割付データ番号を選択します。 メモリ設定の用途を「パルス」に設定しているメモリのみ選択できます。

復旧值, 異常值, 警報值

トリガを発生させるパルス値を設定します。 警報値>異常値>復旧値になるよう設定してください。

設定可能範囲は以下の通りです。

デバイス種別	最小値	最大値
Х	0	65535
X(換算された値)	0	9999.99
EXD(符号無し16ビット整数)	0	65535
EXD(符号無し32ビット整数)	0	4294967295
EXD(単精度浮動小数点)	0	9999. 99
EXD(換算された値)	0	9999.99

注1)入出力設定画面で監視するメモリの値を"変換する"に設定した場合は変換された値をセットして ください。

注2)パルス数は蓄積ファイルの蓄積周期の間に発生したパルス数です。

従って入出力設定画面で格納ファイルを指定しなければトリガは発生しません。

●「上下限値」の場合

条件

条件のコンボボックスをマウスでクリックし"上下限値"を選択します。

香号	名称	\$fl	XEU	警報 Min	異常 Min	識旧 Hin	復旧 Max	具常 Max	警報 Max
1		上下限值 🛩	AD 💌			-			

メモリ

監視するメモリを選択します。

・AD:内部アナログチャンネル番号を選択します。

・EXD:外部割付データ番号を選択します。

ADの場合、メモリ設定の用途を「アナログ」に設定しているメモリのみ選択できます。

警報Min, 異常Min, 復旧Min, 復旧Max, 異常Max, 警報Max

設定した上限値を超えたとき、または、設定した下限値を下回ったときにトリガが発生します。 (下図を参照)

値がこの範囲外になるとトリガが発生します。



設定可能範囲は以下の通りです。

デバイス種別	最小値	最大値
AD	-32, 768	32, 767
AD(換算された値)	-9999.99	9999.99
AD(K, J, R, T)	-3276.8	3276.7
EXD(符号付き16ビット整数)	-32768	32767
EXD(符号無し16ビット整数)	0	65535
EXD(BDC4桁)	0	9999.99
EXD(符号付き32ビット整数)	-2147483648	2147483647
EXD(符号無し32ビット整数)	0	4294967295
EXD(BCD8桁)	0	99999999
EXD(単精度浮動小数点)	-9999.99	9999.99
EXD(換算された値:符号付き)	-9999.99	9999.99
EXD(換算された値:符号無し)	0	9999.99

注1)入出力設定画面で監視するメモリの値を"変換する"に設定した場合は変換された値をセットして ください。

注2) 警報Min<異常Min<復旧Min<復旧Max<異常Max<警報Maxになるよう設定してください。

注3)「復旧」は、異常または警報が発生してからデータが元の値に戻っていく過程でのみ発生します。

●「指定時間」の場合

条件

条件のコンボボックスをマウスでクリックし"指定時間"を選択します。

番号 名	称 条件	時間	曜日
1	指定時間	✔ 00 ✔ 89 00 ✔ 分	□日□月□火□水□木□金□±

時間

アクショントリガを発生させる時間を設定します。

曜日

アクショントリガを発生させる曜日を選択します。 複数選択が可能です。

■ トリガ発生時の動作について(動作設定エリア)

トリガが発生したときは、あらかじめ設定された条件によって以下の動作を実行させることができます。

- 1. 登録しているメールアドレスへメールを送信する。
- 2. 内部出力接点(Y)または外部割付(接点)(B)へONまたはOFFを出力する。
- 3. アナログ出力(DA)または外部割付データ(EXD)へ設定値を出力する。
- 4. 蓄積完了時に内部出力接点(Y)または外部割付(接点)(B)へONまたはOFFを出力する。
- 5. トリガ発生時にチェックのある番号のファイルをファイル化します。

メール送信設定			
メール送信	■ 異常 ■ 警報		
メール本文			1
添付ファイル	添付ファイルなし		
メール送信先	グループ1(鼻毛) 🔽		
条件成立または警報時動作	F設定		
出力	出力先 しない Y OFF リセット しない X OFF	復旧時動作 発生	主前に戻す 🔽
PCWAY接続	PCWAY接続する		3
ユニット停止	Lau 💌		
データ収集/蓄積完了時の	動作設定		
完了フラグ設定	セット しない マ Y マ OFF マ リセット しない マ X マ OFF マ	出力保持	Utaci 💌 4
指定番号のファイルをファイ	ル化する		
1 2 3 4 5	5 6 7 8 9 10 11 12 13 14	15 🔲 16 🗌	5

=メール送信設定=

アクショントリガが発生したときに送信するメールの内容や宛先などを設定します。

メール送信

アクショントリガが発生したときにメールを送信するかどうかを設定します。 "異常"、"警報"それぞれ個々にメール送信「する」「しない」を設定することができます。 (選択された条件により、復旧でも送信できます) マウスをクリックしてチェックを入れてください。 接点状態や指定時間などは送信するかしないかの選択になります。

メール本文

送信するメールの本文を記述します。 半角224文字(全角112文字)以内で記述してください。

添付ファイル

送信するメールに蓄積したデータファイルやアクショントリガ履歴ファイルを添付して送ることができます。マウスでクリックして添付ファイルを選択してください。

【例】

添付ファイル	添付ファイルなし 💌
メール送信先	添付ファイルなし FILE1(蓄積)
条件成立または警報時動作	設定 FILE1(時)
出力	FILE1(月) FILE2(蕃積) FILE2(時) FILE2(時)
PCWAY接続	FILE2(月) アクショントリガ履歴

なお、添付されるデータは最大24レコードです。

メール送信先

メール送信先を選択します。

トリガが発生したとき、ここで選択されたグループに登録されている全てのユーザ(メールアドレスが設定さ

れているユーザ)にメールを送信します。

『谷子 ご注意:

・メールのタイトルは、以下のように3つの項目で設定されます。 (アクショントリガ名) [発生日時] [発生要因]
(各項目の間には半角スペースが挿入されます)
【例】
アクショントリガ名:異常発生
トリガ発生日時:2004年8月19日15時12分00秒
発生要因:異常

メールタイトル:異常発生 [040819_151200] [Error]

なお発生要因は、以下の4通りがあります。

・定常状態(蓄積ファイルが生成された,指定時刻になった):Regularity

•復旧:Normality

・異常:Error

·警報:Warning

・メールに添付できるファイルサイズは1Mバイトまでとなります。 1Mバイトを超えるファイルは添付できません。(本文のみ送信されます) この場合のファイルは、設定画面からダウンロードしてください。

=条件成立/警報時出力=

アクショントリガが発生しトリガの種類が「警報」または接点状態の条件成立時、指定時間で以下に設定す る内容で各種出力をおこなうことができます。

警報時出力

接点状態や指定日時の条件が成立または警報のトリガが発生したときの出力を設定します。

[出力先]

出力先の種別はビットとデータを選択することができます。



11.4	出力先	9-9 🗸 DA 👻	18
田川	Utoh	Utacy V EXD	OFF 💌

ビットを選択した場合、次に内部接点(Y)または外部割付接点(B)を選択し、その接点をONにするかOF Fにするかを選択します。

データを選択した場合は内部アナログ出力(DA)か、外部割付メモリ(EXD)を選択し、デバイス番号とセットするデータを設定します。

設定可能範囲は以下の通りです。

デバイス種別	最小値	最大値
DA	-32, 768	32, 767
EXD(符号付き16ビット整数)	-32768	32767
EXD(符号無し16ビット整数)	0	65535
EXD(BDC4桁)	0	9999.99
EXD(符号付き32ビット整数)	-2147483648	2147483647
EXD(符号無し32ビット整数)	0	4294967295
EXD(BCD8桁)	0	99999999
EXD(単精度浮動小数点)	-9999.99	9999.99
EXD(換算された値:符号付き)	-9999. 99	9999.99
EXD(換算された値:符号無し)	0	9999.99

[リセット]

指定した内部接点(X)または外部接点(B)がONまたはOFFになったとき、[出力先]で設定されたデバイスをリセット(アクショントリガが発生する前の状態)する機能で、「する」を選択したときに機能します。

出力	出力先	F-0 ▼ DA ▼	値	
	Utot	₫3 <mark>∨</mark> X ∨	OFF 💌	
PGWAY招続	〇条件成	立時にPCWA18 Fる		

[復旧時動作]

トリガ条件が復旧したとき、出力先の状態を発生前に戻すか、出力を保持するかを選択します。

=データ収集・蓄積完了時の動作設定=

データ収集の条件にアクショントリガを指定した場合、データの収集と蓄積動作が完了した時点で完了フラグとして接点出力をおこなうことができます。

データ収集/蓄積完了時の動作設定						
ㅎ	セット	しない 🔽 Y 🔽	OFF 🔽	出力保持	しない 👻	
元コンジョンル	リセット	Uau 🔽 X 👻	OFF 🔽			

[セット]

アクショントリガ発生による蓄積動作が完了した時点でリセットされます。

[出力保持]

「セット」で指定された接点は、アクショントリガが解除された時点でリセットされますが、出力保持を「する」に指定すると、アクショントリガが解除されてもリセットされません。

[リセット]

「セット」で指定された接点をリセットするときに使用します。 出力保持の設定にかかわらず、「リセット」で指定された接点が条件を満たすと「セット」で指定された接点 は必ずリセットされます。

注)本設定は、アクショントリガをデータの蓄積に使用した場合にのみ有効です。

データの収集途中でトリガ条件がリセットされた場合、完了フラグはリセットされません。(出力保持の 設定に関わらず) アクショントリガをデータ蓄積に使用する場合は、完了フラグがセットされてからトリガ条件をリセットする ようにしてください。

=指定番号のファイルをファイル化する=

指定番号のファイルをファイル化する 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

トリガ発生時、チェックの入った番号のファイルがファイル化されます。 ファイル設定で指定されたレコード数に満たない場合でも、トリガ発生によりファイルが生成されます。 PCWAY接続

トリガが発生したとき、PCWAYに接続するかどうかを設定します。



◆
 照:PCWAYへの接続について<8.1.2 PCWAYと接続する>

ユニット停止

警報のトリガが発生したときにユニットを停止させることができます。 「する」を選択したとき機能します。 (異常や復旧では動作しません)

各項目の設定が完了したら「設定」ボタンをクリックしてください。設定された内容が一時的に保存されま す。 【個】

71									
メインメニューに戻る		設定							
番号 名称	条件	メモリ	異常時間	警報時間					
設備1異常	累積ON時間 🖌 X 🖌	0 180	秒	600 秒					
ール送信設定									
メール送信	✔ 異常 ✔ 警報								
+ +	設備1で異常が発生	しました。							
X-NAX	至急チェックして下	至急チェックして下さい。							
添付ファイル	添付ファイルなし 🔽	添付ファイルなし 🔽							
メール送信先	グループ1(未登録) 🔽								
条件成立または警報時動	作設定								
	出力先 ビット 🔽	Y 🕶 0 ON	✔ 復旧時動作	発生前に戻す 🔽					
出力	リセット 🛛 🛃 💌	X 🕶 0 0N	×						
PCWAY接続	PCWAY接続する								
ユニット停止	する 💌	चेठे 💌							
データ収集/蕃積完了時の	の動作設定								
	セット しない 🗸	Y 🖌 🛛 OFF	▶ 出力保持	しない 🔽					
元了フラク設定	リセット しない 🗸	X V OFF	¥						
		設定							

設定が完了したら、DLUへ記録する作業に入ります。

③「メインメニューへ戻る」ボタンをクリックします。メインメニュー画面に戻ります。



設定が変更されていると、「設定が変更されています」という メッセージが点滅表示されています。

④「本体へ記録」ボタンをクリックすると メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックしてください。 設定された内容がDLUに記録されます。

⑤記録が正常終了すると、以下のメッセージが表示されます。

6.7.3 設定内容を一覧表示する

設定したアクショントリガの条件を一覧で見ることができます。

画面右下の「一覧」ボタンをクリックしてください。(例の場合、1と2にアクショントリガが設定されています) 【例】



クリックすると一覧画面が表示されます。上記の画面へ戻るには「設定」をクリックしてください。

	アクショントリガー覧											
メインメニューに戻る								19.2	1			
8 4	名称	条件		メール送信		発報先	出力	PCWAY 接続	停止			
1	設備1具業	黒積ON時間: X0 警報:180 秒 具常:600 秒	Ì#	設備1で具常が発生し ました。 至急チェッ	FILE1 (書種)	除偏管理者	Y D ON X D ON 発生前に戻す		73			
2	設備1停止	状態変化無し: ×0 OFF 智程:300 秒 異常:600 秒	警報 其來	設備1が停止している 可能性があります。	FILE2 (蓄積)	設備管理者	Y D ON リセットしない 発生前に戻す		Ltal)			

6.7.4 UPSを使用するときの設定について

DLUが運転モードでCFカードへアクセス(書き込み)中、停電等で電源断が発生すると、CFカードが破壊されてデータが読み出せなくなる可能性があります。 このため、CFカードをご使用になる場合はできるだけUPS(無停電電源)をご使用ください。

またUPSを使用する場合、UPSの停電報知信号をDLUに入力し、この信号をアクショントリガ機能で使用 することにより、停電時にSTOPモードへ移行するよう設定します。 これにより、停電時でも電源がバックアップされている間にDLUをSTOPモードへ移行させ、CFカードへ のアクセスを止めることでデータを保護することができます。

【例】報知信号をXOに入力する



注)STOPモードへ移行時、DLUはそれまでに蓄積したデータをCFに書き込みます。

次に、アクショントリガの設定例を示します。
【例1】

X0の立ち上がりを検出したらユニットを停止する。(STOPモードへ移行)

	アクショントリガ設定	
メインメニューに戻る	設定	
番号 名称	条件 状態 メモリ	
1 停電発生 接	点状態 ▼ ON ▼ X ▼ D	
メール 送信設定		
メール送信	☑メール送信する	
メール本文	停電が発生し、UPSのAC側電源断報知信号がONされました。	
添付ファイル	添付ファイルなし 💌	
メール 送信先	グループ1(設備管理者) ▼	
条件成立または警報時動作設定	Ē	
出力	出力先 しない ▼ DA ▼ OFF ▼ 復旧時動作 発生前に戻す ▼ リセット しない ▼ X OFF ▼	
PCWAY接続	■ 条件成立時にPCWAY接続する	
고드ット停止	する 💌	
データ収集/蓄積完了時の動作設定		
完了フラグ設定	セット しない Y OFF 出力保持 しない リセット しない X OFF	

但しこの場合、X0の立ち上がりが一瞬でも検出されるとアクショントリガが発生します。 X0の信号ラインにノイズ等が印可され誤動作する可能性もありますので、下記のように設定することも可能 です。

【例2】

	アクショントリガ設定
メインメニューに戻る	設定
番号 名称	条件 メモリ 状態 異常時間(秒) 警報時間(秒)
1 停電発生 状	態変化無し 🗸 🔽 0 ON 🔽 秒 1 秒
メール送信設定	
メール送信	□異常 ■ 警報
メール本文	停電が発生し、UPSのAC側電源断報知信号がONされました。 🤷
添付ファイル	添付ファイルなし 🔍
メール 送信先	グループ1 (設備管理者) 🗸
条件成立または警報時動作設定	
出力	出力先 しない ▼ DA ○ OFF ▼ 復旧時動作 発生前に戻す ▼ リセット しない ▼ × ○ ○ ○ ○ ○
PCWAY接続	□ PCWAY接続する
그드ット停止	する 💌
データ収集/蓄積完了時の動作	
完了フラグ設定	セット しない Y OFF 出力保持 しない リセット しない X OFF

この場合、X0のON状態が1秒続くとアクショントリガが発生します。

注1)STOPモードへの移行時にCFカードへの書き込み処理がおこなわれますので、UPSの電源バック アップ処理の時間を考慮してUPSの選定とアクショントリガの設定をおこなってください。

注2) UPS 自体が十分に充電されていない状態でAC側の電源が落ちる場合、電源のバックアップ時間が 短くなります。

アクショントリガの設定にご注意ください。(例2の設定)

6.8 その他の設定

本章ではエラー発生時のメール送信に関する設定や書き込みコマンドを禁止する設定などについて解説します。

エラー発生要因としては、以下のようなものが考えられます。

- ・外部機器のデータを収集中にエラーが発生。
- ・CFカード書き込み時にエラーが発生。
- ・電池電圧の降下。

注) 電池電圧の降下に関しては、電圧降下時にエラーとする/しないの設定をおこなうことができます。

6.8.1 エラー発生時のメール送信に関する設定をおこなう

【手順】

メイン画面の「設定」ボタンをクリックしてください。メインメニュー画面が表示されます。



①「基本設定」をクリックしてください。

②左側のメニューから「各種動作」をクリックしてください。

以下の画面が表示されますので、エラー発生時にメールを送信する場合は「送信する」にチェックを入れ てください。また、電池電圧降下時にエラーとする/しないの設定をおこなってください。

🗿 Web Datalonger 🎼 — Microso	oft Internet Explorer		
77イル(E) 編集(E) 表示(M) お気に)	<u>አፅው ৯-ኩው ለኩንው</u>		1
🌀 🕫 · 🕤 · 💌 🗟 🏠	🔎 検索 👷 おきりに入り 🥑	9547 🥝 🔗 🍓 🖼 · 🖬 🥸	
アドレス(1) 🔕 http://192.168.1.5/setup/ht	etfrane_jpn.htm	×	🛃 移動 リンク
■ 基本設定		各種動作設定	^
ネットワーク	ファイル 設定		
<u></u>	蕃荘ファイル動作設定		
<u>ジェマルアップ2</u> 芝 <u>イヤルアップ2</u> 著信接続	空き容量不足時動作	 ○新規ファイルを作成しない ○新規ファイルを作成してる(最もさいファイルを削除) 	
ITL	集計ファイル 動作設定		
3_n	月線均日	<u>B≢ ∨</u> B	
<u>911</u>			24.202
全統動作	ユニットエラー読定		
■救御設定	エラー時動作設定		
期間指定動作	x'-10	 ○送信しない) ○送信する 	
	エラーチェック項目設定		
■特殊用進	電池電圧の低下	 ○ チェックしない ○ チェックする 	
POWAY2346			
	メール逆信先設定	and a second	
メインメニューに戻る	エラー時動作・蓄払ファイル	添付メール送信先設定	
1	通信先ヴループ	グルーフ1(未登録) 💌	
	MEWTOCOL設定		
	サポートコマンド設定		
	*********	 ・・ ・・ ・・ ・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 	×
● ページが表示されました		📢 42/15	ネット

メールは以下の内容で送信されます。

タイトル: Syste	m mail 【先生日時】 【先生要因】
発生日時	(例)2004年8月25日13時15分30秒の場合
	[040825131530]
発生要因	エラー発生時:[Error]
	復旧時:[Normality]
本文	エラーコード
	添付ファイル:最新20レコード分のシステム履歴ファイル
	(20レコードに満たない場合も添付されます)

ᇊᇮᇉᆂᇚᆰ

③各項目の設定が完了したら「設定」ボタンをクリックしてください。設定された内容が一時的に保存され ます。

設定が完了したら、DLUへ記録する作業に入ります。

④「メインメニューへ戻る」ボタンをクリックします。メインメニュー画面に戻ります。



6.8.2 書き込みコマンドを禁止する

DLUはJavaアプレットを使用して、DLUの出力接点をONしたりアナログ出力エリアに対してデータを 設定したりすることができます。 これは設定により禁止させることができます。

メイン画面の「設定」ボタンをクリックしてください。メインメニュー画面が表示されます。

	D Datalogger mc.
■動作談	Ê
入出	<u>力</u>
722	1 <u>a2FUガ</u>
■ 恭末 陸	
(基本)	歳定)
-	1 12 16
210	-798
■その他	1
	THE CO. CO. N.
an JER	18.7717/18 H
	本体へ記録
	本体情報

①「基本設定」をクリックしてください。

②左側のメニューから「各種動作」をクリックしてください。

以下の画面が表示されますので、外部(Javaアプレット等)からのデータ書き込みを禁止する場合は、 「禁止する」を選択してください。

マイル学 単純な 参析以と入り後 シームグ ヘルプダ ● ● <	🗿 Web Dataloger 🕃 🖉 - Hiorosa	It Internet Explorer		E 🗗 🛛
・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	77イル(名) 編集(名) 表示(公) お知に?	and and an		<u>A</u> *
WWW Wheth/Walt Streetspretary WWW Wheth/Walt Streetspretary WWW Wheth/Walt Streetspretary ************************************	🔾 🖽 · 🐑 - 💌 😰 🏠	Dat 👷 ancho 🜒 star 🚱	8·2 0	
● 5452 中かつう メニサスト メスロスアニス スロステスト スロステスト スロステスト スロストラースライル動作設定 (中国の) (中国の)(中国作成方も)(低られいつ~(小動偶和)) ● 新聞 ● 「日本 ●	7F620 athtp://19216815/petup/ne	thane_joshtm		💌 🛃 1846 - 955 💌
キットワーク イーサネット ダイカルフェッカス 楽山政治 王文ム 空気 空	■8本段 <u>定</u>	ファイル設定		
3/17-3/1 2/17-3/1 2/17-3/1 2/17-3/1 3/17/1 2/17-3/1 3/17/1 2/17-3/1 3/17/1 2/17-3/1 3/17/1 2/17-3/1 3/17/1 2/17-3/1 3/17/1 2/17-3/1 3/17/1	2010-2010-201	蓄積ファイル動作設定		
単計201 単計2040年前記 単計201 用用の目 サニレ ユニットエラー設定 空気に加加 ユニットエラー設定 空気に加加 ○気能する 単数原本 空気の放下 ● 株用加 シェックス目読定 ビジェンゴ点 マール 送信先設定 ジンシュール ○気能する ジンシュール ○気能する ジンシュール ○気能する ジンシュール ○気能する ジンシュール ○気能する ジンシュール ジェックス目読定 ジンシュール ジェックス目読定 ジンシュール ジェックスする ジンシュール ジェックスする	7-17-2 <u>1-97-1</u>	空影容量不足時動作	○新規ファイルを作成しない ○新規ファイルを作成する(最も古いつァイルを解除)	
新田田 月末 ※日 第二日 月末 ※日 第二日 二二ットエラー政定 二二ットエラー政定 二二ットエラー政定 第二日 二二・十二〇一位位之い 第二日 二二・十二〇一位位之 第二日 二二・十二〇一位一位之 第二日 二二・十二〇一位一位之 第二日 二二・十二〇一位一位之 第二日 二二・十二〇一位一位之 第二日 二二・十二〇一位一位之 第二日 二二・十二〇一位一位之 第二日 二二・十二〇一位二 第二日 二二・十二 第二日 二二 第二日 <td>3-(71/7972</td> <td>集計ファイル動作設定</td> <td>Westerne -</td> <td></td>	3-(71/7972	集計ファイル動作設定	Westerne -	
シビーン シビーン	着信接続 モデム	用總約日	月末 一日	
単量 空気振動 エラー目的合数定 ■ 転気振動 デラーデェック気目数定 ■ 時気振動 空気電気気下 ● 空気気気気 デテーデェック気目数定 ● 空気気気気 デテーデェック気目数定 ● ジェックブス目数 マチェックブス目数に ● ジェックブス目数 マチェックブス目数 ● ジェックブス目数 マチェックブス目数 ● ジェックブス目 マチェックブス目数 ● ジェックブス目 マチェックブス目数 ● ジェックブス目 マチェックブス目 ● ジェックブス目 ジェックブス ● ジェックブス シェーク ● ジェックブス ● ジェックブス ● ジェックブア ● ジェック ● ジェック ● ジェックブ ● ジェック ● ジェックブ ● ジェック ● ジェック	x-k	ユニットエラー設定		
Submin シール ① 増換ない 当該意味他店 第二ラーチェック集日設定 管理電磁版下 ① チェックびは ● 特殊用は ジール送信先設定 シンシムン対応 ジール送信先設定 オール送信先設定 芝信先ジループ グインエューに供る シーレンジーに支空 レビアレージ ジループ1(未放金) × レビアレージ ジループ1(未放金) × ビアレージ ジループ1(未放金) ×	<u>Phit</u>	エラー時動作設定		24
■ 転換設計	<u>Similar</u>	×-1.	③世紀(44) ○世紀(45)	
 ・設計算法批注 ・設計算法用 ・注意 ・注意 ・注意 ・注意 ・注意 ・注意 ・上述 ・注意 ・ ・ ・	■紅張設定	エラーチェック項目決定		
■特殊用論 POWAr2102	的复数发展的	THREAMF	07190501	
MUMACIDIZ メインル送信先決定 メインメニューに供る メインメニューに供る MENTOCOL 決定 プターニコマンドはた ジャイン クループ1(未安余) マン MENTOCOL 決定 プターニコマンドはた ジャイン クループ1(未安余) マン ジャイン クループ1(ホ安余) マン ジャイン	■特殊用油 		10000000	
	POWAY2102	メール 連信先設定		
メインメニューな供る メインメニューな供る MENTOCOL設定 サポートコマンド設定 参加シスコマンド 必定 総定		エラー時動作・蓄積ファイル	^{業付メール 送信先設定}	
メインズニューに供る MEWTOCOL設定 サポートコマンド設定 ②許可する 参加公共コマンド ③許可する 参加公共の日本 ③第二十四		文祖先5ルー5	9ル-21(未立前) ▼	
	312321-CM0	MEWTOCOLIE		
都市 都市 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		サポートコマンド決定		
(BE)		##328-372F	 ○許可すち ○常止すち 	
「読定				_
			(終定)	
				2



◆ ● 照:<9章 モニタ部品を使用して、DLUモニタ画面を作成する>

③各項目の設定が完了したら「設定」ボタンをクリックしてください。設定された内容が一時的に保存され ます。

設定が完了したら、DLUへ記録する作業に入ります。

④「メインメニューへ戻る」ボタンをクリックします。メインメニュー画面に戻ります。



6.8.3 ユニットの状態を確認する

DLUのステータスを確認できます。

メイン画面の「設定」ボタンをクリックしてください。メインメニュー画面が表示されます。



🗿 Web Datalogger 設定 - Micr	osoft Internet Explorer	
ファイル(E) 編集(E) 表示(W) お気に入り(A) ツール(D) ヘルブ(H) 構		
🌀 戻る • 🕥 · 💌 📓 🤅	分 № 検索 ☆お気に入り ● メディア €) 🖉 🍓 🖾 🦷
アドレス(D) (192.168.1.5/setup	o/operateframe_jpn.htm	💌 🛃 移動 リンク 🎽
■ユニット排作	運転・停止操作	
運転・停止	Web Datalogger	
ファイル削除	停止中	
	運転(停止)	
リアームウェアの更新		
設定を初期値に戻す	データバッファ操作	
ネットワークテスト	初期化	
■ステータス	2	
2〒-92表示		
メインメニューに戻る		
2 ページが表示されました		● インターネット

②左側のメニューから「ステータス表示」を クリックしてください。

🕗 Web Datalogger 設定 - Microsoft In	nternet Explorer	- 🗆 ×
ファイル(E) 編集(E) 表示(⊻) お気	死に入り(金) ツール(① ヘルプ(出)	10
や戻る・→・◎ ◎ △ ◎	株常 国お気に入り 雪がら ア ③ ④ 二 6 道 国 19 0 9 9 10	
アドレス(D) (133254.83.190/s	setup/operateframe_ipn.htm	@移動
リンク 🛃 Hotmail の無料サービス 👩	Microsoft 🜒 Windows Update 🜒 Windows メディア 🜒 Windows 🜒 インターネットの開始 🕘 チャンネル ガイド 🌒 ベスト Web	**
■ユニット操作 <u>運転・停止</u>	ステータス表示	
ファイルダウンロード ファイル剤隆	本作 動作モード 停止中	
<u>ファームウェアの更新</u>	エラー エラーコード 0	
設定を初期値に戻す	アクショントリガ	
■ステータス	間が王中和。 CF部計	
ステータス表示	会計サイズ 121MB 使用サイズ 2MB	
	空きサイズ 119MB	
メインメニューに戻る	更新	
ページが表示されました	11 🖉 インターネット	1.

ステータス表示画面では、本体動作モード、エラーコード、動作中のアクショントリガNo.、CFカードの容量が確認できます。

タイトル項目:本体

項目名	内容
運転モード	本体の動作モード(運転中/停止中)を表示します。

タイトル項目:エラー

項目名	内容
エラーコード	現在発生中エラーのエラーコードを表示します。
	0の場合は、エラーなしです。

◆ 療 照:<11.3 エラーコード一覧>

タイトル項目:アクショントリガ

項目名	内容
エラーコード	現在動作中のアクショントリガNo.を表示します。

タイトル項目:CF容量

(CFカードが挿入されている場合)

項目名	内容
合計サイズ	CFカードの全容量をMbyte単位で表示します。
使用サイズ	CFカードの使用容量をMbyte単位で表示します。
空きサイズ	CFカードの残り空き容量をMbyte単位で表示します。
	ただし、CFカードの残り空き容量の空きサイズが1MB以下の場合、Mbyte単位で赤
	字で表示します。

(CFカードが挿入されていない、またはCFカードにアクセスできない場合)

項目名	内容
合計サイズ	赤字で"CF card access error"が表示されます。
使用サイズ	表示されません。
空きサイズ	表示されません。

6.8.4 ネットワークを確認する

DLUを設置したネットワーク環境下で通信テスト(ネットワーク接続テスト、メール送信テスト、PCWAY接続テスト)が出来ます。

通信テストをするためには、あらかじめ通信設定をおこなう必要があります。

【手順】



🙆 Web Datalogger 設定 - Micro	osoft Internet Explorer
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気	ミに入り(A) ツール(D) ヘルプ(H) 🥂 🥂
😋 戻る - 🕥 - 💌 🛃 🦿	👌 🔎 検索 🌪 お気に入り 🔮 メディア 🥝 🔗 🌺 🚍 🎽
アドレス(D) 🥘 http://192.168.1.5/setup)/operateframe_jpn.htm 🛛 🔽 移動 リンク 🎽
■ユニット操作	運転-停止操作
運転・停止	Web Datalogger
<u>ファイルダウンロード</u> ファイルダウンロード	停止中
	運転」停止
<u>ファームウェアの更新</u>	
設定を知趣値に更す	データバッファ操作
and Chinesters	データバッファの初期化
<u>ネットワークテスト</u>	初期化
■ステータス	
人工一名人表示	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
メインメニューに戻る	
ページが表示されました	1 😰 129-ネット .:

②左側のメニューから「ネットワークテスト」をクリックしてください。

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気(こんり(タ) ツール(① ヘルプ(出)	
🌀 R3 • 🔘 · 💌 📓 🎸	🖉 🔎 検索 🧙 お気に入り 🜒 メディア 🥝 🍰 🍓 🧔	
アドレス(型) (133.254.83.192/se	tup/operateframe_jpn.htm 🕑 🔁 1840	150 »
■ユニット抹作	ネットワークテスト	
運転・停止	ネットワーク確認	
ファイルダウンロード ファイル剤(Sk)	通信テスト	
	接続テスト	
<u>ファームウェアの更新</u>	接続先IPアドレス 192.168.1.2	
設定を初期値に戻す	接続先术一卜番号 9094	
ネットワークテスト	未接続	
	接続 切断	
人ナータス		
<u>ステータス表示</u>	メールテスト	
	メール送信先 グルーブ1(未登録) マ	
メインメニューに戻る	メール送信テスト	
	POWAYテスト	
	4天態難22	
	PCWAY721	
	PCWAYŦスト	
	PCWAYŦZŀ	

【内容】

3つの通信と現在のDLUのネットワークの設定をネットワークテスト画面から確認します。

- 1. ネットワーク接続テスト
- 2. テストメール送信
- 3. PCWAY接続テスト
- 4. ネットワークの設定確認

1. ネットワーク接続テスト



接続先の機器と接続可能であることを確認できます。

接続先IPアドレスの接続先ポート番号に対してDLUから接続をします。接続後は自動で通信は切断されます。

【 例】メールサーバーとの接続確認

接続先IPアドレスにメールサーバのIPアドレス、接続先ポート番号(通常は25)を設定して接続ボタンを 押してください。

- 正しく接続できた場合は「接続OK」が表示されます。
- 接続できなかった場合は「接続NG」が表示されます。
 その場合、DLUの設定、接続先の状態、ネットワーク経路の状態をご確認ください。

2. テストメール送信

	メールテスト	
メール送信先	グループ1 (dlu_gr) 💉	通信状態が表示されます。
状態確認	送信中	
×	ール送信テスト	

メール送信先にテストメールを送信します。

基本設定にてメールの設定、ユーザー登録、グループ設定でメール送信先の登録を行った後、メール送信先を選択し、「メール送信テスト」をクリックしてください。

メールサーバにメールが送れた場合は、送信通信状態は「送信完了」になります。 メールサーバにメールが送れなかった場合は、送信通信状態は「送信エラー」になります。 この場合は、ステータス表示画面でエラーコードをご確認ください。 「送信完了」が表示されたがメールが届かない場合は、メール送信先に設定したメールアドレス、または、メ ールサーバのセキュリティ、受信するPCのメーラーの設定をご確認ください。

メール送信に時間がかかる場合があります。この場合は、通信状態は「送信中」が表示されます。

しばらくしてから状態確認ボタンをクリックして通信状態をご確認ください。 DLUが送信するメールの内容はタイトル: "Test mail [--(日時)--]"、本文: "Test Mail"です。

3. PCWAY接続テスト

P	CWAYテスト		
状態確認	接続サーバ1 ポート1 接続NG 接続サーバ1 ポート2 接続NG 接続サーバ2 ポート1 接続NG 接続サーバ2 ポート1 接続NG 接続サーバ3 ポート1 接続NG 接続サーバ3 ポート1 接続NG	-	━━━ 通信状態が表示されます。
	PCWAYテスト		

PCWAY接続テストをおこないます。

PCWAY対応設定画面にて各設定をおこなってください。設定した接続サーバに対して接続を行います。 接続サーバ1から順番に接続を行います。接続サーバに接続失敗した場合は、「接続NG」が表示されま す。接続が成功したら「接続OK」が表示され以降の接続サーバには接続テストをおこないません。

	PCWAYテスト
状態確認	接続中
	PCWAY721

PCWAYテストに時間がかかる場合があります。この場合は、通信状態は「接続中」が表示されます。しばらくしてから状態確認ボタンをクリックして通信状態をご確認ください。

4. ネットワークの設定確認

	ネットワークテスト		
	(ネットワーク確認	
	通信テスト		
	接続テスト		
接続先IPアドレス	192.168.1.2		
接続先ポート番号	9094		
	未接続		
	(14.14) (1-114)		
-		and and and and a	
http://192.168.1.8	ō/setup/networkstatus	.cgi – Microsoft (
	ナットローク政策		
	イクトワーク電量		
			見しる
■ 수 년 □ /ə/##2			閉じる
■ネットワーク情報 一	/	おイヤルマッ	<u>閉じる</u>
■ネットワーク情報 項目	イーサネット 19216815	ダイヤルアッ 1921681005	<u>閉じる</u> ブ
■ネットワーク情報 項目 IPアドレス サブネットマスク	イーサネット 1921681.5 2552550	ダイヤルアッ 192168100.5 2552552550	<u>閉じる</u> ブ
■ネットワーク情報 項目 IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイ	イーサネット 1921681.5 255.255.255.0 1921681.1	ダイヤルアッ 192.168.100.5 255.255.255.0	見じる
■ネットワーク情報 項目 IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイ ブライマUDNS	イーサネット 1921681.5 255.255.255.0 1921681.1 1921681.10	ダイヤルアッ 192.168.100.5 255.255.255.0	ほじる.
■ネットワーク情報 項目 IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイ ブライマリDNS セカンダリDNS	イーサネット 1921681.5 255.255.255.0 1921681.1 1921681.10	ダイヤルアッ 192.168.100.5 255.255.255.0	日じる ブ
■ネットワーク情報 項目 IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイ ブライマリDNS セカンダリDNS	イーサネット 19216815 2552552550 1921681.1 192168.1.10	ダイヤルアッ 192168100.5 255.255.255.0	<u>目にる</u> ブ
 ネットワーク情報 項目 IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイ ブライマリDNS セカンダリDNS メール設定情報 項目 	イーサネット 1921681.5 255255255.0 1921681.1 192168.1.10	<u>ダイヤルアッ</u> 192.168.100.5 255.255.255.0	<u> 目じる</u> ブ
■ネットワーク情報 項目 IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイ ブライマリDNS セカンダリDNS ■メール設定情報 項目 接続ネットワーク	イーサネット 1921681.5 255255.255.0 1921681.1 192.168.1.10	<u>ダイヤルアッ</u> 192.168.100.5 2255.255.255.0	<u>目にる</u> ブ
■ネットワーク情報 項目 IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイ ブライマリDNS セカンダリDNS ■メール設定情報 項目 接続ネットワーク SMTPサーバ	イーサネット 1921681.5 255255255.0 1921681.1 192168.1.10 イーサネット smtp.mail.co.jp	<u>ダイヤルアッ</u> 192.168.100.5 2255.255.255.0 読定値	<u>閉じる</u> ブ
■ネットワーク情報 項目 IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイ ブライマリDNS セカンダリDNS メール設定情報 項目 接続ネットワーク SMTPサーバ メールアドレス	イーサネット 1921681.5 255255255.0 1921681.1 192168.1.10 イーサネット smtp.mail.co.jp dlu@mail.co.jp	<u>ダイヤルアッ</u> 192.168.100.5 255.255.255.0 読定値	<u>目にる</u>

「ネットワーク確認」をクリックしてくだ さい。

						開じ
■ネットワ	ーク情報					
	項目		イーサネット		ダイヤルアップ	9
IPアドレフ	ζ	192.168.1	1.5	192.10	68.100.5	
サブネッ	トマスク	255.255.2	255.0	255.25	55.255.0	
ゲートウ	I1	192.168.1	1.1			
フライマ	UDNS	192.168.1	1.10			
セカンタ	UDNS					
■メール酸	定情報					
	項目			設定値		
接続ネット	ワーク	イーサネット				
SMTPサ	-15	smtp.mail.co.jp				
メールア	ドレス	dlu@ma	il.co.jp			
DOWAVE	「 ルーー」」)まま 日					
POWAT	決定 憤報			湯合体		
接結さった	現日	<	Zach	款進世		
1800年101 1865年1日。		1 94	- 21			_
11	If)÷	ボー	F1	ポート2	
0	192.168.1.11		9001		9002	
1	192.168.1.12		9001		9002	
2	192.168.1.13		9001		9002	
3	192.168.1.14		9001		9002	

現在のDLUのネットワーク設定を別画面で確認することができます。

. 2

ご注意:

ダイヤルアップ接続中は、ダイヤルアップ先とのやり取りで獲得した通信設定を表示します。着信 接続設定画面にて「着信を許可する」を未選択で、ダイヤルアップで接続中でない場合は、表示 されません。

6.9 設定内容の保存

DLUに設定されたデータは、ファイル化してパソコン上に保存することができます。 またこのファイルをブラウザで読み込んで、DLUに転送することもできます。 次にこれらの手順を示します。

6.9.1 設定内容をファイルに保存する



ご注意:1. 設定ファイルには「Settingdata. wdl」という名前が自動で割り当てられます。複数の設定

内容を保存する場合は「Settingdata_1.wdl」など別の名前にリネームしてください。 2.保存の作業は3分以内に終了してください。3分以上経った場合は、①からやり直してくだ さい。

【手順】

メイン画面の「設定」ボタンをクリックしてください。メインメニュー画面が表示されます。



③ファイル選択	l画面から「Se	ttingdata. wdl」を追	選択して「開く」をクリッ	クしてください
ファイルの選択				22
ファイルの場所の	☞ □ーカル ディスク) (C)	• 🖬 😁 🔹	
			Settinedata	wdl
最近使ったファイル				
デスクトップ				
\bigcirc				
۲۲ ۴۶۱ ۱۷۶				
71 J/L1-3				
マイ ネットワーク	<		111	>
	ファイル:名(11):	Settingdata.wdl		lik@>
	ファイルの種類①	すべてのファイル (*.*)		キャンセル

設定内容ファイル保存 メインメニューに戻る PC> Web Datalogger ファイル C:WSetWiteGata.wdl 参照 設定 Web Datalogger> PC ファイルの保存	④選択されたファイル名が表示されます ので「設定」をクリックしてください。
設定内容ファイル保存 メインメニューに戻る PC> Web Dataloccer ファイル C:¥Settinedata wdl 登照 設定 設定ファイル 転送中です。 電波を切断しないでください。	⑤設定データがDLUに転送されている 間、下記画面が表示されます。
Web Datalogger> PC ファイルの保存 PC> Web Datalogger ファイルをユニットに転送しました。 OK	⑥設定データの転送が完了しました。

「OK」をクリックすると、メインメニュー画面に戻ります。

ここがポイント!:この時点で設定データはDLUに一時保存されていますが、電源を切ると転送された 設定内容は消去されてしまいます。

設定内容を保存する場合、必ず⑦の手順を実行してください。



- 1. ③でファイルを選択する際、DLUの設定ファイルかどうかのチェックはおこなっておりません。 (転送されてからDLU本体がチェックします)
- 2. 設定ファイルでないものを転送した場合、以下のメッセージが表示されます。 (転送されたファイルは破棄されます)





⑦設定が変更されていると、「設定が変更されています」というメッセ ージが点滅表示されています。

⑧「本体へ記録」ボタンをクリックすると メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックしてください。 設定された内容がDLUに記録されます。

⑨記録が正常終了すると、以下のメッセージが表示されます。

6.9.3 設定内容を初期化する

設定された内容を工場出荷状態へ戻すには、設定の初期化をおこないます。

【手順】 メイン画面の「設定」ボタンをクリックしてください。メインメニュー画面が表示されます。 Web Datalogger 設定メインメニュー ■動作設定 入出力・収集 アクショントリガ ■基本設定 基本論定 ユーザ登録 ①「ユニットの操作」をクリックしてください。 その第 ユニット操作 本体へ記録 本体情報 ログアウト ■ユニット操作 運転・停止 ファイル削除 <u>ファームウェアの更新</u> ②左側のメニューから「設定を初期値に戻 設定を初期値に戻す す」をクリックしてください。 ■ステータス <u>ステータス表示</u> メインメニューに戻る 設定値初期化 設定を初期値に戻す ③「初期化」をクリックしてください。 初期化 □ネットワーク設定を初期化しない Microsoft Internet Explorer × ④確認ダイアログが表示されますので「OK」 全ての設定を初期値に戻します。 よろしいですか? ? をクリックしてください。 OK キャンセル

『谷戸 ご注意:

「ネットワーク設定を初期化しない」にチェックを入れた状態で初期化を実行すると、DLUのIPアドレス, サブネットマスク,ゲートウェイの情報は初期化されません。(確認メッセージが以下のようになります)

Microso	ft Internet Explorer	×
2	IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ以外の設定を初期値に戻します よろしんですか? OK キャンセル	\$.

⑤初期化が完了すると、以下の画面が表示されます。



7章

ユニットの運転とモニタ

7.1 ユニットを運転モードにする

本体, 増設ユニット, または外部機器のデータを収集/蓄積するためにはDLUを運転モードにする必要があります。

DLUは運転モードに切り替わると、設定された内容に従って各種データを収集/蓄積しファイルに記録します。

またアクショントリガ機能を使用するためには、DLUを運転モードにする必要があります。

7.1.1 ユニットを連続運転させる

以下の手順でDLUを運転モードに切り替えることができます。 この方法で切り替えた場合は、停止モードに切り替えるまで運転モードを継続します。



①「ユニット操作」をクリックしてください



7.1.2 期間を指定して運転させる

DLUは期間を指定して運転させることができます。 期間の指定には以下の2通りの方法があります。

1. 開始と終了の年月日時分を指定する。(指定期間動作)

例) 2004年7月1日9時30分に運転を開始して、2004年7月30日21時0分に停止させる。

2. 開始と終了の時分を指定する。(指定時間動作)

例)08時00分に運転を開始して17時30分に運転を停止する。 (毎日実行されます)

Ĩ	Web Datalogger 設定メインメニュー
	■動作設定
	入出力・収集
	■基本論定
	基本論定
	クループ登録
	■その絶
	ユニット操作
	SAFETH ZZ LAVISH
	本体へ記録
	本律情報
	ログアウト

①「基本設定」をクリックしてください。

②左側のメニューから「期間指定動作」をクリックしてください。

🗿 Web Datalogger 設定 - Microsoft Internet Explorer 🛛 🔲 🔲 🔀
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H) 🥂 🦓 🥂
③ 戻る · ② · 丞 ② ☆ ◇ 検索 ☆ お気に入り ④ メディア ④ ◎ · ◎ · ◎ · □ ▲
アドレスD 🥘 http://192.168.1.5/setup/netframe_jpn.htm 🛛 🔽 🄂 移動 リング
■基本設定期間指定動作設定
ネットワーク 期間指定動作 ダイヤルアップ1 動作モード ダイヤルアップ2 動作モード 著信接続
<u>メール</u> 時計 各種動作
■拡張設定
■特殊用途
PCWAY対応

【1の手順】

【2の手順】

③動作モードを「指定期間動作」に変更します。 期間指定動作設定



訪作モード	指定期間動作 ⊻
開始年月日	2004年7月1日 9時30分
終了年月日	2004 年 7 月 30 日 21 時 0 分

	-		<u>ا</u>	
	26 - 2	-		
1.8	12 J.	-		

③動作モードを「指定期間動作」に変更します。
期間指定動作設定

動作モード	指	定時間	副動作	*	
開始時間	0	時	0	分	
終了時間	0	時	0	分	

設定

ſ

④開始時間と終了時間を設定し「設定」ボタンを クリックします。

設定された内容が一時的に保存されます。 期間指定動作設定

動作モード	指注	定時間	動作	~
開始時間	8	時	0	分
終了時間	17	時	30	分

設定

設定が完了したら、DLUへ記録する作業に入ります。

④「メインメニューに戻る」ボタンをクリックします。メインメニュー画面に戻ります。 Web Datalogger 設定メインメニュー



設定が変更されていると、「設定が変更されています」というメッセージが点滅表示されています。

⑤「本体へ記録」ボタンをクリックすると メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックしてください。 設定された内容がDLUに記録されます。

⑥記録が正常終了すると、以下のメッセージが表示されます。

設定された日時(時間)になるとDLUは自動で運転モードに切り替わります。



- ・開始年月日が終了年月日より後に設定されるとエラーとなります。
- ・年月日(時)が入力された状態で時分(分)が空白の場合、空白は自動で0が設定されます。
- ・開始年月日時分(開始時間)にDLUが既に運転モードの場合、DLUはそのまま運転を続けて 停止年月日時分(停止時間)になると停止されます。

7.2 蓄積ファイルの確認

DLUは運転モードに移行すると、設定された内容に従ってデータの蓄積とファイルへの書き込みをおこないます。ここでは蓄積ファイルの確認方法について解説します。

【例】DLUに設定をおこない運転モードに切り替えた場合を説明します。

参 照:<6.4.1 本体の設定をおこなう>

【蓄積ファイルの設定】

番号	ファイル名	データ種別	蕃積周期	レコード数	世代数	メール送信
1	FILE1	内部	19	600	60	しない
2	FILE2	外部 提点(変化)		60	2	しない
3	FILE3	内部接点(周期)	30秒	600	60	しない
4	FILE4	外部 撤点(周期)	10秒	60	2	しない
5	FILE5	内部パルス	30秒	600	60	しない
6	FILE6	外部パルス	30#6	60	2	Ltall

【本体の設定】

メモリ	名称	用途	内容	格納ファイル
XQ	DLUXO	接点	累積開閉回数: OFF->ON	FILE1(変化)
<u>X1</u>	DLU_X1	接点	累積開閉回数: OFF->ON	FILE3(問期3秒)
<u>x2</u>	DLU_X2	バルス	換算:する 10.00ml/Pulse カウント条件:OFF->ON	FILE5(周期5秒)
X3	DLU_X3	パルス	換算:する 0.10kwh/Pulse カウント条件:OFF->ON	FILE5(周期5秒)

7.2.1 蓄積ファイルが生成されるタイミングについて

運転モード中に収集されたデータは、DLU内部に一時保存されます。

このデータは以下の条件により、指定された保存先(内部メモリまたはCFカード)へファイルとして出力されます。

ファイルタイプ	ファイル生成条件
蓄積ファイル	・指定レコード分蓄積されたとき
	・60レコード分蓄積されたとき
	・運転モードから停止モードへ移行されたとき
	・CFカードカバーを外したとき
	・アクショントリガで指定されたとき
集計ファイル	・蓄積データが1時間分集計されたとき
	・蓄積データが1日分集計されたとき
	・蓄積データが1ヶ月分集計されたとき
	・CFカードカバーを外したとき
システム履歴	・履歴が16レコード分蓄積されたとき
	・運転モードから停止モードへ移行された
	・CFカードカバーを外したとき
アクショントリガ履歴	・履歴が16レコード分蓄積されたとき
	・運転モードから停止モードへ移行されたとき
	・CFカードカバーを外したとき

またDLUの電源がONになった時、まだファイル化されずにメモリに残っているデータがある場合、 保存されている最新のファイルはリネームされます。

【例】CFに保存された「FILE1」が以下のように構成されている場合、電源ON時に次のようになります。



【手順】



①「ユニット操作」をクリックしてください。

②左側のメニューから「ファイルダウンロード」をクリックしてください。 「ファイルダウンロード設定」画面が表示されますので、FILE1の部分をクリックしてください。

🗿 Web Datalogger 設定 - Micro	osoft Internet Explorer	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気	(に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)	
🌀 ēzā 🔹 🌍 🔹 🛃 🌔	🏠 🔎 健素 🌟 ክ気に入り 🜒 メディア 🥝 🎯 🍓	🔄 - 🖪 🔏
アドレス(1) 🕘 http://192.168.1.5/setup	o/operateframe_jpn.htm	🔽 🛃 移動 リンク
■ユニット操作	ファイルダウンロード設;	 定
週記 停止 ファイルダウンロード	蓄積ファイル	
22 170 1998	保存先	コンパクトフラッシュ 💌
<u>ファームウェアの更新</u>	ダウンロードファイル	
	ファイル名	内容
設定を初期値に戻す	¥History¥System¥System[CURRENT].csv	システム履歴
27-42	¥FILEI¥L08¥FILEI[=====GURRENI=====]csv ¥FILEI¥TotsI¥Hour¥FILEI Hour[=====CURRENT=====]csv	審査プログ
	¥FII F1¥Total¥Dav¥FII F1 Dav[CIIBBENT]csv	(年計データ(日)
ステータス表示	¥FILE3¥Log¥FILE3[CURRENT]csv	蓄積データ
	¥FILE3¥Total¥Hour¥FILE3 Hour[CURRENT].csv	集計データ(時)
	¥FILE3¥Total¥Day¥FILE3_Day[CURRENT].csv	集計データ(日)
	¥FILE5¥Log¥FILE5[CURRENT].csv	蓄積データ
3173_1-LEES	¥FILE5¥Total¥Hour¥FILE5 Hour[CURRENT].csv	集計データ(時)
	¥FILE5¥Total¥Day¥FILE5_Day[CURRENT]csv	集計データ(目)
ê		S 12157.91

マイル(E) 編集(E) 表示(V)	お気に入り	(A) ツール(T)	ヘルプ(<u>H</u>)					
• 🔊 • 🜔 • 💌 💈	6	🔎 検索 ☆	お気に入り 🄇	き メディア	🛛 🖉	. 🔄 • 💽	28	
レス(D) 🕘 http://192.168.1.5/s	etup/opera	ateframe_jpn.htm						移動し
ALC: Markey		A1	•	= Date				
ユニット操作		A	В	С	D	E	F	G
100+- / I	1	Date	Time	X00				
<u>2里郫江 1 伊山上</u>	2			DLU_X0				
<u>ファイルタワンロード</u>	3				US32	US32	US32	
ファイル削除	4				Sec.	Sec.	Times	
	5			Status	Interval time	Total ON time	Total SW times	
<u>ファームワェアの更新</u>	6	2004/9/15	9:24:31	OFF	2	18365	9180	
	7	2004/9/15	9:24:34	ON	3	18365	9181	
設定を初期他に戻す	8	2004/9/15	9:24:36	OFF	2	18367	9181	
and and	9	2004/9/15	9:24:39	ON	3	18367	9182	
ステータス	10	2004/9/15	9:24:41	OFF	2	18369	9182	
	11	2004/9/15	9:24:44	ON	3	18369	9183	
ステータス表示	12	2004/9/15	9:24:46	OFF	2	18371	9183	
	13	2004/9/15	9:24:49	ON	3	18371	9184	
	14	2004/9/15	9:24:51	OFF	2	18373	9184	
	15	2004/9/15	9:24:54	ON	3	18373	9185	
メインメニューに戻る	16	2004/9/15	9:24:56	OFF	2	18375	9185	
	17	2004/9/15	9:24:59	ON	3	18375	9186	
	18	2004/9/15	9:25:01	OFF	2	18377	9186	
	19	2004/9/15	9:25:04	ON	3	18377	9187	
	20	2004/9/15	9:25:06	OFF	2	18379	9187	
	21	2004/9/15	9:25:09	ON	3	18379	9188	
	22	2004/9/15	9:25:11	OFF	2	18381	9188	
	23	2004/9/15	9:25:14	ON	3	18381	9189	
	24	2004/9/15	9:25:16	OFF	2	18383	9189	
	25	2004/9/15	9:25:19	ON	3	18383	9190	
	26 ◀ ◀	2004/9/15 ▶ N\.csv]FIL	9:25:21 _E1[OFF JRRENT-	2	18385	9190	•
ページが表示されました							イントラネット	

③蓄積された内容が表示されます。(設定により、FILE1には入力XOが登録されています)

[その他]FILE5の部分をクリックしてください。

蓄積された内容が表示されます。(設定により、FILE5には入力X2とX3が登録されています)

🗿 Web Datalogger 設定 - Micr	osoft	Internet Exp	lorer						
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) おき	気に入り	(<u>A</u>) ツール(<u>T</u>)	ヘルプ(円)						1
🔇 戻る • 🔘 · 💌 🙎 🔇	۵.	🔎 検索 🤺	お気に入り 🌘	メディア	0 🔗 d	- 🖬 🌜	🗄 🔏		
アドレス(D) 🍓 http://192.168.1.5/setu	p/opera	ateframe_jpn.htm							移動 リンク
And the second s		A1	•	Date =					
■ユニット操作		Α	В	С	D	E	F	G	нт
	1	Date	Time	X02	X03				
	2			DLU_X2	DLU_X3				
	3			FLT	FLT				
ファイル削除	4			ml	kwh)		
	5	2004/9/15	9:24:30	5.00E+01	2.00E-01				
<u>ファームリェアの更新</u>	6	2004/9/15	9:24:35	5.00E+01	3.00E-01				
	7	2004/9/15	9:24:40	5.00E+01	2.00E-01				
設定を初期他に戻す	8	2004/9/15	9:24:45	5.00E+01	3.00E-01		1		
	9	2004/9/15	9:24:50	5.00E+01	2.00E-01				
	10	2004/9/15	9:24:55	5.00E+01	3.00E-01				
	11	2004/9/15	9:25:00	5.00E+01	2.00E-01				
人ナージム表示	12	2004/9/15	9:25:05	5.00E+01	3.00E-01				
	13	2004/9/15	9:25:10	5.00E+01	2.00E-01				
	14	2004/9/15	9:25:15	5.00E+01	3.00E-01				
	15	2004/9/15	9:25:20	5.00E+01	2.00E-01				
メインメニューに戻る	16	2004/9/15	9:25:25	5.00E+01	3.00E-01				
	17	2004/9/15	9:25:30	5.00E+01	2.00E-01				
	18	2004/9/15	9:25:35	5.00E+01	3.00E-01				
	19	2004/9/15	9:25:40	5.00E+01	2.00E-01				
	20	2004/9/15	9:25:45	5.00E+01	3.00E-01				
	21								
	22								
	23								
	24				1				
	25				1				
	26								· · · · · ·
		M N. <u>csv</u> FIL	_E5[CI	URRENT-	<u>_</u> /	11			• 1
ページが表示されました								🚽 イントラネッ	۱ ۲ - ۱

ŝ.

ご注意:

¥History¥System¥System[----CURRENT----]. csvは システム履歴ファイルです。

☞ 参 照:<7.2.5 システム履歴ファイルについて>

CFカード(または内部メモリ)に生成された蓄積ファイルはダウンロードすることができます。 対象となるファイルを右クリックして「対象をファイルに保存」を選択しダウンロードを実行してください。

ファイルダウンロード設定

蕃積ファイル		- 1.025		
保存先		コンパクトフラッシュ 💌		
ダウンロードファイル				
ファイル名	NAMES OF TRADE	内容		
¥History¥System¥System[(OURRENT].csv	システム履歴		
¥FILE1¥Log¥FILE1[CURR ^E		蕃積データ		
¥FILE1¥Total¥Hour¥FILE1 Hour	「第1、12/ 新しいウインドウで閉((N)	集計データ(時)		
¥FILE1¥Total¥Day¥FILE1 Day[-	対象をファイルに保存(A)	集計データ(日)		
¥FILE3¥Log¥FILE3[CURR	対象を印刷(P)	蓄積データ		
¥FILE3¥Total¥Hour¥FILE3 Hour	±ภท∎ิฑท(т)	集計データ(時)		
¥FILE3¥Total¥Day¥FILE3 Day[-	⊐Ľ−(C)	集計データ(日)		
¥FILE5¥Log¥FILE5[CURR	ショートカットのコピー(工)	蓄積データ		
¥FILE5¥Total¥Hour¥FILE5 Hour	貼り付け(<u>P</u>)	集計データ(時)		
¥FILE5¥Total¥Day¥FILE5 Day[-	お気に入りに追加(<u>E</u>)	集計データ(日)		
	プロパティ(<u>P</u>)			

7.2.4 蓄積ファイルを削除する





①「ユニット操作」をクリックしてください。

②左側のメニューから「ファイル削除」をクリックしてください。

「ファイル削除設定」の画面が表示されますので、削除するファイルのチェックを入れてください。

🛃 Web Datalogger 設定 - Micro	osoft Internet Explorer			
ファイル(E) 編集(E) 表示(⊻) お気	€に入り(A) ツール① ヘルプ(H)			
🔇 戻る • 🚫 · 💌 🛃 🦿	♪ ♪ ☆ お気(こ入り ● 、メディア ● ◇ ・ ◇ ◆	• 🖭 🦓		
アドレス(D) 🕘 http://192.168.1.5/setup	o/operateframe_jpn.htm	🔽 🋃 移動 リンク		
■ユニット操作	ファイル削除設定			
<u>運転・停止</u> フ ームに ゲウンワード	学 表示			
ファイル削除	査値プアイル 保存先	コンパクトフラッシュ 💌		
<u>ファームウェアの更新</u>	ファイル削除			
設定を初期値に戻す	ファイル名 WHistory¥System¥System[CURRENT]csv	内容 システム履歴		
■フテータフ	¥FILE1¥Log¥FILE1[CURRENT].csv	蓄積データ		
	¥FILE1¥Total¥Hour¥FILE1_Hour[CURRENT]csv	集計データ(時)		
<u>ステータス表示</u>	▼¥FILE1¥Total¥Day¥FILE1_Day[CURRENT]csv	集計データ(日)		
	¥FILE3¥Log¥FILE3[CURRENT].csv	蕃積データ		
	▼¥FILE3¥Total¥Hour¥FILE3_Hour[CURRENT].csv	集計データ(時)		
2 <u>4んダウシワード</u> <u>2ァイルダウシワード</u> <u>2ァームウェアの更新</u> 設定を初期値に戻す ■ステータス <u>ステータス表示</u> <u>メインメニューに戻る</u>	¥FILE3¥Total¥Day¥FILE3_Day[CURRENT].csv	集計データ(日)		
	¥FILE5¥Log¥FILE5[CURRENT].csv	蓄積データ		
	¥FILE5¥Total¥Hour¥FILE5_Hour[CURRENT].csv	集計データ(時)		
	▼¥FILE5¥Total¥Day¥FILE5_Day[CURRENT].csv	集計データ(日)		
	育り除	全て削除		
		🧐 イントラネット		

③「削除」ボタンをクリックすると以下のメッセージが表示されます。



④「OK」をクリックするとファイルが削除されます。

ファイル削除設定	2
蓄積ファイル	
保存先	コンパクトフラッシュ 💌
ファイル削除	
ファイル名	内容
¥History¥System¥System[CURRENT].csv	システム履歴
¥FILE3¥Log¥FILE3[CURRENT]csv	蓄積データ
FILE5¥Log¥FILE5[CURRENT]csv	蓄積データ
前川印金	全て削除

『浴」ご注意:

- ・「全て削除」をクリックすると、チェックを入れていないファイルも全て削除されます。
- ・¥History¥System¥System[-----CURRENT----]. csvはシステム履歴ファイル です。



7.2.5 システム履歴ファイルについて

DLUは電源投入日時やエラー発生日時、ログインなどの履歴をファイルに記録しています。 このファイルをシステム履歴ファイルといいます。 システム履歴は、蓄積ファイルの保存先に「System[----CURRENT----]. csv」という 名前で記録されています。

システム履歴ファイルは以下のフォーマットで記録されます。

• · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	7 17 10071			
Date	Time	Record	Data1	Data2

各項目の詳細は以下の通りです。

Date:発生日付 Time:発生時刻

Record	Data1	Data2	備考
Power ON	(リセット要因)	_	電源ONを記録
	 ・-:正常 		
	•Power failure:瞬停		
	•WDT time up:暴走		
Power OFF	_	_	電源OFFを記録
Log IN	(ユーザ名)	_	ログインを記録
Log OUT	(ユーザ名)	—	ログアウトを記録
Firmware updated	(ユーザ名)	_	ファームウェアの更新
			を記録
Setting data updated	(ユーザ名)	—	設定変更を記録
Hard error	(異常ハード)	(エラーコード)	ハード異常を記録
	・Body unit(本体)		
	•Right expansion unit[1-3](右増設)		
	・Left expansion unit[1-3](左増設)		
Mail error	(メール種別)	(エラーコード)	メール送信異常を記録
	・Trigger mail(トリガメール)		
	・System mail(システムメール)		
	・[ファイル名] mail:		
	(最新バックファイル添付メール)		
File error	(異常ファイル名)	(エラーコード)	ファイル異常を記録
Network error	(ポート番号)	(エラーコード)	上位通信異常を記録
			(HTTP, SMTPなど)
Communication error	(ポート番号)	(エラーコード)	下位通信異常を記録
			(MEWTOCOL等)
Run mode	_	_	運転モード移行を記録
Stop mode	_	_	停止モード移行を記録
Output	(データ名。データ名が登録されていない場	(データ)	制御出力を記録
	合はデバイス名が入る)		
CF card cover removed	_	-	CFカバー除去を記録
CF card cover installed	_	_	CFカバー装着を記録

7.2.6 アクショントリガ履歴ファイルについて

DLUはアクショントリガが発生すると履歴をファイルに記録しています。 このファイルをアクショントリガ履歴ファイルといいます。 アクショントリガ履歴は、蓄積ファイルの保存先に 「Trigger[----CURRENT----]. csv」という名前で記録されています。

アクショントリガ履歴ファイルは以下のフォーマットで記録されます。

Date	Time	No.	Name	Phenomenon	Count	Туре	Data	Status	Data
							name		

各項目の詳細は以下の通りです。 Date:発生日付 Time:発生時刻

表示項目	内容
No.	(発生トリガ番号)
Name	(発生トリガ名)
Phenomenon	(発生現象)
	・Error(異常発生)
	・Warning(警報発生:警報Min, Maxを超えたとき)
	・Normality(正常復旧:異常または警報から復帰したとき)
	・Regularity(定常動作:日時を指定したトリガ等)
Count	(異常発生回数:最大16777215回まで記録可能)
Туре	(発生条件)
	•Status
	•Interval time
	•Total ON time
	•Total SW times
	•Pulse
	·Analog
	•Digital
	•Schedule time
Data name	(デバイス名 Schedule timeの場合は「-」がセットされる)
Status	ON/OFF
Data	(トリガ発生時の対象データ)

7.3 モニタ画面について

DLUには、本体,増設ユニット,または外部機器のデータをモニタするための画面があらかじめ実装されています。

モニタはWebブラウザでおこないます。

7.3.1 各ユニットの現在値をモニタする

以下の手順でモニタ画面を表示することができます。

【手順】 ①DLUのメイン画面を開き、「データモニタ」をクリックしてください。

🎯 参 照:<6.1.3 Webブラウザを開いて設定画面を表示する>



②左側のメニューからモニタする項目をクリックしてください。

(最初は本体I/Oのモニタ画面が表示されます)

🗿 E二夕画面 - Microsoft Int	ernet Explor	or					
ファイル田 編集旧 表示型	お気に入り(色)	9-11-D ~11-78)				2
🔇 R3 · 🐑 · 🔳 📓	6 🔎 🕫	糖 📩 8期に入り) 📑 95-17	0	• 🗟 🗔 •	🖸 🍪	
アドレス(1) 🗃 http://192.168.1.5/s	stup/monitorma	n jankta				~	🔁 Rêdh - (1520)
■ユニット本体			*	(#			
主信	XEU	名称	用途	現在她	累積間閉回致	累積ON時間	
101Rozoh1	>00		使用しない	-	57	-	
In Statute	XI		使用しない	-	-		
1010-0-0172	X3		使用しない	-	-		
1018-22-01-3	YO		-	OFF	-	-	
 ●外部款付 建点 データ ●各種ステータス システム展世 アゲンホントリガ展数 ■ 	自動更新	186 伊止 :更新 頃44分27秒			(<u>#16</u>	0 抽柳定更新	
() ページが表示されました						S (2)	14.91
2) ページが表示されました						জনস	17.71

●増設ユニット1~3

設定された増設ユニットの種類に応じてモニタ画面が表示されます。 【例】増設ユニット1にアナログユニット(4ch)が設定されている場合

🗿 E二夕前面 - Microsoft Int	lernet Explor								
ファイル田 編集田 表示型	お例に入り(会)	9-110 A1170	Ð						1
G R5 · 🕑 · 💌 🖻	1 🏠 🔎 🛛	由 📩 8年に入	0 🕂 \$717	•	8·3	•	0-3		
7F62(0) 🕘 http://19216815/9	istup/monitormai	n.jpn.htm						👻 🔁 R641	950
■ユニット本体		POP	第ユニット1	[40H入]	7)				
主体	XEV	名称	用途	現在値	平均值	最小値	最大值		
101222011	AD10		使用しない	-	-	-	-		
1815 7 = - 1.0	AD11		使用しない	-	-	-	-		
1918-4-21-6	AD13		使用ない		-				
<u>操設スニット3</u>	11010		1. Martine and c						
■4575 7 842	6 44 T 47 B	184 C (8 4			-	1 65-0-48 59	- 10 55		
	日朝見和「中	75 45				R #17.0 HI #05	C.C.WI		
포요	No Mr.	- 92 #1							
<u>7-2</u>	更新時間138	韩45分18秒							
■各種ステータス									
<u>システム履歴</u>									
マクションドレザ番号									
12223212773854									
長5									
(1) パージが表示されました								1.1.52ak	-
ALL ANACIDENSION						1.0	9	CALMAN	

●外部割付(接点,データ) 設定された外部機器の種類に応じてモニタ画面が表示されます。 ·接点

A	A 0.	-	in the last	Norm O Co. R. m					
Owe - O		CH N NS	4.00	0. NO @ 0. 3 B	1 · 🗇	-20			
PF120 ahng//1921681	5/setup/monitorna	njahta						💌 🔁 移動	150
DOT NEAR									^
Concession of the second se	■外部接続8	00MI)-=2	ta-90	ンク					
<u></u>	■外部接続(COM2>-松下	電IME/	MET-FP5/U-X					
MR22311									
MR2TH2	<u> 5000 - 500</u>	F B010 -	BOIF B	020 - 8025 8030 - 803F 8040	- 804F	<u>8050 - 805F</u>	B160 - B16F	8070 - 807F	
	5080 - 508	F 8090 -	BUSF S	100 - STOP BITO - BITE BIZO	- 8127				
MR22913	40 40-			接点モニタ 8000 - 800	F				
	メモリ 外	部デバイス	COM	名称 用途	現在値	累積期間回	赴 黒街ONIA	(12)	
- HEARIN	B000	1.1	-	使用しない	-	-	-		
18.4	8001	1.1	-	使用しない	-				
-	B002	-	-	使用しない	-	-	-		
27-2	6003			(使用しない)					
	B004	-	- 74	(使用LGL)	1	1	-		
目前権ステータス	0005			使用しない		4	-		
システム展開	B006	17	-	12 million to	1.1		-		
7200-001-000	8007			100 MILLION		-	-		
20242F0//mm	BUUB	-	-	tem.cct			-		
	BODA			DEHSUGELT		-	-		
	DODA	-	1.0	CENSUS CONTRACT	-	-	-		
1000	8008		-	DEPENDING I		-	-		
1000 B	8000	-	-	30 ED 7711			-		
	BODE		1	00000-001	-	-	-		
	BOOE		-	(9円),((1))	-	-	-		
	0007		1.000	0.1120-011	132				
	自動更新用	18 停止	3				最新印	情報に更新	
	51년 🛩 🖽 -	王斯	200				100-014	次ページ	
	10000000000								

・データ

	M CH P	and the way	4.505	1 NO 0 10. 3 1	a . C				
21812200 🗃 http://1921681	5/setup/monitorm	an johtn							💌 🛃 移動 - 928
コニット本任									
本体	■外部接続 ■外部接続	00MI)-=22 00M2)= 8/3	Са - 900 Ф.Т. мам	ク #T-5P141-ブ					
WHAT THE R	- //	ooner- wit	C.L.PILM	61-1120-X					
<u>400-2-201</u>	EX0000 -	015 016 - 0 143 144 - 1	31 082 - 59 160 -	047 048 - 053 064 - 079 08 175 136 - 191 192 - 199	0 - 095	096 - 111	112 - 127	1. C	
101227712	Science.	198 199 1		10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1					
MR22013	-			データモニタ EXD000 - EXD0	15				
	メモリ 3	相デバイス	COM	名軒 用途	現在催	平均值	最小量	最大值	
● 外部期付	EXDO	-	-	(EMCAL)	18-11	-	1.5-51	-	
10.0	EXDI		-	(代用しない)					
1 <u>10 P</u>	EXDE		-	CENTLAND AND	(and the same			-	
<u>9-9</u>	EVDA			00.00 7.0 5		1		-	
	EVDE	-		(#III) to s		-	-		
音種ステータス	EXDO			(### 20.5					
	EXDT			(#m. 50.)			-		
ZATIONE	EXDB		-	(伊朗: All.)	-		-	-	
200回210月間屋	EXD9			使用しない	1.1				
	EXD10	-	-	使用しない		-	1000	14	
	EXD11		-	使用しない		-			
	EXD12	- 2 - 3	-	使用しない	-	-	10-01	-	
展委	EXD13			使用しない	1.810				
	EXD14	-		使用しない	1.00	-	18-81	-	
	and the second s			(# ER 10 5		-	0.04		

●システム履歴

	sensor rearrantering	ahte					× 1	1940	9.23
IDE9F##			システム展歴						
本住 ()	Date	Time	Record	Data	Deta2				
	2004/08/26	1844-06	Los OUT	snit	-				
MIC-2-211	2004/08/28	134355	Setting data updated	unit	-				
MIR22-12	2004/08/26	184318	LOC IN	unit	-				
Millionalia	2004/08/26	134250	Log OUT	unit	-				
2010-0-22122	2004/08/26	134238	Setting data updated	unit	-				
	2004/08/26	134237	Lae IN	unit	-				
19-2-BIO	2004/08/26	1842.07	Los OUT	unit	-				
18.4	2004/08/26	1342:05	Setting data updated	unit					
	2004/08/26	13.41.43	Loe IN	snit	-				
<u></u>	2004/08/26	1341:00	Log OUT	snit.					
	2004/0B/26	134126	Setting data updated	snit	-				
自種ステータス	2004/08/26	1341:10	LOEIN	unit					
ジステム展展	2004/08/26	13:37:32	Log OUT	unit	-				
	2004/08/26	13:37:00	Setting data updated	unit					
2006210月間度	2004/08/26	13.36.08	Log IN	snit	-				
	2004/08/26	13:30:47	Pawer ON	-					
	2004/08/26	13:29:29	Pawer ON	2-					
(#3)	最新の装飾	EEN]							
	-	Concession of the local sectors of the local sector							
	War to BL store	14 1 Same &L							

●アクショントリガ履歴

P4-242 Al http://133254.832	20/setup/monitormai	njpahtei							¥ 1	2 1540
コニット本体					tturi	-				
2008	Date	Time	No.	Hame	Phenomenon	Count	Туре	Data name	Status	Data
MINTER AND	2004/08/26	15:02:00	1	24-162	Regularity	1	Schedule time	-	-	1000
MIGROUPI -	2004/08/28	14:16:00	15	2-11-18	Regularity	1	Schedule time	-		
MR22912	2004/08/26	14:15:00	14	21-11-15	Regularity	1	Schedule time	-	-	-
W107-110	2004/08/26	14:14:00	13	2-11-14	Regularity	1	Schedule time		-	1.041
and designed	2004/08/26	14:13:00	12	×-11-13	Regularity	1	Schedule time		-	1.00
and a state of the	2004/08/26	14:12:00	11	7-11/12	Regularity	1	Schedule time	-	-	1
外部割住	2084/08/26	14:11:00	10	2-16-11	Regularity	1	Schedule time	-	-	-
接点	2004/08/26	14:10:00	9	x-1010	Repularity	1	Schedule time	-	-	
	2004/08/26	14:09:00		2-11-9	Regularity	1	Schedule time			-
<u>r-2</u> .	2004/08/26	14 08 00	7	3-IPB	Regularity	1	Schedule time		-	10.00
	2004/08/26	14:07:00	6	7-11-12	Regularity	1	Schedule time		-	1.00
日本建ステータス	2004/08/26	14:06:00	5	3-166	Regularity	1	Schedule time	-	-	
0774488	2004/08/26	14:05:00	4	7-115	Regularity	1	Schedule time	-	-	10000
	2004/08/26	14:04:00	3	2-11-4	Regularity	1	Schedule time	-	-	1.2
アクショントリガ展歴	2004/08/26	14:03:00	2	3-143	Repularity	1	Schedule time	-		10.000
	2004/08/26	14:01:00	0	21-11-1	Regularity	1	Schedule time			1.5.1
	原料の装備	(max								
二 戻る		And and a second								

③共通操作

 ・現在値を一度だけモニタする場合、各モニタ画面にある「最新の情報に更新」ボタンをクリック してください。

・各ページにある「自動更新」を指定すると、設定された間隔で画面を自動更新します。 更新間隔を選択し、「開始」ボタンをクリックしてください。



自動更新を停止するには「停止」ボタンをクリックしてください。

「谷下」 ご注意:

- ・システム履歴とアクショントリガ履歴のモニタ画面にこの機能はありません。
- ・システム履歴とアクショントリガ履歴で表示されるのは最大20レコードです。
 - これ以上については、本体またはCFカードに格納された履歴ファイルを参照してください。

その他の使い方

8.1 PPPで接続する

DLUにモデムを接続し公衆回線に接続することにより、PPPサーバとして使用することができます。 これにより、モデムが内蔵(または外付け)されたパソコンを公衆回線に接続し、DLUの設定やモニタなど が実行できます。



『塗」ご注意:

DLUに対してダイヤルアップ接続する場合、ユーザ登録で登録したユーザ名、パスワードを使用します。

◆ ● 照:<6.2.1 ユニットヘアクセスするユーザを登録する>

8.1.1 PPPサーバの設定をおこなう

DLUをPPPサーバとして使用する場合の設定をおこないます。

【手順】 Web Datalogger 設定メインメニュー ■動作設定 入出力・収集 アクショントリガ 基本設定 ユーザ空話 グルーブ空話 グルーブ空話 ブルーブ空話 モモの差 ユニッナ操作 慶定内容ファイル保存 本体情報 ログアウト

②左側のメニューから「着信接続」をクリックしてください。

「着信接続設定」画面が表示されますので各項目を設定してください。

🗿 Web Datalogger 設定 - Microso	ft Internet Explorer									
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入	り(A) ツール(T) ヘルプ(H)					-				
🔇 E2 • 🚫 · 💌 🗟 🏠	🔎 検索 🤺 お気に入り 🍳	>ディア 🧭 👔	∂ • 🕹		-25					
アドレス(1) 截 http://192.168.1.5/setup/net	tframe_jpn.htm				🖌 🄁 移動	リンク				
■基本設定	着信接続設定									
ネットワーク <u>イーサネット</u>	著信				-					
<u>ダイヤルアップ1</u> ダイヤルアップ2 酒信接続	着信の許可	 着信を許可した 着信を許可す 	ない でる							
TT	IPアドレス IPアドレス									
<u>メール</u> 時計	サブネットマスク									
各種動作	呼び出し元設定									
■拡張設定	設定方法	呼び出し元で IPアドレスを割	指定 当てる							
期間指定動作	IPアドレス									
■特殊用途		設定]							
<u>POWAY対応</u>										
メインメニューに戻る										
					J イントラネット					

着信

[着信の許可]

・「着信を許可しない」: PPPサーバとして使用できません。

・「着信を許可する」:PPPサーバとして使用できます。

PPPサーバとして使用する場合は、"着信を許可する"に設定してください。

IPアドレス

DLUがPPPサーバとして動作するときのIPアドレスとサブネットマスクを設定してください。

注)・PPPサーバ通信用IPアドレスは、Ethernet通信用に設定されているIPアドレスとネットワークアドレス を同一にすることはできません。 例えばDLUのIPアドレスが192.168.1.5の場合、 PPPサーバIPアドレスは「192.168.1.*」に設定することはできません。

🌑 参 照:<6.1.4 IPアドレスを設定する>

呼び出し元設定

DLUがPPPサーバとして動作するときに、DLUに接続するクライアント側が使用するIPアドレスを設定します。

[設定方法]

・呼び出し元で設定:クライアント側でIPアドレスを直接指定します。 ・IPアドレスを割り当てる:PPP接続がおこなわれた時、DLUがクライアントに対して任意のIPアドレスを割り当てます。

この場合、次の入力欄にIPアドレスを設定してください。

注)呼び出し元のIPアドレスをDLUが割り当てる場合、DLUのPPPサーバ通信用IPアドレスと ネットワークアドレスが一致するようにしてください。

XXX. XXX. XXX. XXX

ネットワークアドレス部

③各項目の設定が完了したら「設定」ボタンをクリックしてください。設定された内容が一時的に保存され ます。

設定が完了したら、DLUへ記録する作業に入ります。

④「メインメニューへ戻る」ボタンをクリックします。メインメニュー画面に戻ります。



設定が変更されていると、「設定が変更されています」というメッセージ が点滅表示されています。

⑤「本体へ記録」ボタンをクリックすると メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックしてください。 設定された内容がDLUに記録されます。

⑥記録が正常終了すると、以下のメッセージが表示されます。
8.1.2 PCWAYと接続する

DLUはアクショントリガ発生時、PCWAYと接続することができます。 PCWAYと接続するための設定手順は次のとおりです。

【手順】 Web Datalogger 設定メインメニュー ■動作設定 入出力・収集 アクショントリガ ■基本設定 基本設定 プリーブ登録 ■その他 ユニット操作 設定内容ファイル保存 本体体服務 本体情報 ログアウト

②左側のメニューから「PCWAY対応」をクリックしてください。「PCWAY対応設定」画面が表示されますので、各項目を設定してください。

🗿 Web Datalogger 該定 - Microsoft	Internet Explorer		
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り)	(A) ツール(T) ヘルブ(H)		
🔇 R3 • 🔘 · 🖹 🗟 🏠 🍃	🔎 検索 🤺 お気に入り 💽 🗏	र्न 🚱 🎯 🍓 🔄 र 🔝 🥸	
アドレス(1) 🕘 http://192.168.1.5/setup/netfra	ame_jpn.htm	ا 🔁 🔁	多動 リンク
■基本設定		PCWAY対応設定	^
ネットワーク			
	通信設定		
<u>タイコイルアップレ</u> ダイヤルアップ2	接続ネットワーク	イーサネット	
<u></u>	定期的な接続	接続しない	
т	DLU局番		
	MEWTOCOL設定		
<u>2—20</u> 時計		* 設定しな()	=
<u>各種動作</u>	パスワード設定	設定する パスワード	
■拡張設定	タイムアウト	1 分間無通信で回線を切断(1~30分)	
期間指定執作	接続サーバ1		
20101102E 001 F	IPアドレス		
■特殊用途	ポート番号1		
POWAY	ポート番号2		
	接続サーバ2		
	IPアドレス		
メインメニューに戻る	ポート番号1		
	ポート番号2		
	接続サーバ3		
	IPアドレス		
	ポート番号1		~
ページが表示されました		S 72F5A9F	

注) DLUだけではなくPCWAYの設定も必要です。 PCWAY対応の詳細は、PCWAY導入マニュアルを参照してください。

③各項目の設定が完了したら「設定」ボタンをクリックしてください。設定された内容が一時的に保存され ます。 設定が完了したら、DLUへ記録する作業に入ります。

④「メインメニューへ戻る」ボタンをクリックします。メインメニュー画面に戻ります。

Web Datalogger 設定メインメニュー



設定が変更されていると、「設定が変更されています」というメッセージ が点滅表示されています。

⑤「本体へ記録」ボタンをクリックすると メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックしてください。 設定された内容がDLUに記録されます。

⑥記録が正常終了すると、以下のメッセージが表示されます。

8.1.3 Web Datalogger Unitを経由してPLCにアクセスする

以下のようなシステムにおいて、FPWIN GRからWeb Datalogger Unitを経由して 各PLCのモニタやプログラムの変更などがおこなえます。



例)FPWIN GRで局番1のPLCにアクセスする場合 FPWIN GRの設定は以下のようになります。

①「オプション」メニューから「通信設定」を開き、以下のように設定してOKをクリックする。

4-1+75947*: Ethernet ▼ 9/5#	QK		
Default □ ET-LAN2I→S使用する □パイコーラ □マ IP7トレスを自動的に取得する IP7トレス 127.0.0.1	++9-03-00/0 利用制と① 参照 (B). へルフペ日)		
ポートNo: 0 (0,1025-32767) 同番 (1-64) 相手先 IP7トルス: 192,168,1,5		→ Web Datalogger	UnitのIPアドレスを指定
#~-}Nox 9094 (1 - 32767) ◎ ⊕ 1 • ● ⊕ 1 • ● ⊕ 1		► COM1の場合: 909 COM2の場合: 909	94 95
18日 2 147 / 150 / 15 18			

②「オンライン」メニューから「通信局指定」を開き、以下のように設定してOKをクリックする。



参 照:FPWIN GRの詳細について<FPWIN GR導入ガイドまたはヘルプ>



モニタ部品を使用して DLUモニタ画面を作成する

DLUには、各種データをモニタするための様々な部品(Javaアプレット)が用意されています。 これらの部品を使用してWebページを作成し、DLUに格納することにより、ブラウザ上でDLUのデータを モニタすることができます。

DLUとの通信(データの取得)は通信用の部品が自動で実行しますので、一般的なhtml作成の知識さえ あれば特別な通信プログラミングなどを意識することなくモニタ画面を作成することができます。

モニタ部品は、当社Webサイトから無償でダウンロードできます。 http://www.nais-j.com/plc/uacs/plc_dl_soft.html (会員登録必要 無料)



1 1 1 1

ご注意:

- ・ブラウザは、Microsoft Internet Explorer5.5以上をご使用ください。 ・モニタ画面を表示するためには「Javaプラグイン」が必要です。
- 参照:<9.3.1 Javaプラグインをインストールする>
- ・本マニュアルにはhtmlに関しての詳細な記述はされておりません。 一般的なhtml作成に関する詳細は、書籍やWebサイト等を参照してください。

9.2 モニタ部品の種類

DLUモニタ用に下記の部品(Javaアプレット)が用意されています。 各部品に関する詳細は、別途ヘルプファイルを参照して下さい。

部品名	外観	動作内容
通信アプレット (Comm. class)	通信中	DLUとの通信を自動で実行します。
ランプ (Lamp. class)	動作中 停止中	ビットデバイスON/OFF時のテキストや背景色、サ イズ等を設定しランプとして使用出来ます。
ピクチャーランプ (PictLamp. class)	(例) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ランプなどの用途に使用できます。(<u>ビットデバイスO</u> <u>N時とOFF時のjpgファイルが必要です</u>)
スイッチ (Switch. class)	ON	ビットデバイスのON/OFFを操作できます。またボ タン内にランプ動作をするエリアがあります。
ピクチャースイッチ (PictSwitch. clas s)		ビットデバイスのON/OFFを操作できます。(<u>定常</u> 時とクリック時のjpgファイルが必要です)
データ表示 (DataDisp. class)	6334	対象デバイスのデータをテキストで表示します。
カウンタ (Counter. class)	0034.0	対象デバイスのデータをカウンタ形式で表示します。
データ設定 (DataSet. class)	0 <u>NE</u> ty/ds 0 0 0 0 8 . 0 0 NE + + + + + + + + + + ty/ds	アナログ出力等を設定できます。 アナログ入力やパルス入力の値を変更することはで きません。 マウス操作のみで設定出来るタイプとデータをキー 入力するタイプがあります。
メッセージ表示 (Message. class)	異常が発生しました。	対象デバイスのデータ値によって任意のメッセージを 表示出来ます。 256種類登録できます。
プログレスバー (Progress. class)	30%	最小/最大値,バーの色等を設定し、現在値を%表 示で確認出来ます。縦/横方向や%の表示/非表 示等が選択出来ます。
メータ (Meter. class)	20 40 60 80 0 20 40 60 80 0 20 50 100 0 20 100 0 20 100	最小/最大値,四角型/丸形,表示する単位(左記 の場合は℃)等を設定し、現在値を針の動作で確認 出来ます。 四角形のメータと丸形のメータがあります。

()内はJavaアプレットのファイル名



()内はJavaアプレットのファイル名

9.3 モニタ部品を使用したWebページの 作成方法

本項ではモニタ部品を使用したhtmlの記述方法と、いくつかの必要事項について解説します。

9.3.1 Javaプラグインをインストールする。

DLUをパソコンのブラウザ(IE)でモニタするには、「Javaプラグイン」が必要です。 ご使用のパソコンにJavaプラグインがインストールされているかを下記手順で確認してください。

·確認方法

- 1. Internet Explorerを起動する。
- 2. [ツール(<u>T</u>)]メニューから[インターネットオプション(<u>O</u>)]を選択する。
- 3. [詳細設定]をクリックし、下記の表示"Java(Sun)"があるかをご確認ください。

全般	セキュリティ	フライバシー	コンテンツ	接続	プログラム	詳細設定
設定	(S):					
2	HTTP 1.1 設 V HTTP 1.1 V プロキシ持	定 を使用する 競で HTTP 1	.1 を使用す	5		

上記表示が存在しない、またはJava2のバージョンがv1.4未満(v1.3等)の場合、モニタ部品が表示出来ません。

Sun MicrosystemsのWebサイト(http://jp.sun.com/)でJavaプラグインをインストールしてください。

9.3.2 HTMLでのJavaアプレット記述方法

HTMLにJavaアプレットを挿入する場合、<APPLET>タグを使用します。 <APPLET>タグは<APPLET code= " " width= " " height= " ">と記述することに より、使用するアプレットと画面上に表示させる大きさを指定することができます。 • code: アプレット(モニタ部品)のファイル名(*. class) • width:表示させる幅 • width:表示させる高さ また、Javaアプレットの各種パラメータは<PARAM>タグを使用します。 <PARAM>タグは<PARAM name= " value= " >と記述することによりパラメータを指

< PARAM >>>> は< PAI 定することができます。
•name:パラメータ名
•value:パラメータの値

【例】メータ部品



<APPLET code= "Meter. class "width= "320 "height= "200 ">
<PARAM name= "ref_data "value= "AD10 ">:参照するデバイス
<PARAM name= "min "value= "0 ">:最小値
<PARAM name= "max "value= "100 ">:最大値
<PARAM name= "unit_name "value= "℃">:表示する単位
<PARAM name= "count_num "value= "5">:メモリの分割数
</APPLET>

注)市販のホームページ作成用ツールなどをご使用になる場合、Javaアプレットを貼り付けてもツール上 では表示されない(メータであることが分からない)場合があります。 この時は、直接Internet Explorerを起動して画面をご確認ください。

9.3.3 通信部品を記述する

モニタ部品を使用するWebページには、各ページに必ず1つだけ「通信部品」(通信アプレット)を貼り付ける必要があります。

各モニタ部品が参照するデータをDLUから取得するために、「通信部品」が実際の通信を実行します。 各モニタ部品は通信部品が取得したデータを参照して自身の更新(描画)をおこないます。 html内での通信部品は、以下のように記述してください。

```
<!--通信アプレットのみ[name]が必要です-->
<APPLET name="Comm" code="Comm.class" width="150" height="30">
</APPLET>
```

上記はDLUと通信を実行するために最低限必要なパラメータです。 この他にも「更新間隔」「通信タイムアウト」「通信エラー時の再送回数」などが設定出来ます。(詳細はヘル プを参照してください)

【ポイント】

・[name]は通信部品にのみ必要な記述です。他のモニタ部品に記述する必要はありません。 ・[width]と[height]は[0]でも構いませんが、「通信中」などのメッセージが出ますのでできるだけ上記の サイズで記述してください。

9.3.4 サンプル画面のhtml

「9.1特長」のモニタ画面をhtmlで記述したサンプルです。

<head><title></title></head> <html> <body></body></html>	っこのサンプルでは ヘッダ 部を省略し ています
<applet <br="" align="right" code="Comm.class" name="comm" width="150">height="30"> <param name="renew_timing" value="5000"/> </applet> 	通信部品
<pre><apple1 code="Meter.class" height="200" width="320"> <param name="ref_data" value="AD10"/> <param name="min" value="0"/> <param name="max" value="0"/> <param name="max" value="0"/> <param name="max" value="0"/> <param name="count_num" value="5"/> </apple1> </pre>	メータ部品
<pre><applet code="Progress.class" height="40" width="320"> <param name="ref_data" value="EXD0"/> <param name="min" value="0"/> <param name="max" value="50"/> </applet> </pre>	プログレスパー部品

</HTML>

注)通信部品(Comm. class)はDLUのIPアドレスを自動で取得します。 通信部品(Comm. class)のみ「name」が必要です。

9.3.5 DLUのデバイス指定について

モニタ部品が参照するデバイスは、X, Y, B, AD, DA, EXDになります。



その他、接点の累積ON時間やアナログの平均値をモニタすることができます。 アプレットにおける指定は以下を参照してください。

■ 接点(例:XOの場合)

- ・現在値:X0
- ・累積ON時間:X0_ton
- ·累積開閉回数:X0_tcn
- ・パルス値:X0_pls

■ アナログ(例:AD10の場合)

- ・現在値:AD10
- ・平均値:AD10_ave
- ・最小値:AD10_min
- ・最大値:AD10_max

■ 外部機器データ(例:EXDOの場合)

- ・瞬時値(現在値):EXD0
- ・統計値(平均値):EXD0_ave
- ・統計値(最小値):EXD0_min
- ・統計値(最大値):EXD0_max
- ・パルス値:EXD0_pls

9.4 作成したモニタ画面をDLUに格納する

作成したモニタ画面は、CFカードにコピーしてDLUに装着する必要があります。 CFカードへコピーするには、次の2通りの方法があります。 ・CFカードを直接パソコンに接続し、ファイルをコピーする。 ・FTPでDLUに転送する。

「9.1 特長」での例の場合、画面を構成するファイルは5つあります。 index. html, Comm. class, Meter. class, Counter. class, Func. class CFカードに直接コピーする場合、パソコンにCFカードを接続し、モニタ画面として作成した全てのファイル (*. html, *. class等)をコピーしてください。 またこの時、「Func. class」ファイルを必ずコピーしてください。

「Func. class」はhtmlに記述されませんが、モニタを実行するために必ず必要なファイルです。

FTPで転送する場合、ユーザ名とパスワードは「6.2.1 ユニットへアクセスするユーザを登録する」で登録されたユーザ名とパスワードが使用できます。

・転送先は、「/cf」と設定してください。
 ・anonymousは使用できません。

9.5 Webブラウザでモニタを実行する

ブラウザを起動してモニタを実行する。 作成したモニタ画面は、Internet Explorerを使用して表示します。 DLUとパソコンを通信可能な状態に設置し、Internet Explorerでアクセスしてください。

1925 Helvitic Holdense 1925 Helvitic Holdense	· @ S* \$ = •] \$ * @ # • 1
20 40 60 50 100	道信中
00032	

『谷子』 ご注意:

アドレス入力エリアには「http://192.168.1.5/cf/index.html」と入力します。 ・CFカードに「/monitor」というフォルダを作成し、そこに各ファイルをコピーした場合は 「http://192.168.1.5/cf/monitor/index.html」となります。

10章

自己診断と異常時の対処方法

10.1.1 LEDによる状態表示

■ 状態表示LED1の見方

		LED		山家	牛帮
·	MODE	TRIGGER	ERROR	ri#	
	0	\times	\times	RUNモード	運転
正常	0	0	×	RUNモード(トリガ発生中)	運転
	\bigtriangleup	\times	\times	STOPモード	停止
	0	×	0	RUNモード(自己診断エラー発生中)	運転
異常	0	0	\bigtriangleup	RUNモード(トリガ、自己診断エラー発生中)	運転
	\bigtriangleup	×	\bigtriangleup	STOPモード(自己診断エラー発生中)	停止
	0	0	0	システム初期化 ^{注1)}	停止
炸殅	×	\times	×	ファイル化 注2)	停止
1寸2不	×	\times	\bigtriangleup	ファームウェア更新待ち ^{注3)}	停止
	0	\triangle	0	ファームウェア更新中	停止

○:点灯 △:点滅 ×:消灯

注1) 電源立ち上がり時、システムを初期化する動作です。 注2) モード切り替え時、末ファイル化データをファイル化する動作です。 注3) 電源立ち上がり時、ファームウェアが異常なので更新を待機している状態

・Web Datalogger Unitは、異常発生時にその状況を判断し、必要に応じて運転を停止する 自己診断機能を内蔵しています。異常発生時、状態表示LED1は上表のようになります。

■ ERROR LEDが点滅したら

●処理手順

WebブラウザからWeb Datalogger Unitにログインして、エラー内容を確認して下さい。

"ステータス表示"メニューをクリックすると、最新のエラーコードを確認することができます。 また、システム履歴ファイルを参照することでエラーの発生履歴を確認することができます。



10.2 異常時の対処方法

■ FP0増設ユニットについて

異常の内容	原因	対処方法	関連頁
FP0増設ユニットから	本体構成設定で、増設	本体構成設定で、増設ユニットをご	6.3.1
のデータ入力、または	ユニットが「使用しない」	使用している種別に合わせて設定	ユニットの構成を
出力が正しくできない	に設定されている。	してください。	設定する
	FP0増設ユニットを4台 以上接続している。	Web Datalogger UnitはFP0 増設ユニットを3台まで接続可能で す。3台以内にしてください。	1.4.1 FP0増設ユニット の場合 の制限
	FP0増設のI/Oの割 付けが正しくない。	FPO増設ユニットのI/O番号は本 体から近い順に自動的に割り振ら れます。増設ユニットの占有I/O 数を確認してください。	4.3.1 FP0増設ユニット のI/O番号
	FP0増設ユニットが正 しく装着されていない。	FP0増設ユニットを正しく装着して ください。	3.1.1 FP0増設ユニット の増設方法
	FP0増設ユニットに電 源が接続されていな い。	FP0増設ユニットには電源供給が 必要なユニットがあります。電源コ ネクタの有無を確認し、電源供給を してください。	
	正しく入出力できる接 点と、入出力できない 接点がある。	入出力機器への配線を見直してく ださい。	
	正しく出力できない。	FP0増設I/Oユニットでは、各コ ネクタに電源が必要となります。電 源の見直しをしてください。	

■ CFカードについて			
異常の内容	原因	対処方法	関連項
CFカードを挿入したの	CFカードが正しく装着さ	ー度CFカードを取り外し、再度	5.5
にCFカードのアクセスL	れていない。またはCFカ	CFカードをしっかり挿入した	CFカードの設
EDが点灯しない	ード保護カバーが正しく	後、CFカードカバーを装着し、	置について
	装着されていない。	CFカードのアクセスLEDが点	
		灯すること確認してください。	
	CFカードがフォーマットさ	CFカードを取り外し、PCに接続	—
	れていない。またはフォー	してCFカードのフォーマットを	
	マットが正しくない。	確認してください。フォーマットさ	
		れていないもしくはFAT16、F	
		A132以外でノオーマットされて	
		いる場合、CFルートをFAII0 またはFAT29形式でフレーマ	
		またはFAI32形式 ビノオーマ	
		シャレノへんさい。	
		のデータけ会て消去されます	
		十分ご注音ください。	
	CFカードが壊れている。	CFカードを取り外し、PCに接続	_
		しCFカードが認識(マウント)で	
		きるか確認してください。認識で	
		きない場合は、CFカードメーカ	
		にご相談ください。	
CFカードにデータが保	CFカードが認識できな	CFカードのアクセスLEDが点	_
存されない	<i>۷</i> ۰.	灯しているか確認してください。	
		点灯していない場合は、「CFカ	
		ードを挿入したのにCFカードの	
		「アクセスLEDが点灯しない」をご	
	~ りゃりナルジーカット	参照くたさい。 「瓢点、1、山上、四進、土仕様	
	アーダの保存先か内部メ	$設 c > \Lambda 出 J \cdot U = > 4 件 備$	6.3.1
	モリになっている。	成	ユニットの構成
		「コンパクトフラッシュ」を選択し	を設たりつ
		てください	
	CFカードの空き容量が	「設定>基本設定>各種動作」	636
	不足している。	の「ファイル設定>蓄積ファイル	さ. 0. 0 蓄積ファイルの
		動作設定」の設定を確認し、	動作設定につ
		「新しいファイルを作成しない」	いて
		を選択している場合、CFカード	
		内の不要なデータを削除して下	
		さい。	
		もしくは、「新規ファイルを作成	
		する(最も古いファイルを削除)」	
		を選択してください。	
CFカードに古いデータ	世代数の設定が適切で	設定>人出力・収集>ファイル	6. 3. 2
か保存されない	721,0	作成」で「世代数」の設定を確認	蓄積ファイルの
		し、必安な世1\剱を設定ししく	設定をおこなう

異常の内容	原因	対処方法	関連頁
Webページにアクセス	イーサネットケーブルが	イーサネットケーブルを正しく接続	
できない。	外れている。	して下さい。	
	パソコンとWeb Datal	パソコンのIPアドレスとWeb Data	6.1.2
	ogger Unitのネットワ	logger UnitのIPアドレスを確認	パソコンのIP
	ークアドレスが違う	してください。	アドレスを設定
			する
	Webブラウザで入力し	接続先のURLを確認し、Webブラ	6.1.3
	たURLが正しくない。	ウザに正しいURLを入力してくださ	Webブラウザ
		い。	を開いて設定
			画面を表示す
			る
	ブラウザでプロキシサ	ブラウザの設定を確認してくださ	6.1.3
	ーパが設定されている		Webブラウザ
			を開いて設定
			画面を表示す
	10D T北母内の	10日	る
	IUBase-1 非対応の	10Base-1に刃応したHubを使 用レアノださい。	
ロガイノ (できかい)	HUDを使用している。	用してくたらい。	6.9.1
ログイン(さない。	ードが正しくない	正しいユーリ治、ハハリートを八月	6. 2. 1
		の担合け システム管理老佐限の	エーットハノク
		の場口は、シハノム自住自住取り	セスリるユー
		のるエーリュルは井住よくこ連相ください。	リを立転りる
	他のユーザがログイン	しばらくしてから、再度アクセスして	
	中です。	ください。	
「データモニタ」または	Internet Explorer	「インターネットオプション」の	6.1.3
「設定」をクリックしても	のセキュリティレベルが	「セキュリティ」の「信頼済みサイト」	Webブラウザ
画面が切り替わらな	「高」に設定されていま	にてWebサイトの追加設定をおこ	を開いて設定
$\langle v \rangle_{o}$	す。	なってください。	画面を表示す
			る・ご注意2

■ 時刻合わせについて

異常の内容	原因	対処方法	関連頁
時刻が更新できない	イーサネットケーブルが	イーサネットケーブルを正しく接続	
	外れている。	して下さい。	
	接続先IPアドレスが正	SNTPサーバのIPアドレスを正しく	6.1.5
	しくない。	設定してください。	時計を設定す
			る
更新した時刻がおかし	タイムゾーンが正しくな	タイムゾーンを正しく設定してくださ	6.1.5
い	<i>۷</i> ۰.	V کې	時計を設定す
			る

■ アクショントリガについて

異常の内容	原因	対処方法	関連頁
条件が成立しているのに	本体、あるいは増設ユニ	もう一度接続をやり直してくださ	_
トリガLEDが点灯しない	ットに接続している入力信	۷۷ _۵	
	号線の接触が不安定に		
	なっています。		
	本体、あるいは増設ユニ	仕様範囲内の電圧を入力してく	2. 2. 1
	ットに接続している入力信	ださい。	入力仕様
	号の電圧が仕様範囲外		
	になっています。		
トリガLEDが点灯してい	本体、あるいは増設ユニ	もう一度接続をやり直してくださ	_
るのに設定通りに出力し	ットに接続している出力信	<i>k</i> ۰ _°	
ない	号線の接触が不安定に		
	なっています。		
出力は"Warning"	出力信号が仕様通りに配	出力信号を仕様通りに配線して	2. 2. 2
発生時のみ実行され	線されていません。	ください。	出力仕様
ます	外部接点/外部データ		下位通信につ
	が正常に収集されていま		いて
	せん。		
	外部接点/外部データ	指定のレジスタには書き込めま	_
	に書き込み不可のレジス	せん。「設定>入出力・収集>	
	タを設定しています。	外部割付(接点)/外部割付	
		(データ)>」の設定で、他のレ	
		ジスタを設定してください。	

■ PCWAYについて

異常の内容	原因	対処方法	関連頁
PCWAYに接続できな	イーサネットケーブルが	イーサネットケーブルを正しく接続	
1) 1)	外れている。	して下さい。	
	接続先IPアドレスが正	PCWAY対応設定にて接続サー	8.1.2
	しくない。	バを正しく設定してください。	PCWAYと接
			続する
アクショントリガでPCW	接続条件が設定されて	アクショントリガ設定で「PCWAY接	6.7.2
AY接続ができない	いない。	続する」にチェックをいれてくださ	アクショントリガ
		<i>k</i> ۰ _°	の設定をする
定期的な接続でPCW	接続条件が設定されて	PCWAY対応設定画面にて定期	
AY接続ができない	いない。	的な接続を設定してください。	

■ メールについて			
異常の内容	原因	対処方法	関連頁
メールが送信できない	イーサネットケーブルが 外れている。	イーサネットケーブルを正しく接続して下さい。	
	SMTPサーバの設定 が正しくない。	SMTPサーバのIPアドレスを正しく 設定してください。 SMTPサーバが名前で指定されて いる場合、DNSサーバのIPアドレ ス設定が正しいかを確認してください	6.6.1 メール送信の 基本設定をお こなう
	送信先メールアドレス が正しく設定されてい ない。	ユーザ登録画面にて送信先メール アドレスとグループを正しく設定し て下さい。	 6.2.1 ユニットヘアク セスするユー ザを登録する
	送信元メールアドレス が正しくない。	メールサーバによっては、送信元メ ールアドレスをチェックする場合が あります。メール設定画面にて送信 元メールアドレスを正しく設定して 下さい。	6. 6. 1 メール送信の 基本設定をお こなう
ファイル作成でメール を送信できない	送信を設 定していな い。	ファイル作成にて「メール送信する」を選択してください。	6.3.2 蓄積ファイル の設定をおこ なう
	送信先メールアドレスが正しく設定されていない。	各種動作設定画面にて正しいメー ル送信先を選択してください(ファ イル作成でメールを送信する送信 先とユニットエラーでメールを送信 する送信先は共通です。)	 6.3.6 蓄積ファイル の動作設定に ついて
ユニットエラーでメールを送信送信できない	送信を設 定していな い。	ユニットエラー設定にて「メール送 信する」をチェックしてください。	 8.1 エラー発生時 のメール送信 に関する設定 をおこなう
	送信先メールアドレス が正しく設定されてい ない。	各種動作設定画面にて正しいメー ル送信先を選択してください(ファ イル作成でメールを送信する送信 先とユニットエラーでメールを送信 する送信先は共通です。)	6.3.6 蓄積ファイル の動作設定に ついて
	送信条件が成立していない。	システム履歴ファイルをご確認ください。	7.2.5 システム履歴 ファイルにつ いて
アクショントリガでメール 送信ができない	送信を設定していない。 送信先メールアドレスが正しく設定されていない。	アクショントリガ設定にて「メール送 信する」をチェックしてください。 ユーザ登録画面にて送信先メール アドレスとグループを正しく設定し て下さい。	6.7.2 アクショントリガ の設定をする
	送信条件が成立していない。	アクショントリガ履歴ファイルをご確 認ください。	7.2.6 アクショントリガ 履歴ファイル について

異常の内容	原因	対処方法	関連頁
コマンドが送信されてい	外部接点、あるいは外部	「設定>入出力·収集>外部割	_
ない	データが1つも設定され	付(接点)/外部割付(データ)	
	ていない。	>」の設定で、1つ以上の接点	
		/データを有効にしてください。	
コマンドは送信されてい	自機と相手機との結線が	RS232Cカセットの場合	3. 2. 1
るが、レスポンスが受信	正常にできていない。	自機のSD線/RD線をそれぞれ	通信仕様
できていない		相手機のRD線/SD線に接続	
		してください。	
		RS485カセットの場合	
		伝送ケーブルを各機器の伝送	
		端子(+)と(+)、(-)と(-)に	
		接続してください。また、終端局	
		を正しく接続してください。	
		また、伝送ケーブルが仕様範囲	
		内であるか確認してください	
		*同一リンク内のケーブルは複数	
		種類使用せず、一種類に統一	
		してください	
	自機と相手機との通信条	「設定>入出力·収集>本体構	—
	件が合致していない。	成設定」の「外部機器(COM1)	
		/外部機器(COM2)」の設定	
		で、相手機と同一の通信速度、	
		データビット、パリティ、ストップビ	
		ットを設定してくたさい。	
	1:N通信時、送信コマン	設定>入出力·収集>外部割	—
	ドの局番と相手機の局番	付(接点)/外部割付(データ)	
	が合致していない。	>」の設定で、相手機と同一の	
		「局番を設定してくたさい。	
	RS232Cカセット1CHタ	CS信号かONしていないと送信	3. 2
	イフを使用している場合、	でさません。3線式としてこ使用	コミュニケーシ
	CS信号がONしていな	の場合は、KS信号とCS信号を	ョンカセットの
	1 V °	接続してCS信号をONさせてく	種類
		たさい。	

■ 下位通信について

■ FTPについて

異常の内容	原因	対処方法	関連頁
FTPで接続できない	イーサネットケーブルが	イーサネットケーブルを正しく接続	
	外れている。	して下さい。	
	接続先IPアドレスが正	基本設定イーサネット設定でIPアド	6.1.4
	しくない。	レスをご確認ください。	IPアドレスを
			設定する
ログインできない	ユーザ名またはパスワ	正しいユーザ名、パスワードを入力	6.2.1
	ードが正しくない。	してください。パスワードをお忘れ	ユニットヘアク
		の場合は、再度ユーザ登録にてパ	セスするユー
		スワードの設定をしてください。	ザを登録する
	他のユーザがログイン	しばらくしてから、再度アクセスして	
	中。	ください。	
接続はできるが、ファイ	お使いのFTP用ツー	他のFTP用ツールソフトまたはWi	
ル操作に失敗する(リス	ルソフトが対応していな	ndows標準実装のFTP(コマンド	
トが表示されない等)	V_{\circ}	プロンプトにより操作)でファイル操	
		作してください。	

■ ダイヤルアップについて

異常の内容	原因	対処方法	関連頁
モデムと接続できない	RS232Cケーブルが	RS232Cケーブルを正しく接続し	
	外れている。	て下さい。	
	RS232Cケーブルの	モデムの接続インターフェースとW	12.2.2
	接続が正しくない。	eb Datalogger Unitのモデムポ	モデムポート
		ートをご確認ください。	
	通信条件が正しくな	モデムの通信条件(ボーレート等)	6.6.3
	<i>V</i> کې	とWeb Datalogger Unitの通信	モデムの設定
		条件をご確認ください。	を行なう
回線接続先に接続でき	接続先電話番号が正し	接続先電話番号をご確認くださ	6.6.2
ない	くない。接続認証に必	い。(プロバイダに接続される場合	ダイヤルアッ
	要であるユーザ名また	はアナログ回線、PHS回線といっ	プの設置を行
	はパスワードが正しくな	た回線ごとに電話番号が違う場合	なう
	V.	がありますのでご注意ください。)	
	モデム初期化コマンド	ご使用になるモデムのマニュアルを	6.6.3
	が正しくない。	ご確認の上、正しい初期化コマンド	モデムの設定
		を設定してください。	を行なう
	ATZの後のウェイトが	ご使用になるモデムのマニュアルを	6.6.3
	短い。	ご確認の上、リセット後の待ち時間	モデムの設定
		を長くしてください。	を行なう
回線接続先と通信がで	IP設定方法、DNSサ	IP設定方法、DNSサーバの設定	6. 6. 2
きない	ーバの設定方法が正し	万法を、回線接続先が指定する方	ダイヤルアッ
	くない。	法にあわせてくたさい。	プの設定を行
			なう

異常の内容	原因	対処方法	関連頁
モデムと接続できない	RS232Cケーブルが	RS232Cケーブルを正しく接続し	
	外れている。	て下さい。	
	RS232Cケーブルの	ご使用になるモデムの接続インタ	12. 2. 2
	接続が正しくない。	ーフェースとWeb Datalogger	モデムポート。
		Unitの接続インターフェースをご	
		確認ください。	
回線から接続できない	接続先電話番号が正し	接続先電話番号をご確認くださ	6.2.1
	くない。ユーザ名または	い。正しいユーザ名、パスワードを	ユニットヘアク
	パスワードが正しくな	入力してください。パスワードをお	セスするユー
	√ ∿₀	忘れの場合は、再度ユーザ登録に	ザを登録する
		てパスワードの設定をしてくださ	
		<i>۷</i> ۰.	
	モデム初期化コマンド	ご使用になるモデムのマニュアルを	6.6.3
	が違う。	ご確認の上、正しい初期化コマンド	モデムの設定
		を入力してください。	を行なう
	ATZの後のウェイトが	ご使用になるモデムのマニュアルを	6.6.3
	短い。	ご確認の上、リセット後待ち時間を	モデムの設定
		長くしてください。	を行なう
	IP設定方法、DNSサ	IP設定方法、DNSサーバの設定	8.1.1
	ーバの設定方法が違う	方法を回線接続が指定する方法に	PPPサーバの
		あわせてください。	設定を行なう
接続した回線から通信	IPアドレスが正しくな	IPアドレスを正しく設定してくださ	8.1.1
が出来ない	1 V.	k .	PPPサーバの
			設定を行なう

■ 着信接続(PPPサーバ)について

仕様一覧

11.1 仕様一覧

11.1.1 一般仕様

項目	仕様			
	24V DC			
電圧許容範囲	21. 6~26. 4V DC			
許容瞬時停止時間	3ms ^{注)}			
使用周囲温度	0~55℃			
保存周囲温度	$-20 \sim 70^{\circ} \text{C}$			
使用周囲湿度	30~85%RH(at25℃ 結露なきこと)			
保存周囲湿度	30~85%RH(at25℃ 結露なきこと)			
	入力端子一括 ⇔ 電源端子、機能アース一括	500V AC 1分間		
「「」を見て	出力端子一括 ⇔ 電源端子、機能アース一括	1500V AC 1分間		
	入力端子一括 ⇔ 出力端子一括			
	カットオフ電流 10mA ただし、保護用バリスタは除く			
	入力端子一括 ⇔ 電源端子、機能アース一括	100 MΩ以上		
絶縁抵抗	出力端子一括 ⇔ 電源端子、機能アース一括 (試験電圧 500V I			
	入力端子一括 ⇔ 出力端子一括			
両振動	10~55Hz 1掃引/1分間			
	複振幅0.75mm X、Y、Z各方向10分間			
耐衝撃	98m/s ² 以上 X、Y、Z各方向4回			
耐ノイズ性	1000V [p-p]パルス幅50ns、1μs(ノイズシミュレータ法による)			
使用雰囲気	腐食性ガスがないこと。塵埃がひどくないこと。			
	Web Datalogger Unit:300mA以下			
消費電流(24V DC)	コミュニケーションカセットCOM1、COM2:20mA以下			
	コミュニケーションカセットCOM3、COM4:25mA以下			
質量	約200g			

注)瞬時停止時間が3ms以内の場合は、動作を継続します。

3~10msではシステム履歴に瞬時停電が記録されシステムは再起動します。

10ms以上の場合は、電源投入時と同様の動作となります(システム履歴には電源ONが記録されます)。

11.1.2 性能仕様

		項目	仕様
	デ	本体I/O	入力4点(パルス入力時30Hz以下) 出力 1点
	ータ収	増設I∕O	入力48点 出力48点 (増設の登録は増設ユニットの選択により決まります)
	集	下位通信	集計モード:接点(B)200点、データ(EXD)200点 瞬時値モード:接点(B)2500点、データ(EXD)2500点 (下位通信の登録は接点、データ合計で、集計モードは200点以下、瞬時値 モードは2500点以下)
		下位通信動作	 ・松下電工:コンピュータリンク、MEWNET-FP ・オムロン:SYSMAC-C ・三菱電機:MELSEC-FX、MELSEC-FX2N
	デ	保存先	内部メモリ/CFカード
本	ー タ 蓄	保存容量	内部メモリ2Mバイト、CFカード8M~1Gバイト (CFカードはユーザコンテンツとの合計)
体	積	ファイルシステム	VFAT/FAT32/FAT16
1則 機		ファイル構成	16グループ (1グループは蓄積データ、時データ、日データ、月データで構成)
能		ファイル種別	本体および増設 :接点変化、接点周期、パルス、アナログ 下位通信 :接点変化、接点周期、パルス、統計値、瞬時値
		履歴ファイル	システム履歴、アクショントリガ履歴
	1	ファイル形式	CSVファイル形式
	ドク	トリガ数	64
	ショントリガ	トリガ種類	接点状態、累積ON時間(異常/警報)、 累積開閉回数(異常/警報)、状態変化なし(異常/警報)、 パルス(復旧/異常/警報)、上下限(復旧/異常/警報)、 指定時刻(曜日)
		E-mail機能	各トリガ半角224文字、ファイル添付可
		出力 *4	ビット/データ(リセット条件、復旧時動作指定可)
パ	設	通信	Ethernet設定、ダイアルアップ設定(2)、着信接続設定、モデム設定
ソ	定	その他	メール設定、時計設定、期間指定動作設定、PCWAY対応設定
		登録	ユーザ登録(16)、グループ登録(16)
ン	т	標準モニタ	本体I/O、増設I/O、外部接点、外部データ(自動更新機能付)
側	т –	ブラウザ監視画面	Webモニタリング部品を使用したHTMLにより記述
機 能	_ タ	Javaアプレット サンプル ^{注2)}	ランプ、スイッチ、データセット、メッセージ表示、 プログレスバー、メータ、トレンドグラフ、集計グラフ
注1)	ダ	ウンロード機能	設定画面からのダウンロードおよびFTPによるダウンロード
通	通	言プロトコル	TCP/IP、UDP/IP、PPP(ダイアルアップ通信)
信 機 能	アコ	プリケーション プロトコル	HTTP(Web)、SMTP(POP/APOP認証対応E-mail)、 FTP(ファイル転送)、DNS(ドメイン名)、DHCP(自動IP取得)、 SNTP(時刻あわせ)
カレンダタイマ		ルイマ	 0℃ 月差119秒以下 25℃ 月差 51秒以下 55℃ 月差148秒以下 (SNTP使用による自動補正機能があります)
バック	バックアップ		蓄積ファイル ^{注3)} 、履歴ファイル ^{注3)} 、カレンダタイマ (ゴールドキャパシタおよび別売のバックアップ電池による)
電池) (完全	放電 ≧無逍	寿命 通電) ^{注5)}	250日以上(実使用値 約5年(25℃))(定期交換目安:1年)
セキ	ュリテ	る。	ユーザ名、パスワード、アカウント種別(2レベル)
自己	診断	機能	ウォッチドグタイマ、設定値チェック、電池電圧低下

注1)ブラウザはInternet Explorer 5.5以上をご使用ください。

注2)当社HP(<u>http://www.nais-j.com/</u>)よりダウンロードできます(会員登録必要 無料)

注3) バックアップされるデータは集計データ(内部メモリ指定時24時間/31日/12ヶ月)、蓄積データ(一部)および 履歴データ(システム128/アクショントリガ128)です。

注4) 出力は接点状態、指定時刻トリガ発生時とその他の異常レベルトリガが発生時に動作します。 注5) 本体電源を5時間以上通電後の放電寿命となります。 注6) 電池の寿命は温度などの環境に影響を受けます。

11.1.3 通信機能モデル概要

	(HTTP(Web)) (SMTP(E	mail) FTP(ファイル転送)
アプリケーション プロトコル	DHCP(自動IP取得) SNTP(時	刻合せ) DNS(ドメイン名)
	(<i>ī</i> -5	通信
トランスポート層	TCP	UDP
ネットワーク層	IP (ICMP>	ARP)
データリンク層	Ethernet準拠	PPP
物理層	10BASE-T	RS232C
Ethernet LAN		電話回線 モデム

11.1.4 ファイル構成イメージ図



11.1.5 通信仕様

品番	AFPG801	AFPG802	AFPG803	AF	PG806	
インターフェイス	RS232C 1ch ^{注7)}	RS232C 2ch ^{注7)}	RS485 1ch ^{注7)}	RS232C 1ch ^{注7)}	RS485 1ch ^{注5)注6)}	
伝送距離	15 m	15 m	1200 m ^{注1)注2)}	15 m	1200 m ^{注1)注2)}	
伝送速度	2400, 4800, 9600, 19200, 38400, 57600, 115200 bps 19200, 115200bps ^{注3);}				19200, 115200bps ^{注3)注4)}	
通信方式	半二重方式				•	
同期方式	調歩同期方式					
	ストップビット 1 bit/2 bit					
	パリティ 無し/有り(奇数/偶数)					
伝送フォーマット	データ長 7 bit/8 bit					
	始端コード STX有り/STX無し					
	終端コード CR/CR+LF/無し/ETX					
データ送出順序	キャラクタ単位にビットのより送出					
接続台数	—	—	最大99台	—	最大99台	

注1) 伝送速度及び接続台数により伝送距離が下記の通り制限されます。38400bps以下の速度では



注2)C-NETアダプタ混在時、最大接続台数は32台、伝送速度は19200bps以下に制限されます。

- 注3)コミュニケーションカセットAFPG806(COM4)のRS485ポートの伝送速度は、Web Datalogger Unit及び コミュニケーションカセット内ディップスイッチの両方で設定する必要があります。RS232Cポートの伝送速度は、 Web Datalogger Unitのみの設定で可能です。
- 注4)コミュニケーションカセットAFPG806(COM4)内RS485ポートの終端抵抗有無は、コミュニケーションカセット 内ディップスイッチで設定します。RS232Cポートには終端抵抗はありません。
- 注5) FP Σ を接続する場合は、FP Σ がコマンドを受け取ってから、レスポンスを返送するまでの時間をFP Σ の下記命令で調整して頂く必要がある場合もございます。 (SYS1 MCOM1, WAITn n=0~999 (nスキャン遅らせる))
- 注6)コミュニケーションカセットAFPG803、AFPG806(COM4)のRS485通信にてWeb Datalogger Unit側 からデータ送信後は、受信側機器にて下表時間経過後、データをWeb Datalogger Unit側へ送信開始して ください

11-2 0		
通信条件	AFPG803使用時	AFPG806使用時
4800bps	4.2ms以上	選択しないでください
9600bps	2.1ms以上	選択しないでください
19200bps	1.1ms以上	1.1ms以上
38400bps	0.6ms以上	選択しないでください
57600bps	350 µ s以上	選択しないでください
115200bps	200 µ s以上	200 µ s以上

注7)RS232Cの配線は耐ノイズ性向上のため必ずシールド線を使用してください。

11.2.1 FPO増設ユニットのI/O番号(右側増設)

■ FPO増設ユニットのI/O番号(右側増設)

• I/O番号は増設時にWeb Datalogger Unit側で自動的に割り付けられますので、設定の必要はありません。 • 増設ユニットのI/O番号は、接続する位置によって決まります。

ユニット	の種類	割付点数	増設ユニット1	増設ユニット2	増設ユニット3
	FP0-E8X	入力(8点)	X20~X27	X40~X47	X60~X67
		入力(4点)	X20~X23	X40~X43	X60~X63
	FIO LOK	出力(4点)	Y20~Y23	Y40~Y43	Y60~Y63
EDO	FPO-E8YT/P FPO-E8YR	出力(8点)	Y20~Y27	Y40~Y47	Y60~Y67
ドアリ	FP0-E16X	入力(16点)	X20~X2F	X40~X4F	X60~X6F
「「「」」」」」「」」	FP0-E16R	入力(8点)	X20~X27	X40~X47	X60~X67
	FPO-E16T/P	出力(8点)	Y20~Y27	Y40~Y47	Y60~Y67
	FPO-E16YT/P	出力(16点)	Y20~Y2F	Y40∼Y4F	Y60∼Y6F
	FP0-F39T/P	入力(16点)	X20~X2F	X40~X4F	X60~X6F
	110 1021/1	出力(16点)	Y20~Y2F	Y40∼Y4F	$Y60 \sim Y6F$
FP0		入力 CHO	AD10	AD20	AD30
アナログ	FP0-A21	入力 CH1	AD11	AD21	AD31
I∕Oユニット		出力 CHO	DA10	DA20	DA30
FPOA/D 変換ユニット	FP0-A80	入力	$AD10 \sim AD17$	$AD20 \sim AD27$	AD30~AD37
FPO熱電対ユニット	FP0-TC4 FP0-TC8	CH0~7	ADIO ADII	$AD20^{\circ} \sim AD21$	AD30° AD37
FPO D/A変換ユニット	FP0-A04V FP0-A04I	出力 CH0~3	DA10~DA13	DA20~DA23	DA30~DA33

11.3.1 Hard error code (ハードエラーコード)

■ ハードエラーコード

番号	名称	状態	エラー内容と 処置方法
E26	ROM error (ROM異常)	停止	ハードウェアの異常が考えられます。 ⇒弊社にご連絡ください。
E42	I/O unit verify error (I/Oユニット照合異常)	運転	入出力ユニットの接続状態が電源投入時 と異なっています。 ⇒接続状態が変わった入出力ユニットを システム履歴でご確認ください。
E50	Battery error (電池異常)	運転	バックアップ用の電池の電圧が規定よりも 低下しているか、本体に電池が接続され ていません。 ⇒バックアップ用電池を確認して交換接 続などの処置をしてください。

11.3.2 Network error code (上位通信エラーコード)

■ 通信初期化エラーコード (O [NET INIT])

番号	名称	エラー内容と処置方法
E5	DHCP discovery error (IP自動取得エラー)	DHCPサーバからIPを取得できませんでした。 DHCPサーバと通信できませんでした。 ⇒ネットワークシステムに異常が無いことをご確認ください。

■ PPPエラーコード (1 [PPP SERVER] , 2 [PPP SERVER])

番号	名称	エラー内容と処置方法
E12	Unauthorized error (認証エラー)	認証に失敗しました。 接続先PPPサーバと通信できませんでした。 ⇒ユーザー名、パスワードをご確認ください (② 参 照:<6.6.2ダイヤルアップの設定を行なう>)。 ネットワークシステムに異常が無いことをご確認ください。
E13	AT command error (ATコマンドエラー)	モデムに送信したATコマンドに対してエラーが返されました。 ⇒初期化コマンド/電話番号をご確認ください。
E14	Not support result (未知のリザルト)	モデムより未知のリザルト文字列が返されました。 ⇒モデムおよびモデムのマニュアルをご確認ください。
E15	Dial tone error (ダイヤルトーン未検出)	ダイヤルのトーンが検出できませんでした。 ⇒モデムおよびモデムのマニュアルをご確認ください。
E16	Call error (通話エラー)	接続先が話中、または接続先のモデムが検出できません。
E17	No answer error (無音未検出)	無音が検出できませんでした。 ⇒モデムおよびモデムのマニュアルをご確認ください。
E18	Hand set in use err or (受話器使用中)	受話器使用中でした。 ⇒モデムおよびモデムのマニュアルをご確認ください。
E19	Modem error (モデムエラー)	モデムが検出できませんでした。 ⇒モデムの電源OFFまたはモデム間のケーブルをご確認くだ さい。ダイアル種別をご確認ください。

■ メールエラーコード (25 [MAIL])

番号	名称	エラー内容と処置方法
E50	Attached file error (添付ファイルエラー)	ファイルの添付に失敗しました。 ⇒ファイルが壊れている可能性があります。 CFカードをフォーマットしてください。
E51	No attached file (添付ファイルオープンエラー)	添付ファイルにアクセスできませんでした。 ⇒添付ファイルが未生成の可能性があります。 ブラウザにてユニット操作/ファイルダウンロードを表示 し、ファイルが生成されていることをご確認ください。
E52	Attached file size error (添付ファイルサイズエラー)	添付ファイルが添付サイズ可能サイズをオーバーしました。 ⇒ブラウザにてユニット操作/ファイルダウンロードを表示し、対象ファイルを取得してください。
E53	MAIL DNS error (SMTP) (DNSエラー(SMTP))	DNSの名前検索に失敗しました。 ⇒DNSサーバのIPが正しく登録されていることをご確認 ください。 DNSサーバが動作していることをご確認ください。 SMTPサーバのドメイン名が正しく設定されていることを ご確認ください。
E54	MAIL DNS error (POP) (DNSエラー(POP))	DNSの名前検索に失敗しました。 ⇒DNSサーバのIPが正しく登録されていることをご確認 ください。 DNSサーバが動作していることをご確認ください。 POPサーバのドメイン名が正しく設定されていることをご 確認ください。
E57	MAIL configuration error (メール設定エラー)	設定に異常があります。 ⇒送信先メールアドレス/送信元メールアドレス/SMT PサーバIP/POPサーバIP(認証設定時)が正しく設定 されていることをご確認ください。
E58	MAIL send error (メール送信エラー)	SMTPサーバとの通信に失敗しました。 ⇒SMTPサーバのIPが正しく設定されていることをご確認ください。 SMTPサーバが動作していることをご確認ください。 メールサーバ認証機能と本機の認証機能が適合していることをご確認ください。
E59	MAIL POP AUTH error (POP認証エラー)	POPサーバとの通信に失敗しました。 ⇒POP認証に必要なアカウントまたはパスワードが 正しく設定されていることをご確認ください。 POPサーバが動作していることをご確認ください。 メールサーバ認証機能と本機の認証機能が適合してい ることをご確認ください。

■ SNTPエラーコード (<u>123 [SNTP])</u>

番号	名称	エラー内容と処置方法
E62	SNTP DNS error (DNSエラー)	DNSの名前検索に失敗しました。 ⇒DNSサーバのIPが正しく登録されていることをご確認 ください。 DNSサーバが動作していることをご確認ください。 SNTPサーバのドメイン名が正しく設定されていることをご 確認ください。
E63	SNTP server IP error (SNTPサーバIP設定エラー)	設定に異常があります。 ⇒SNTPサーバのIPが正しく設定されていることをご確認 ください。
E64	SNTP time configuration error (SNTP時刻更新エラー)	設定に異常があります。 ⇒SNTPサーバのIPが正しく設定されていることをご確認 ください。
E66	SNTP send error (SNTPサーバIP設定エラー)	SNTPサーバにデータを送信できませんでした。 ⇒SNTPサーバのIPが正しく設定されていることをご確認 ください。 SNTPサーバが動作していることをご確認ください。
E67	SNTP receive error (SNTP受信エラー(応答なし))	SNTPサーバから応答がありませんでした。 ⇒SNTPサーバが動作していることをご確認ください。
E68	SNTP response error (SNTP受信応答エラー)	SNTPサーバから取得したデータが異常 ⇒SNTPサーバが正常に動作していることをご確認ください。
E69	Time conversion error (時刻変換エラー)	SNTPサーバから取得した時刻が異常 ⇒SNTPサーバが正常に動作していることをご確認ください。

■ PCWAYエラーコード (9091 [PCWAY])

番号	名称	エラー内容と処置方法
E92	PCWAY conncetion error (コネクションエラー)	登録した全PCWAY接続サーバとの接続に失敗しました。 ⇒PCWAYサーバのIPが正しく設定されていることをご確認ください。 PCWAYサーバが動作していることをご確認ください。
11.3.3 Communication error code (データ収集通信エラーコード)

■ デー	タ収集通信エラー⊐	− ド
番号	名称	エラー内容と処置方法
E40	BCC error (BCCエラー)	BCCエラーが発生しました ⇒ ノイズ等の通信状態を確認してください
E41	Format error (フォーマット エラー)	相手ユニットから異常なレスポンスを受信しました ⇒ ノイズ等の通信状態を確認してください。また、RS485通信時は DLUが受信可能となる前に、相手ユニットがレスポンスを送信してい る 可能性があります。相手ユニットの送信待ち時間を調整してください。 *RS485通信時、DLUではコマンド送信後2文字時間後に受信可 能となります。
E42	Not support (NOTサポート)	相手ユニットが送信コマンドをサポートしていません ⇒ 相手ユニットのサポートコマンドを確認してください
E60	Parameter error (パラメータエラー)	相手ユニットに指定データが存在しませんでした ⇒ レジスタ名の設定を確認してください
E61	Data error (データエラー)	相手ユニットに指定データが存在しませんでした ⇒ レジスタ番号の設定を確認してください
E74	Time out error (タイムアウトエラー)	レスポンス待ちタイムアウトが発生しました ⇒ 通信速度の不一致や、ケーブル切断等の可能性があります。通 信状態を確認してください。正常な場合、適切なタイムアウト時間を 再度設定してください。

11.3.4 File error code (ファイルエラーコード)

■ ファイルエラーコード

番号	名称	エラー内容と処置方法
E13	Access error (CFカードアクセス エラー)	CFカードにアクセスできません ⇒ CFカードがユニットに挿入されているか確認してください
E24	Too many open files (ファイルオープン エラー)	オープンしているファイルが多過ぎて該当ファイルをオープンできま せん ⇒ オープンしている不要なファイルは、クローズしてください
E28	No memory (容量オーバーエラ ー)	書込み先のデバイスに空き容量がありません ⇒ CFカードを交換するか、ファイルを削除して空き容量を確保して ください

11.3.5 Internal error code (内部エラーコード)

■ 通信初期化エラーコード (O [NET INIT])

番号	名称	エラー内容と処置方法
不定	Blank(空白)	本機システムの異常が考えられます。 ⇒本機を再起動してください。 改善されない場合は弊社にご連絡ください。

11.4 メモリエリア一覧

■ メモリエリア一覧

名称	使用可能範囲
内部入カリレー X	512点(X0~X31F)
内部出力リレー Y	512点(Y0~Y31F)
アナログ入力レジスタ AD	24ch (AD10~AD17/AD20~AD27/AD30~AD37)
アナログ出カレジスタ DA	24ch (DA10~DA17/DA20~DA27/DA30~DA37)
外部リレー B	200点(B0~B117)
外部レジスタ EXD	200ダブルワード (EXD0~EXD199)

注)記載の点数は、演算メモリとして持っているエリアであり、実際に使用できる点数は、ハードウェアの組み合わせにより決まります。

11.5 BIN/HEX/BCDコード対応表

10進数	16進数	BIN2	進数	BC	D2進化1	0進数(4	析)
(Decimal)	(Hexadecimal)	(Bin	ary)	(Bina	ary Cod	ed Dec	imal)
0	0000	00000000	00000000	0000	0000	0000	0000
1	0001	00000000	00000001	0000	0000	0000	0001
2	0002	00000000	00000010	0000	0000	0000	0010
3	0003	00000000	00000011	0000	0000	0000	0011
4	0004	00000000	00000100	0000	0000	0000	0100
5	0005	00000000	00000101	0000	0000	0000	0101
6	0006	00000000	00000110	0000	0000	0000	0110
7	0007	00000000	00000111	0000	0000	0000	0111
8	0008	00000000	00001000	0000	0000	0000	1000
9	0009	00000000	00001001	0000	0000	0000	1001
10	000A	00000000	00001010	0000	0000	0001	0000
11	000B	00000000	00001011	0000	0000	0001	0001
12	000C	00000000	00001100	0000	0000	0001	0010
13	000D	00000000	00001101	0000	0000	0001	0011
14	000E	00000000	00001110	0000	0000	0001	0100
15	000F	00000000	00001111	0000	0000	0001	0101
16	0010	00000000	00010000	0000	0000	0001	0110
17	0011	00000000	00010001	0000	0000	0001	0111
18	0012	00000000	00010010	0000	0000	0001	1000
19	0013	00000000	00010011	0000	0000	0010	1001
20	0014	00000000	00010100	0000	0000	0010	0000
21	0015	00000000	00010101	0000	0000	0010	0001
22	0016	00000000	00010110	0000	0000	0010	0010
23	0017	00000000	00010111	0000	0000	0010	0011
24	0018	00000000	00011000	0000	0000	0010	0100
25	0019	00000000	00011001	0000	0000	0010	0101
26	001A	00000000	00011010	0000	0000	0010	0110
27	001B	00000000	00011011	0000	0000	0010	0111
28	001C	00000000	00011100	0000	0000	0010	1000
29	001D	00000000	00011101	0000	0000	0010	1001
30	001E	00000000	00011110	0000	0000	0011	0000
31	001F	00000000	00011111	0000	0000	0011	0001
:	:	:					
63	003F	00000000	00111111	0000	0000	0110	0011
:	:	:				:	
255	00FF	00000000	11111111	0000	0010	0101	0101
:	:	:				:	
9999	270F	00100111	00001111	1001	1001	1001	1001

11.6 アスキーコード/JIS8コード表

11.6.1 アスキーコード表

■ アスキーコード表

								b_7								
							\rightarrow	b6	0	0	0	0	1	1	1	1
							\rightarrow	b5	0	0	1	1	0	0	1	1
$ \longrightarrow$			\rightarrow	b4	0	1	0	1	0	1	0	1				
b_7	b6	b5	b4	b_3	b_2	b1	b ₀	R C	0	1	2	3	4	5	6	7
				0	0	0	0	0	NUL	DEL	SPACE	0	@	Р	`	р
				0	0	0	1	1	SOH	DC_1	!	1	А	Q	а	q
				0	0	1	0	2	STX	DC_2	"	2	В	R	b	r
				0	0	1	1	3	ETX	DC_3	#	3	С	S	с	S
				0	1	0	0	4	EOT	DC_4	\$	4	D	Т	d	t
				0	1	0	1	5	ENQ	NAK	%	5	Е	U	е	u
				0	1	1	0	6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
				0	1	1	1	7	BEL	ETB	,	7	G	W	g	w
				1	0	0	0	8	BS	CAN	(8	Η	Х	h	х
				1	0	0	1	9	HT	EM)	9	Ι	Y	i	У
				1	0	1	0	А	LF	SUB	*	:	J	Z	j	Z
				1	0	1	1	В	VT	ESC	+	;	Κ	[k	{
				1	1	0	0	С	FF	FS	,	<	L	¥	1	
				1	1	0	1	D	CR	GS	—	=	М]	m	}
				1	1	1	0	E	SO	RS		>	Ν	^	n	\sim
				1	1	1	1	F	SI	US		?	Ο		0	DEL

■ JIS8コード表

	→					\rightarrow	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1		
								\rightarrow	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1
				0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1					
					\longrightarrow	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1			
b_7	b6	b5	b4	b3	b_2	b1	b0	列行	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	А	В	С	D	Е	F
				0	0	0	0	0	NUL	TC7(DEL)	(SP)	0	@	Р	`	р	Å	Å	未定義	_	タ	111	^	*
				0	0	0	1	1	TC ₁ (SOH)	DC_1	!	1	А	Q	а	q			o	<i>P</i>	チ	Д		
				0	0	1	0	2	$TC_2(STX)$	DC_2	"	2	В	R	b	r			Γ	イ	ツ	メ		
				0	0	1	1	3	TC ₃ (ETX)	DC_3	#	3	С	S	с	s				ウ	テ	モ		
				0	1	0	0	4	$TC_4(EOT)$	DC_4	\$	4	D	Т	d	t			`	I	Ъ	ヤ		
				0	1	0	1	5	TC ₅ (ENQ)	TC ₈ (NAK)	%	5	Е	U	е	u			•	オ	ナ	ユ	1	
				0	1	1	0	6	TC ₆ (ACK)	TC ₉ (SYN)	&	6	F	V	f	v	未	未	ヲ	力	11	Ξ	未	未
				0	1	1	1	7	BEL	ETB	,	7	G	W	g	w	定	定	7	キ	ヌ	ラ	定	定
				1	0	0	0	8	$EE_0(BS)$	CAN	(8	Н	Х	h	x	義	義	1	ク	ネ	IJ	義	義
				1	0	0	1	9	$EE_1(HT)$	EM)	9	Ι	Υ	i	у			ウ	ケ	1	ル	:	
				1	0	1	0	А	$EE_2(LF)$	SUB	*	:	J	Ζ	j	Z			I	Ц	ハ	ν		
				1	0	1	1	В	$EE_3(VT)$	ESC	+	;	Κ	Ε	k				オ	サ	Ŀ			
				1	1	0	0	С	$EE_4(FF)$	$IS_4(FS)$,	<	L	¥	1				Þ	シ	フ	ワ		
				1	1	0	1	D	$EE_5(CR)$	$IS_3(GS)$	_	=	М]	m				ユ	ス	\sim	ン		
				1	1	1	0	Е	SO	$IS_2(RS)$	•	>	Ν	Ŷ	n	—			m	セ	朩	"		
				1	1	1	1	F	SI	$IS_1(US)$	/	?	0		0	DEL	۷	۷	ッ	ソ	7	0	¥	۷
		1	IIS8	3コー	·ド表(の未	定義	の部	分は使用し	ないでくださ	560													

11.7 メモリ割付表

■ Web Datalogger Unitの構成



11.7.1 本体(XO-X3)の属性データ

メモリ	接点時	パルス時	対応レジスタ				
	状態変化間隔	パルス数	DT9049	DT2048			
YO	累積ON時間		DT2051	DT2050			
~0	累積開閉回数	—	DT2053	DT2052			
	—	—	DT2055	DT2054			

『塗」ご注意:

- I/O割付けに関しての詳細は「4章 I/Oの割り付け」を参照してください。
- DLUのデータは全て32ビット(ダブルワード)で扱われます。
- 属性データは常に8ワードのエリアを占有します。 (X1-X3もX0と同様に8ワードの領域を使用します)

ここがポイント:

本体の属性データ先頭アドレス=2048+(デバイスNo. [10進数]×8)です。 【例】 X3の属性データ先頭アドレス=2048+3×8=DT2072。 よってX3の状態変化間隔は、DT2072とDT2073に格納されています。

11.7.2 増設ユニット1(X20-X3F)の属性データ(デジタル入力 ユニットの場合)

メモリ	接点時	パルス時	対応レジスタ				
	状態変化間隔	パルス数	DT2305	DT2304			
¥20	累積ON時間	—	DT2307	DT2306			
720	累積開閉回数	—	DT2309	DT2308			
			DT2311	DT2310			
	状態変化間隔	パルス数	DT2057	DT2056			
V2E	累積ON時間	—	DT2059	DT2058			
	累積開閉回数	—	DT2061	DT2060			
	—	_	DT2063	DT2062			



ここがポイント:

- ・ 増設(接点)の属性データ先頭アドレス=2048+(デバイスNo. [10進数]×8)です。
 【例】X30の属性データ先頭アドレス=2048+48×8=DT2432
 よってX30の状態変化間隔は、DT2432とDT2433に格納されています。
- 増設ユニット2(X40-X5F)と3(X60-X7F)も同様にして、属性データ先頭アドレスを求めることができます。

11.7.3 増設ユニット1 (AD10-AD17)の属性データ(アナログ 入力ユニットの場合)

メモリ	アナログ	対応レジスタ				
	現在値	DT8833	DT8832			
4010	平均值	DT8835	DT8834			
ADTO	最小値	DT8837	DT8836			
	最大値	DT8839	DT8838			
	現在値	DT8889	DT8888			
4017	平均值	DT8891	DT8890			
	最小値	DT8893	DT8892			
	最大値	DT8895	DT8894			



ここがポイント:

- 増設1(アナログ)の属性データ先頭アドレス=8832+(チャンネル番号×8)です。
 【例】AD16の属性データ先頭アドレス=8832+6×8=DT8880
- 増設2(アナログ)の属性データ先頭アドレス=8960+(チャンネル番号×8)です。
 【例】AD21の属性データ先頭アドレス=8960+1×8=DT8968
- ・増設3(アナログ)の属性データ先頭アドレス=9088+(チャンネル番号×8)です。
 【例】AD33の属性データ先頭アドレス=9088+3×8=DT9112

11.7.4 外部機器(BO-B127)の属性データ

メモリ	接点	対応レジスタ					
	状態変化間隔	DT6145	DT6144				
PO	累積ON時間	DT6147	DT6146				
ВО	累積開閉回数	DT6149	DT6148				
		DT6151	DT6150				
	状態変化間隔	DT7737	DT7736				
B107	累積ON時間	DT7739	DT7738				
B127	累積開閉回数	DT7741	DT7740				
		DT7743	DT7742				

ここがポイント:

外部機器(接点)の属性データ先頭アドレス=6144+(デバイスNo. [10進数]×8)です。 【例】B80の属性データ先頭アドレス=6144+128×8=DT7168 よってB80の状態変化間隔は、DT7168とDT7169に格納されています。

11.7.5 外部機器(EXDO-EXD199)の属性データ

メモリ	パルス	瞬時値	統計値	対応レジスタ				
	パルス値	現在値	現在値	DT9217	DT9216			
EVDO			平均值	DT9219	DT9218			
EXDU	—	—	最小値	DT9221	DT9220			
		—	最大値	DT9223	DT9222			
	パルス値	現在値	現在値	DT10809	DT10808			
			平均值	DT10811	DT10810			
EVD199	—	—	最小値	DT10813	DT10812			
	—	—	最大値	DT10815	DT10814			



ここがポイント:

外部機器(データ)の属性データ先頭アドレス=9216+(デバイスNo. [10進数]×8)です。 【例】EXD100の属性データ先頭アドレス=9216+100×8=DT10016。 よってEXD100の現在値は、DT10016とDT10017に格納されています。

外形寸法図・その他

12.1 外形寸法図

12.1.1 Web Datalogger Unit

■ AFL1000





参照:FP0増設ユニットの外形寸法図について

<FP0ユーザーズマニュアルARCT1F389 または各ユニット専用のマニュアル>

12.2.1 Ethernet通信

■ 10BASE-T準拠 RJ45コネクタ



注)HUBと接続する場合は、ストレートケーブルをお使いください。またパソコンなどと1対1接続する 場合はクロスケーブルをお使いください。

12.2.2 モデムポート

■ RS232C仕様(IBM PC/ATシリアルポート互換)



ピン番号	信号名	方向	説明		
1	CD	\leftarrow	キャリア検出		
2	RXD	\leftarrow	受信データ		
3	TXD	\rightarrow	送信データ		
4	DTR	\rightarrow	データ端末レディ		
5	SG	—	信号線用グランド		
6	DSR	\leftarrow	データセットレディ		
7	RTS	\rightarrow	送信要求		
8	CTS	<i>—</i>	送信可		
9	RI	<i>~</i>	呼信号インジケータ		

改訂履歴

マニュアル番号は、表紙下に記載されています。

発行日付	マニュアル番号	改訂内容		
2004年10月	A R C T 1 F 4 0 0	初版		
2005年 5月	A R C T 1 F 4 0 0 - 1	2版 機能追加 (トリガ蓄積への対応と外部機器データ量 の増加)		
2005年10月	A R C T 1 F 4 0 0 - 2	3版 機能追加 (文字データ蓄積,アクショントリガによる ファイル生成,三菱 FX 計算機リンク 対応)		
2006年2月	A R C T 1 F 4 0 0 - 3	4版 ·誤記訂正 ·ブランド変更に伴い NAiS Panasonic		

ご注文に際してのお願い

本資料に記載された製品および仕様は、製品の改良などのために予告なしに変更(仕様変更、製造中止を含む) することがありますので、記載の製品のご使用のご検討やご注文に際しては、本資料に記載された情報が最新の ものであることを、必要に応じ当社窓口までお問い合わせのうえ、ご確認くださいますようお願いします。

なお、本資料に記載された仕様や環境・条件の範囲を超えて使用される可能性のある場合、または記載のない 条件や環境での使用、あるいは鉄道・航空・医療用などの安全機器や制御システムなど、特に高信頼性が要求 される用途への使用をご検討の場合は、当社窓口へご相談いただき、仕様書の取り交わしをお願いします。

受入検査 〕

・ご購入または納入品につきましては、速やかに受入検査を行っていただくとともに、本製品の受入検査前または検査中の扱いにつきましては、管理保全に十分なご配慮をお願いします。

保証期間〕

・本製品の保証期間は、ご購入後あるいは貴社のご指定場所への納入後1年間とさせていただきます。 なお電池や光源ランプなどの消耗品、補材については除かせていただきます。

保証範囲 〕

・万一、保証期間中に本製品に当社側の責による故障や瑕疵が明らかになった場合、当社は代替品または必要な交換部品の提供、または瑕疵部分の交換、修理を、本製品のご購入あるいは納入場所で無償で速やかに行わせていただきます。

ただし、故障や瑕疵が次の項目に該当する場合は、この保証の対象範囲から除かせていただくものとします。

1. 貴社側が指示した仕様、規格、取扱い方法などに起因する場合。

- 2.ご購入後あるいは納入後に行われた当社側が係わっていない構造、性能、仕様などの改変が原因の場合。
- 3.ご購入後あるいは契約時に実用化されていた技術では予見することが不可能な現象に起因する場合。
- 4.カタログや仕様書に記載されている条件・環境の範囲を逸脱して使用された場合。
- 5.本製品を貴社の機器に組み込んで使用される際、貴社の機器が業界の通念上備えられている 機能、構造などを持っていれば回避できた損害の場合。
- 6. 天災や不可抗力に起因する場合。

また、ここでいう保証は、ご購入または納入された本製品単体の保証に限るもので、本製品の故障や 瑕疵から誘発される損害は除かせていただくものとします。 以上の内容は、日本国内の取引および使用を前提とするものです。

日本以外での取引および使用に関し、仕様、保証、サービスなどについてのご要望、ご質問は 当社窓口まで別途ご相談ください。

制御機器関連お問い合わせ一覧

平成17年12月1日現在

●在庫・納期・価格など販売に関するお問い合わせは --

松下制御機器株式会社		東京 〒105—8301 東京都港区東新橋1丁目5番1号 松下電 大阪 〒571—8686 大阪府門真市大字門真1048番地	TEL.(03)6218-1919 TEL.(06)6900-2740	
東北営業所	〒981-3133	仙台市泉区泉中央1丁目23番地4号 ノースファンシービル5F	27 0223710766	FAX.022-371-7303
関東営業所	〒370-0071	高崎市小八木町1519番地	10 27-363-2033	FAX.027-362-6491
新潟営業課	〒959-0192	新潟県西蒲原群分水町大字大川津宇島畑1115 松下電工(株)新潟工場内	☎ 0256—97—1164	FAX.027-362-6491
長野営業課	〒380-0916	長野市稲葉中千田沖2188-1	2 026-227-9425	FAX.026-227-9465
首都圏デバイス営業所	〒105-8301	東京都港区東新橋1丁目5番1号 松下電工東京本社ビル8階	☎ 03—6218—1920	FAX.03-6218-1931
東部グローバル営業所	〒105-8301	東京都港区東新橋1丁目5番1号 松下電工東京本社ビル8階	27 03-6218-1923	FAX.03-6218-1931
東京SCソリューション営業所	〒105-8301	東京都港区東新橋1丁目5番1号 松下電工東京本社ビル8階	☎ 03—6218—1922	FAX.03-6218-1941
茨城営業課	〒310-0851	水戸市千波町海道付2313番地	1 029-243-8868	FAX.029-243-8857
首都圈北営業所	〒330-0843	さいたま市大宮区吉敷町4丁目13番2号 大宮ダイヤビル6F	☎ 048—643—4735	FAX.048-643-4741
首都圈西営業所	〒190-0012	立川市曙町3丁目5番3号	☎ 042—528—2241	FAX.042-528-1963
松本営業課	〒399-0004	松本市市場3番10号	20263-28-0790	FAX.0263-28-0799
横浜SCソリューション営業所	〒220-0022	横浜市西区花咲町7丁目150番 ウエインズ&イッセイ横浜ビル8F	☎ 045—321—1235	FAX.045-322-7080
東部車載営業所	〒105-8301	東京都港区東新橋1丁目5番1号 松下電工東京本社ビル8階	27 03—6218—1930	FAX.03-6218-1951
名古屋デバイス営業所	〒450-8611	名古屋市中村区名駅南2丁目7番55号 松下電工名古屋ビル北館6F	27 052-581-8861	FAX.052-581-6753
名古屋SCソリューション営業所	〒450-8611	名古屋市中村区名駅南2丁目7番55号 松下電工名古屋ビル北館6F	☎ 052—581—8861	FAX.052-581-6753
三重営業課	〒514-8555	津市大字藤方1668番地 松下電工(株)津工場内	2059-246-8991	FAX.059-246-8991
豊田SCソリューション営業所	〒448-0857	刈谷市大手町2丁目29番地 INOビル2F	20566-62-6861	FAX.0566-62-6866
静岡営業所	〒420-0803	静岡市葵区千代田7丁目7番5号	☎ 054—261—7711	FAX.054-262-7342
浜松営業課	〒432-8052	浜松市東若林町1522番地	☎ 053—442—0531	FAX.053-442-0682
北陸営業所	〒920-8203	金沢市鞍月4丁目117番	☎ 076—268—9546	FAX.076-268-9547
富山営業課	〒930-0008	富山市神通本町2丁目2番19号	☎ 076—441—1910	FAX.076-441-1457
中部車載営業所	〒450-8611	名古屋市中村区名駅南2丁目7番55号 松下電工名古屋ビル北館6F	☎ 052—581—8861	FAX.052-581-6753
静岡営業課 	〒420-0803	静岡市葵区千代田7丁目7番5号	☎054-261-7711	FAX.054-262-7342
京滋営業所	〒601-8127	京都市南区上鳥羽北花名町34番地	2075-681-0237	FAX.075-671-2338
近畿デバイス営業所	〒571-8686	門真市大字門真1048番地	206-6900-2737	FAX.06-6900-5180
西部グローバル営業所	〒571-8686	門真市大字門真1048番地	2706-6900-2737	FAX.06-6900-5180
近畿SCソリューション営業所	〒571-8686	門真市大字門真1048番地	☎ 06—6900—2733	FAX.06-6900-5180
姫路営業課	〒670-0055	姫路市神子岡前1丁目2番1号	☎ 0792—91—3927	FAX.0792-91-0612
中四国営業所	〒730-8577	広島市中区中町7番1号	☎ 082—247—9084	FAX.082-247-5925
岡山営業課	〒700-0973	岡山市下中野337番106号	2 086-245-3701	FAX.086-245-3731
四国営業課	〒761-0113	高松市屋島西町字百石1960番地	17 087—841—4473	FAX.087-843-0718
九州営業所	〒810-8530	福岡市中央区薬院3丁目1番24号	☎ 092—522—5545	FAX.092-523-9515
北九州営業課	〒802-0011	北九州市小倉北区重住3丁目2番10号	2093-932-0652	FAX.093-931-2749
熊本営業課	〒860-0072	熊本市花園1丁目5番5号	☎096-353-4676	FAX.096-356-8797

上記の営業所の他に松下電工営業所でもお取り扱いいたしております。 松下制御機器のインターネットホームページ http://www.mac-j.co.jp/

●技術に関するお問い合わせは --▶ 制御機器コールセンター

■ 0120-101-550 ※お問い合せ商品/リレー・機器用センサ・スイッチ・コネクタ・プログラマブルコントローラ・プログラマブル表示器・ 画像処理装置・タイマ・カウンタ・温度調節器 ・サービス時間/9:00-17:00(11:30-13:00、当社休業日除く) ●FAX…………06-6904-1573(24時間受付)

●webでのお問い合わせ…(制御機器WEB)http://www.nais-j.com/

●このマニュアルに使われている用紙は古紙配合率100%の再生紙を使用しております。 ●この印刷物は環境にやさしい植物性大豆油インキを使用しています。





大豆油を主成分としたインキで印刷しています

●技術に関するお問い合わせは -

制御機器コールセンター 0120-101-550 【220120-101-000
 ※お問い合せ商品 / リレー・機器用センサ・スイッチ・コネクタ・ プログラマブルコントローラ・プログラマブル表示器・ 画像処理装置、タイマ・カウンタ・温度調節器 四次のマンジンターのメリム体表の図~1

※サービス時間/9:00-17:00(11:30-13:00、当社休業日除く)

····· 06-6904-1573(24時間受付) •FAX ·····

松下電工株式会社 制御機器本部 制御デバイス事業部

〒571-8686 大阪府門真市門真1048 TEL.(06)6908-1131〈大代表〉

©Matsushita Electric Works, Ltd.2005 本書からの無断の複製はかたくお断りします。

このマニュアルの記載内容は平成18年2月現在のものです。